

令和7年度使用

教科用図書採択選定資料

中学校用

宮城県教育委員会

# 目 次

1	国 語	国 語 . . . . .	1	~	4
		書 写 . . . . .	5	~	8
2	社 会	地 理 . . . . .	9	~	12
		歴 史 . . . . .	13	~	21
		公 民 . . . . .	22	~	27
		地 図 . . . . .	28	~	29
3	数 学	. . . . .	30	~	36
4	理 科	. . . . .	37	~	41
5	音 楽	一 般 . . . . .	42	~	43
		器楽合奏 . . . . .	44	~	45
6	美 術	. . . . .	46	~	48
7	保健体育	. . . . .	49	~	52
8	技術・家庭	技術分野 . . . . .	53	~	55
		家庭分野 . . . . .	56	~	58
9	外国語	英語 . . . . .	59	~	64
10	特別の教科	道徳 . . . . .	65	~	71

種 目	国 語	発行者の 番号・略称	2	教科書の 記号・番号	国語 002-72 002-82 002-92	書 名	新編 新しい国語 1 新編 新しい国語 2 新編 新しい国語 3
			東 書				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に示された目標に即して指導事項と言語活動例がもれなく扱われ、言葉による見方・考え方を働かせながら言語活動に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>○ 見通しと振り返り、協働的な学びの場面を支える資料が効果的に配置され、本県の目指す個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実に沿った内容になっている。</li> <li>○ 巻頭と巻末に「未来への扉」を提示するとともに、発達の段階に即した現代社会の課題に向き合う教材を配置し、1年間の学びを深化・拡充できる内容になっている。</li> <li>○ 基礎力を取り立てて鍛える教材「学びを支える言葉の力」が配置され、前後3領域の教材では習得・活用が可能な言語活動が展開できる内容になっている。</li> <li>○ 多様な価値観に配慮し、地域的な偏りの出ることのないように内容や資料が取り上げられている。また、資料の出所や出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 領域間で「言葉の力」の関連が図られており、育成する力が系統ごとに整理されている。3年間を通して系統的・段階的に積み上げられるよう内容が配置されている。</li> <li>○ 教科の目標に沿った身に付けるべき「言葉の力」が、各学年八つの単元で習得できるよう配列されている。各教材のねらいは明確に示されている。</li> <li>○ 「言葉の力」を文章教材でインプットし、「学びを支える言葉の力」教材で習得、「話すこと・聞くこと」「書くこと」教材でアウトプットするという流れのもと、「言葉の力」の定着と発展的な学習が効果的に進められるよう教材が配列されている。</li> <li>○ 各単元は各領域をバランスよく学習できる分量になっており、2学期制・3学期制双方に対応できるなど、各学校が柔軟に対応できる構成になっている。</li> <li>○ 日常生活や社会生活、普遍的な人間性、多様な価値観や地域を取り上げた教材が偏ることなく配置され、生徒の生活や各地域の実態に広く適合できるようになっている。</li> </ul>						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「読むこと」で習得した「言葉の力」を、日常生活や社会生活を題材にした「話すこと・聞くこと」「書くこと」で活用し、確実な定着がなされるよう構成されている。</li> <li>○ 教科書全体を通して最初に生徒目線の「問いかけ」が示され、生徒同士が主体性を持ち、協働して課題解決的な言語活動が展開できるよう工夫されている。</li> <li>○ 各学年巻頭・巻末の「言葉の力」一覧によって、生徒が1年間の学習の見通し及び既習事項の振り返りができるようになっており、学びを支える資料も充実している。</li> <li>○ 他教科と関連する内容は「教科関連マーク」によって教科とともに示されており、カリキュラム・マネジメントに資するよう配慮されている。</li> <li>○ 「てびき」では学習の流れが一覧でき、挿絵、図表、写真等及びデジタル教材は、生徒が理解の助けとしたり学びを深めたりできるよう適切に配置されている。</li> </ul>						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1学年は2・3学年に比べてサイズの大きめの文字が使用されており、入学直後の生徒が中学校の学習に抵抗を感じないよう配慮されている。</li> <li>○ 多様性に配慮したキャラクターの起用や、著者の社会的属性や年齢、性別に偏りが出ないような教材選定等、生徒が親しみや魅力を感じられるよう配慮されている。</li> <li>○ 本文には教科書体に近づけた特別な明朝体が用いられている。また、ユニバーサルデザインの観点から、配色及び色以外の要素での識別も可能なように工夫されている。</li> <li>○ 文字と図版の区別、罫線や囲みの使い方、配色等、生徒が情報を捉えやすく学習に集中することができるよう、バランスの良いレイアウトがなされている。</li> <li>○ 製本は堅ろうで、裏写りを抑えた軽量で文字が見やすい用紙が用いられている。再生紙・植物油インキを使用しており、環境への配慮がなされている。</li> </ul>						

種 目	国 語	発行者の 番号・ 略称	1 5	教科書 の記号・ 番号	国語 0 1 5 - 7 2 0 1 5 - 8 2 0 1 5 - 9 2	書 名	現代の国語 1 現代の国語 2 現代の国語 3
			三省堂				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「領域別教材一覧」に学習指導要領と関連した「つきたい力」を提示し、その中に重点を置く項目を二重丸で示して、何を学ぶのがよく分かる工夫がなされている。</li> <li>○ 各教材で、主体的・対話的で深い学びにつながるように段階的に学習活動が設定されており、本県の国語教育の重点事項に沿った内容になっている。</li> <li>○ 各教材の最後に、キーワードを基に学習を振り返る項目があり、学んだことや身に付いた力を自己評価することで、学習意欲を高められるようになっている。</li> <li>○ 各学年で書きおろしや書き改めた教材文が取り上げられており、知識・技能と思考力・判断力・表現力等を効果的に育成することができるよう工夫されている。</li> <li>○ 資料には様々なジャンルの文章や古典の補助資料が取り上げられている。また、各資料の出所、出典が明示されるとともに、参考資料が二次元コードで提供されている。</li> </ul>						
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各領域で学んだことを別の領域で生かすことができる配列になっている。また、学年の系統性が重視されており、身に付けた力を活用できるよう配慮されている。</li> <li>○ 各教材の目標と、それに迫る学習過程、考え方の手立てが提示されている。また、どの文章教材も構造や内容を捉えてから読みを深め、自分の考えを深める構成になっており、学習活動に一貫性を持たせるよう配慮されている。</li> <li>○ 意味や具体物が分からないと予測される語には、脚注に意味や写真が付けられており、円滑に発展的な学習へと進めることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 2学期制と3学期制の両方で指導に当たることができるように配当時数と単元構成が設定されており、各学校の年間指導計画に適合できるよう配慮されている。</li> <li>○ 各地域の実態に合うよう、汎用的な内容を取り上げるとともに、現代社会における課題を取り上げて、課題解決に向けた学習が行えるよう教材を配列している。</li> </ul>						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 思考と語彙に関する解説を設けることで、知識・技能の確実な習得を図り、思考力・判断力・表現力等が育成できるよう配慮されている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びが実践できるように、各教材で主体的な課題解決に基づく学びと、対話を中心とした協働的な学びを組み合わせる工夫をしている。</li> <li>○ 各学年の「読み方を学ぼう」では、読みの方略を図解で示し、自主的な読書活動や表現活動に繰り返し活用できるように配慮されている。</li> <li>○ 各学年の第1単元でグループディスカッションの学習を配列することで、各教科等の話し合い活動に生かすことができるよう配慮されている。</li> <li>○ 図表や写真は本文の妨げにならない大きさや位置で配置されている。また、朗読音声や「読み方」解説動画を二次元コードで提供されており、生徒の学習を支援できるよう工夫されている。</li> </ul>						
4 表現と 体裁等 に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 古典教材の表記や表現の仕方が学年で異なり、発達の段階に応じた配慮がされている。各教材で語彙を豊かにする学習活動が設定されている。</li> <li>○ 表紙絵や挿入されているイラスト、明るい配色で生徒に親近感を抱かせる配慮がなされている。物語教材のイラストは、想像を広げられるように工夫されている。</li> <li>○ 文字の大きさや書体を使い分け、画数や点画の方向等で誤解が生じないように工夫している。色の濃淡も工夫されており、見やすく、学びやすい配色となっている。</li> <li>○ 教材に関連した挿絵や図表、写真が効果的に配置されており、生徒の意欲を高めるだけでなく、理解を促す一助となっている。</li> <li>○ 表紙は表面加工され、耐久性が高い。重量も軽く、ページが開きやすい。また、環境にやさしい用紙と植物油インキを使用している。</li> </ul>						

種 目	国語	発行者の 番号・略称	17  教出	教科書の 記号・番号	国語 017-72 017-82 017-92	書  名	伝え合う言葉 中学国語1 伝え合う言葉 中学国語2 伝え合う言葉 中学国語3
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に示されている教科の目標達成のために、各単元や教材の目標及び内容が明確にされた内容になっている。</li> <li>○ 「学びナビ」には指導事項に即した目標、単元末には振り返りが明示され、本県の国語科教育の重点事項である指導と評価の一体化に沿った内容になっている。</li> <li>○ 各学年には多様な教材を読む学習が設定され、これからの時代に求められる力を育成するための課題が位置付けられている。</li> <li>○ 単元ごとに関連した本を紹介する「広がる本の世界」、巻末にも、多様な文種の作品が掲載されており、学習の理解をより深めるとともに、読書の充実が図られている。</li> <li>○ 領域及び指導事項に偏りがないように教材が配置されている。出所、出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組織と配 列に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 指導内容が学年間と学年を通して系統的な単元構成になるように配列されている。教材ごとに学習内容の明確化、焦点化が図られている。</li> <li>○ 各章で目標が明確にされており、各章内の領域がバランスよく構成され、八つから九つの単元で効果的に習得できるように配列されている。</li> <li>○ 学習内容が3年間を通して、難易度を上げながら反復的に設定されており、発展的な学習ができる配慮がされている。</li> <li>○ 本教材と補充・参考等の資料に分けられている。また、学習評価に際しても教材が偏りなく配列されているため、各学校の年間指導計画に広く適合できる。</li> <li>○ 教材の話題や題材は、地域的な偏りがなく、生徒の生活や各地域の実態に広く適合できるよう配慮されている。</li> </ul>						
3 学習と指 導に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資質・能力の三つの柱が相互に関連し合いながら育まれるよう、言葉による見方・考え方を働かせるための言語活動が各単元に位置付けられている。</li> <li>○ 深い学びが実現されるよう、多様かつ幅広い分野から教材が設定されている。また、他者と交流して協働的に課題を解決する活動も位置付けられている。</li> <li>○ 教材文や学習活動の前に「学びナビ」が配置され、生徒が見通しを持って学習に取り組む、学習進度や学習到達度を自分自身で確認、調整できるよう配慮されている。</li> <li>○ 社会科や理科、道徳科等、他教科との関連に配慮されている。また、「持続可能な未来を創るために」の章が設けられ、探究的な学習課題が設定されている。</li> <li>○ 挿絵、図表及び写真等、適切に配置されている。生徒の学習意欲を高めたり、生徒の理解を助けたりするものを効果的に取り上げている。</li> </ul>						
4 表現と体 裁等 に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 表記、表現については、3学年を通して基準が統一されている。1学年と2、3学年では字詰め、行数等を変え、発達の段階に合わせた紙面レイアウトになっている。</li> <li>○ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」の末尾に「学びを生かす」項目を設け、他教科や実生活に生かすことができる活用例が示されている。</li> <li>○ 活字は読みやすく学習に適した独自の字体を採用している。色彩はカラーユニバーサルデザインに対応し、色覚の特性に関わらず見やすいものになっている。</li> <li>○ 挿絵や図表、写真等の大きさ、配置、レイアウトについては、多様性に配慮された表現の工夫がなされている。</li> <li>○ 紙は軽量化、裏写りのない再生紙、インクは植物油インキが使用され、学習者の負担や環境に配慮がなされている。</li> </ul>						

種 目	国 語	発行者の 番号・ 略称	3 8	教科書 の記号・ 番号	国語 0 3 8 - 7 2 0 3 8 - 8 2 0 3 8 - 9 2	書 名	国語 1 国語 2 国語 3
			光 村				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領の各学年の目標・内容がもれなく指導でき、言語活動例が各学年で適切に扱えるよう教材の内容が工夫されている。</li> <li>○ 本県の国語科教育の重点事項である言語活動を通じた学習指導の充実と全領域でのICTの効果的な活用が図られるような内容・構成になっている。</li> <li>○ 1学年に小学校の既習事項を確認する教材を設けたり、3学年の論説や古典分野において高等学校への橋渡しになる教材を位置付けたりするなど、小学校・高等学校とのスムーズな接続を図るための工夫がなされている。</li> <li>○ 主教材以外に、言葉をテーマにした教材や巻末に「語彙ブック」を設け、生徒が語感を磨き、主体的に語彙の獲得・活用ができるように工夫されている。</li> <li>○ 古典的名作に加え、現代を代表する作家の作品や時代に合わせた教材がバランスよく掲載されており、資料の出所、出典も明示されている。</li> </ul>						
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容は言葉による見方・考え方を育成できるよう系統的に配列され、各領域の学習が特定の時期に偏ることなく、学習の効果が高まるよう工夫されている。</li> <li>○ 各学年の教材は八つの単元で構成され、それぞれのねらいが明確で、発達の段階や習熟の過程を考慮し、軽重を付けバランスよく配置されている。</li> <li>○ 本編で身に付けた資質・能力を評価する「国語の力試し」を巻末に設け、知識・技能と思考力・判断力・表現力等に関連させて学習が進められるように配慮されている。</li> <li>○ 3領域に対応した教材がバランスよく配列され、各学校の年間指導計画に柔軟に対応できるよう、分量や区分が工夫されている。</li> <li>○ 教材は地域的な偏りを避けるとともに、3学年では郷土ゆかりの作家や作品を紹介する資料が掲載され、郷土の言語文化への関心を高める工夫がなされている。</li> </ul>						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 身に付けるべき資質・能力を意識しながら、学習に取り組むための流れが明確に示され、生徒が主体的に取り組めるよう配慮されている。</li> <li>○ 「学びのカギ」で汎用性のある学習ポイントが明示され、教材や教科を超えた学習に生かせるような工夫がされている。また、「学びへの扉」の具体的な振り返りで、より深い学びにつながるよう配慮されている。</li> <li>○ 各教材に学習の流れが示され、生徒が学習全体を見通し、自ら学習を調整しながら、対話を通して理解や考えを深められるよう配慮されている。</li> <li>○ 各学年の巻頭には、各教材に関連する教科名を明記し、カリキュラム・マネジメントを意識した指導計画を立てられるよう配慮されている。</li> <li>○ 教材中の挿絵や写真、図・グラフは、学習を進める上で、学習の深まりに有効に働くように配置されている。</li> </ul>						
4 表現と 体裁等 に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 表記・表現の基準は全学年にわたって統一され、適切な表記が身に付くよう配慮されている。</li> <li>○ 各学年の巻頭詩では、言葉が喚起する豊かなイメージに触れ、生徒の国語学習への期待を高め、豊かな情操と創造性を培うことができるよう構成されている。</li> <li>○ 本文に使用されている書体は手書き文字との相違が少なくなるように調整され、学習上の支障にならないよう配慮されている。</li> <li>○ 図表は線の種類や濃淡、地紋でも識別でき、色覚特性によって判別しにくい色の組合せにならないよう配慮されている。</li> <li>○ 製本は体裁がよく堅ろうであり、環境に負荷の少ない用紙や植物油インキを用い、環境への配慮がなされている。</li> </ul>						

種 目	書 写	発行者の 番号・略称	2  東 書	教科書の 記号・番号	書写 002-72	書 名	新編 新しい書写 一・二・三年
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に示されている書写の目標に即して、生徒が書写で身に付けた知識・技能を、日常生活の中で目的に応じて活用できるよう工夫されている。</li> <li>○ 個別最適な学びと協働的な学びを充実させるため、「生活に広げよう」では、既習事項を実生活で活用できるよう、具体的な場面を想定した話し合い活動を設定している。</li> <li>○ 全国学力・学習状況調査、高校入試問題で出題されたものや、入学願書の記入の仕方を取り上げ、配当時数の少ない3学年においても関心を高めるよう工夫されている。</li> <li>○ 巻末の「書写活用ブック」を活用することで、学んだことを学校生活だけでなく、今後の人生に生かせるよう工夫している。</li> <li>○ 日本や中国の古典的な文字や、国語の教科書で見慣れた文学等、様々な資料が扱われており、出所や出典も明示されている。</li> </ul>						
2 組織と配 列に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全学年で「1. 見つけよう」「2. 確かめよう」「3. 生かそう」の三つのステップで構成されており、学習過程が統一されている。</li> <li>○ 目標に合わせて「書写のかぎ」が明示され、学習のポイントが焦点化されており、生徒自身が学習のねらいを意識しやすくなっている。</li> <li>○ 各学年末に「書写テストに挑戦！」を設け、学習したことを振り返り、身に付けた知識・技能の定着を確認できるよう工夫されている。</li> <li>○ 適切な単元数になっており、学習のポイントを「書写のかぎ」として明確化することで、効果的・効率的に書写の力を身に付けられるよう配慮されている。</li> <li>○ 「生活に広げよう」では、生徒に身近な題材の例を示し、身に付けた知識・技能をどのように今後の生活で活用できるか考えられるようになっている。</li> </ul>						
3 学習と指 導に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「生活に広げよう」では、振り返りに話し合い活動が設定されており、身に付けた知識・技能を活用して、思考力・判断力・表現力等が高められるように配慮されている。</li> <li>○ 生徒が生活体験をもとに書くことを振り返り、自分の文字をよりよくしていこうとする主体的な態度を育めるよう工夫されている。</li> <li>○ 単元には、目標と振り返りが設定され、生徒自身が学習のねらいを意識し、何を身に付けたのかを振り返り、次の学習に生かせるよう工夫されている。</li> <li>○ 巻末の「書写活用ブック」には職場訪問のポスターや防災パンフレット等があり、他教科と関連しているものに「教科関連マーク」をつけて意識付けが図られている。</li> <li>○ 毛筆の学習においては、穂先の位置が分かりやすいよう淡墨の文字写真を用いるなど、内容理解の助けとなるよう工夫されている。</li> </ul>						
4 表現と体 裁等 に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学年に応じて分かりやすい表現になっており、文意を捉えやすいように、文節で改行するなどの配慮がされている。</li> <li>○ 看板やポスター等の身の回りにある文字や、職場体験のお礼状等、学校生活で体験するものが取り上げられ、生徒が親しみやすいよう工夫されている。</li> <li>○ 本文書体は、手書き文字の字形に近づけた、特別な明朝体を使用されており、印刷は鮮明で正確である。</li> <li>○ 「書写のかぎ」等の学習要素の位置が固定化されており、一目で大事なことが分かる紙面になるよう工夫されている。</li> <li>○ 製本は書き込みがしやすく、十分な強度を持ちながら軽量になっている。また、環境に配慮した紙とインキが使用されている。</li> </ul>						

種 目	書 写	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 5  三 省 堂	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	書 写  0 1 5 - 7 2	書  名	現 代 の 書 写 一・二・三
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に示されている指導事項を踏まえ、全ての教材に「学習目標」と「振り返り」を設け、生徒自身が見通しを持って学べるよう工夫されている。</li> <li>○ 「文字の変遷」や「文字と関わる職業人」を取り上げ、文字文化との関わり方が考えられるようになっており、「豊かな人間性」の育成に沿う内容となっている。</li> <li>○ 「書いて身につけよう」で取り上げられている内容は、学校生活や身近な日常生活に関するもので、生徒の発達の段階を考慮したものとなっている。</li> <li>○ 習得したことを活用できるように書き込みページが豊富にあり、日常生活や社会生活の中の多様な場面を想定して練習することができるよう工夫されている。</li> <li>○ 「本編」「資料編」ともに、日本や中国の有名な古典作品を資料として取り上げ、出所や出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校書写とのつながりを意識し、系統的に教材が配置されており、既習事項を活用しながら進められるよう配慮されている。</li> <li>○ 各教材が見開きで構成され、学習すべき内容が一目で分かるようになっている。</li> <li>○ 「書き方を学ぼう」では、基礎的・基本的な内容が身に付くように図と言葉で説明している。また、「書の古典」では、高等学校芸術科書道との接続を見据え、発展的な内容を掲載している。</li> <li>○ コラムや補充教材が適宜配置されており、再確認や発展的な内容の指導等、生徒の実態や各学校の年間指導計画に合わせた指導ができるように工夫されている。</li> <li>○ 資料編では日常生活や社会生活で必要となる書式を確認する配列となっている。便せんや封筒、願書の書き方等、生活に合わせた教材が取り上げられている。</li> </ul>						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「書いて身につけよう」では、多様な「書く」場面を想定し、主体的に活用する力を身に付けられるよう工夫されている。</li> <li>○ 各教材の課題や、学年末教材の「やってみよう」では、読合いや話し合い等、生徒同士の対話を通して学習が深められるよう工夫されている。</li> <li>○ 各教材の冒頭に書き方のポイントを明示するとともに、巻末にもそのポイントを一覧にし、再度確認したり、学びを調整したりできるような工夫がなされている。</li> <li>○ 「やってみよう」では、壁新聞や情報誌、レポート等の書き方を取り上げ、教科横断的な学習ができるよう配慮されている。</li> <li>○ 鉛筆や筆等の使い方の挿絵や写真が適切に配置されている。また、書字動画を二次元コードで見ることができ、生徒の理解を支えるつくりとなっている。</li> </ul>						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 読みやすさに配慮した独自の明朝体・ゴシック体が使用されている。また、解説では各学年で無理なく理解できる表現や用語を用いている。</li> <li>○ 筆や鉛筆をモチーフにした親しみやすいキャラクターを用い、知識・技能の理解や習得をスムーズに行えるよう配慮されている。</li> <li>○ 文字の大きさや書体を使い分けられており、ユニバーサルデザインに配慮したつくりとなっている。また、写真や図版も鮮明で見やすい。</li> <li>○ 文字の解説図版は、朱墨を使った2色使いで、穂先がどこを通っているか視覚的に分かる工夫がなされている。</li> <li>○ 用紙は、硬筆で「書く・消す」といった使用に対応できる紙質で、製本は針金で3か所を綴じる方式になっており、堅ろうである。</li> </ul>						

種 目	書 写	発行者の 番号・略称	1 7	教科書の 記号・番号	書 写 0 1 7 - 7 2	書 名	中学書写
			教 出				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に示されている指導事項を押さえた内容であり、直接文字を書く欄が豊富に設けられ、自己評価の観点に書写用語を挙げるなどの工夫が見られる。</li> <li>○ 巻末に「書式の教室」を設け、手紙や原稿用紙、願書等の様々な書き方を豊富に掲載し、生涯にわたって活用する力を身に付けるよう工夫されている。</li> <li>○ 巻頭では、学習の進め方の5ステップを明確に説明したり、書写を通して学ぶことをイラストで示したりすることで、生徒の学習意欲を高めるよう工夫されている。</li> <li>○ 巻末に小中学校で学習する漢字を楷書と行書で掲載し、国語と関連して学習できるよう工夫されている。</li> <li>○ 広い時代にわたる文字文化の変遷や、郷土の文字文化、身の回りで見られる書等が掲載されており、出所、出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組織と配 列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生きてはたらく書写の力が身に付くよう、書く姿勢や用具の持ち方、筆使い、字形の整え方から、日常生活や学習活動での活用へと系統的に配列されている。</li> <li>○ 各学年の中表紙に、身に付けさせたい力と学習内容が簡潔に書かれ、教材ごとにも目標が明示されており、生徒が見通しを持って学習できるよう工夫されている。</li> <li>○ 毛筆の筆使いを朱墨と薄墨を使用した図版で説明し、知識・技能の定着を図った上で、身に付けた点画を活用して他の文字を書くなど発展的な学習を設けている。</li> <li>○ 各学年の国語の授業時数を考慮した教材数であり、国語で学習する文学作品や古典が硬筆教材となっているため、年間指導計画に広く対応できるよう配慮されている。</li> <li>○ 年賀状や七夕等の季節行事での活用例や、標識、石碑等の多様な文字表現の例を取り上げており、生徒の生活や各地域の実態に広く適合するよう配慮されている。</li> </ul>						
3 学習と指 導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「目標」「考えよう」「生かそう」「振り返ろう」「学習や日常生活に生かそう」の順で教材が構成され、知識・技能から活用力へ段階的に学習できるよう工夫されている。</li> <li>○ 「振り返ろう」で自己評価する場を設けたり、「話し合いメモ」や気づいたことを書き込む欄を設けたりし、主体的・対話的で深い学びが展開されるよう工夫されている。</li> <li>○ 巻末に補充教材集として11の毛筆教材を設け、生徒の多様な個性や能力に応じて学習できるよう工夫されている。</li> <li>○ 書写で身に付けた知識・技能を他教科等に活用できる具体例が各学年に配置され、生きてはたらく書写の力が育成できるよう配慮されている。</li> <li>○ 文字に関わる豊富な図表や写真が掲載され、二次元コードから毛筆、硬筆教材の運筆動画を見ることができると、生徒の学びを視覚的に支援するよう工夫されている。</li> </ul>						
4 表現と体 裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 書写の学習用語を書体と色を変えて示したり、運筆方法を具体的な言葉で示したりし、学習内容が伝わりやすいよう工夫されている。</li> <li>○ キャラクターを用い、学習内容やポイントを強調することで生徒の興味を喚起し、多角的な視点から文字資料を掲載することで書写の魅力を伝える工夫が見られる。</li> <li>○ 図表等を含めた社会の多様性を踏まえた表現への配慮、色覚等の特性を踏まえた配色やレイアウト等、全ての生徒にとって学びやすい工夫がなされている。</li> <li>○ AB版のため手本文字が半紙形を維持した大きさになっており、書き始めの位置や字形の整え方、文字と余白のバランスの取り方等を視覚的に捉えやすくなっている。</li> <li>○ 表紙に撥水コーティング加工がされ、水や墨汚れに強く書写の教科特性を考えた堅ろうな製本である。また、環境に配慮した再生紙と植物油インキが使用されている。</li> </ul>						

種 目	書 写	発行者の 番号・略称	3 8  光 村	教科書 の記号・番号	書 写 0 3 8 - 7 2	書  名	中学書写 一・二・三年
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に示された「文字を効果的に書くことができる力」を育成するために、身の回りの多様な文字に触れ、文字文化への関心を高める教材が扱われている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現のため、各教材は①考えよう②確かめよう③生かそうという展開で、生徒が主体的に学びやすいよう構成されている。</li> <li>○ 小学校での学習内容をまとめた「中学書写スタートブック」が設けられ、小学校からの円滑な接続を図り、基礎・基本を意欲的に学べるように工夫されている。</li> <li>○ 「書き初めマスターブック」や高等学校芸術科書道への関連を意識した教材があり、生徒の関心に応じて書写学習を深化・発展できるよう配慮されている。</li> <li>○ 「季節のしおり」にある古典文学や短歌などには出典が明示され、生徒の参考作品や全国文字マップ等、多様な資料が取り扱われている。</li> </ul>						
2 組織と配 列に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識・技能の習得と活用を繰り返しながら、着実に基礎・基本が定着するように段階的に配列されている。</li> <li>○ 全教材に「目標」及び「振り返ろう」が設定され、求められている知識・技能が身に付いたか振り返ることができる構成になっている。</li> <li>○ 別冊「書写ブック」があり、毛筆での学習を硬筆に生かし、定着させることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 1教材1事項で構成し、「学びのカギ」でポイントを焦点化することで効率的に学習できるよう配慮されている。</li> <li>○ 「日常に役立つ書式」では、手紙や願書等身近なものが示され、身に付けた力を日常生活に生かすことができるよう工夫されている。</li> </ul>						
3 学習と指 導に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭の「中学書写スタートブック」で書写の基礎・基本を分かりやすく示している。タブレットの活用法の説明もあり、学びを深められるようになっている。</li> <li>○ 教材冒頭に話し合い活動が設定されており、対話を通して主体性や思考力・判断力・表現力等が養えるように配慮されている。</li> <li>○ 「学びのカギ」で学習のポイントを確認したり、キャラクターが与えるヒントから課題解決したり、生徒が自己の学びを調整しながら学習できるよう工夫されている。</li> <li>○ ノートや壁新聞等の例を掲載し、書写で身に付けた知識・技能を、他教科や学校生活に役立てることができるよう配慮されている。</li> <li>○ 「行書スイッチ」の挿絵を入れることで、行書を書くときに意識すべき四つの筆使いが、一目で分かりやすくなっている。</li> </ul>						
4 表現と体 裁等 に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発達の段階に応じて分かりやすい文章で表現しており、表記や用語は学年で段階を設けつつ統一している。</li> <li>○ 漫画を通して手書きのよさについて話し合う活動が設定されており、手書きへの抵抗を少なくし、関心を高めるように工夫されている。</li> <li>○ ユニバーサルデザインフォントが用いられ、誰もが明確に識別できる配色で印刷されている。</li> <li>○ 毛筆教材では、全体的に手本が大きい。実際に筆で書いている連続写真が大きく掲載され、穂先の向き等筆使いが分かりやすくなっている。</li> <li>○ 製本は長期の使用に耐えられるように配慮され、環境に配慮した再生紙・植物油インキが使用されている。</li> </ul>						

種 目	社 会 (地理的分野)	発行者の 番号・略称	2	教科書の 記号・番号	地 理 002-72	書 名	新編 新しい社会 地理
			東 書				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元を貫く問いを軸とした単元構成であり、地理的な見方・考え方を働かせて、主体的な学びが実現できるよう工夫されている。</li> <li>○ まとめの活動では、多様な思考ツールを活用して学習内容を考察することで思考力・判断力・表現力等が養われ、学びを深められる内容となっている。</li> <li>○ 導入部で興味・関心を高めることで、主体的に学習課題をつかみ、単元の学習に見通しを持って取り組めるよう配慮されている。</li> <li>○ 対話的な活動を通して学びを深める課題が設定されている。また、地理的な見方・考え方を働かせ主体的に学習に取り組む態度が育成できる内容となっている。</li> <li>○ 学習指導要領に示された内容を基に構成され、事象の背景や因果関係が例示を交えて説明されている。資料は最新のものが用いられ公正かつ適切であり、出所、出典も明示されている。</li> </ul>						
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元は、課題をつかみ、追究し、解決する配列で、組織的・系列的に構成されており、学習の流れを捉えて学べるように工夫がされている。導入部に小学校の内容を振り返るページがあり、小中の学習が円滑に接続されるよう配慮されている。</li> <li>○ 各地域の地理的特色を押さえて課題を捉え、特徴的な事柄と地域の特色を関連付けながら課題を追究、解決する単元構成となっており、内容にまとまりがある。</li> <li>○ 単元の学習のまとめでは地図などを使って学習内容を整理することで基礎・基本を確実に理解できるように配慮されている。今日的な課題を振り返るコーナーでは、資料から課題を読み取る力を身に付ける問いが示されている。</li> <li>○ 内容、配当時数ともに各学年の年間指導計画に柔軟に対応できるように配慮されている。見開き1単位時間が基本となっており、時間配当や年間指導計画を把握しやすい構成となっている。</li> <li>○ 生活の様子や地域の特色を知り、それらの違いや生活の工夫等に関心を高めることで、異文化理解や国土理解等の地域の諸事象や地域的特色の理解を深められる配列となっている。</li> </ul>						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1単位時間の学習課題をまとめる「チェック&amp;トライ」に取り組むことで、学んだことを振り返るとともに思考力・判断力・表現力等を高められるよう配慮されている。</li> <li>○ 小集団での対話的な学習活動が設けられており、多様な意見に触れて学ぶ活動を効果的に実践できるよう工夫されている。</li> <li>○ 生徒の段階に応じて技能や思考力・判断力・表現力等を高める課題が設定されており、主体的に学び、一人一人の資質・能力を育てる工夫がなされている。</li> <li>○ 他分野や他教科、デジタル教材との関連マークが掲載され、多面的・多角的な学習や教科を横断した学習ができるよう配慮されている。</li> <li>○ 図表、写真、二次元コード等が定位置に配置され、学習の流れの効率化と学習の成果が高まるよう工夫されている。</li> </ul>						
4 表現と 体裁等 に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文は平易で具体的な表現で分かりやすく、丁寧に記述されている。振り仮名は、教育漢字外のものや、固有名詞等の必要な箇所に適宜付されている。</li> <li>○ 生徒の興味・関心を引き出す導入資料や学習効果を高める活動が多く設けられ、スムーズに学習に入れるよう工夫されている。</li> <li>○ インクルーシブ教育への対応がなされ、フラットデザインの採用やユニバーサルデザインフォントを使用し、内容や目的に応じて適切な色彩や文字、字体で表現され、読み取りやすく、視認性が確保されている。</li> <li>○ 視覚的効果が高い幅広のA B判型を用い、文字や図表、写真等の資料が豊富に掲載されている。また、資料の視認性に留意した紙面構成になるよう工夫されている。</li> <li>○ 強力な接着剤を用いて製本され、造本は堅ろうで長時間の使用にも耐えるものになっている。再生紙と植物油インキを使用し、環境に配慮している。</li> </ul>						

種 目	社 会 (地理的分野)	発行者の 番号・略称	1 7	教科書の 記号・番号	地 理 0 1 7 - 7 2	書 名	中学社会 地理 地域にまなぶ
			教 出				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会科の目標、各分野の目標、内容、内容の取扱いを踏まえ、地理的分野に必要な社会の基礎的・基本的な事項が明確に押さえられている。</li> <li>○ 社会の変化や今日的課題が反映された事象を積極的に取り上げ、生徒の「未来社会を切り拓くための資質・能力」を育むように配慮されている。</li> <li>○ 「地理にアプローチ」には、小学校で学習した地図のきまりや地図帳の使い方、グラフの種類などを振り返る活動を位置付けているほか、ワークシートのように直接書き込む作業活動も取り入れるなどの工夫が図られ、発達の段階に応じて無理なく学習することができる内容である。</li> <li>○ 地域の課題が日本全体に結び付いているほか、世界や日本のできごとが地域の課題と結び付くことに生徒自身が気づき、地域や社会を持続可能なものにしていくとする態度を育てられるよう配慮されている。</li> <li>○ 記述内容が正確・公正中立であり、写真、イラスト、地図、グラフ、図解などの資料がバランスよく掲載され、出典と併せて視覚的に捉えやすく配置されている。</li> </ul>						
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元構成は、学習指導要領の内容の区分や順序に準拠し、分かりやすく組織されている。社会の変化や今日的課題が反映された事象を扱い、問題解決的な学習を通してその変化や課題に対応する資質・能力を育成することができるように構成されている。</li> <li>○ 単元を通して問題解決的に学習を進められるようになっており、主権者・市民として必要な課題を捉え、見通しを立て、主体的に解決していく力の育成が図られている。</li> <li>○ 協働的な学習をもとに多角的に理解するほか、考えを深めるなど、新たな知識の習得や、生徒の学習意欲を向上させる工夫が図られている。</li> <li>○ 見開き1単位時間で構成されており、学習の展開がつかみやすく、学校や地域の事情に応じて、弾力的な時数の運用ができるよう設定されている。</li> <li>○ 「もくじ」で単元構成と学習内容の全体が一覧でき、学習の位置や見通しがつかみやすいように工夫されている。また、学習を通して、社会形成への参画意識を高めるよう配慮されている。</li> </ul>						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「確認」や「地理の技」で知識・技能が習得できるように配置され、章末の「表現」で学習内容に基づく思考力・判断力・表現力等を育成する課題が設定されている。</li> <li>○ 生徒の日常生活や経験と関連の深い身近な話題、学ぶ楽しさや意欲が高められる話題が多く取り上げられている。興味・関心を喚起する写真資料がバランスよく盛り込まれ、学ぶ楽しさや意欲が高まるよう配慮されている。</li> <li>○ 「確認／表現」のコーナーでは、学習したことをもとに「調べよう」、「まとめよう」などの課題が多く設定され、知識・理解や表現活動を行うことで1時間の学習を振り返ることができ、他者との交流を経て、更に深まっていくよう配慮されている。</li> <li>○ 「関連ページ」を示す箇所を設けて、教科書内にある学習項目が関連する他の箇所や他分野との関連も示すなど、学習の支援となるように工夫されている。</li> <li>○ 写真資料や主題図、統計資料が豊富に掲載されている。また、公的機関や発行者が管理する特設ページへの二次元コードが示されている。</li> </ul>						
4 表現と 体裁等 に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1学年の学習範囲には小学校5・6学年の配当漢字にも振り仮名が付けられており、生徒が学習しやすいように配慮されている。</li> <li>○ 生徒の興味・関心が高まるような、写真・図版等の資料を導入場面で使用することにより、スムーズに授業が進められるよう工夫されている。</li> <li>○ 活字の大きさが適切で、黒字のユニバーサルデザインフォントを用いている。図やグラフもより多くの人が見やすいデザインを取り入れていて、印刷も鮮明で見やすい。</li> <li>○ 紙面を見開き単位とし、本文と資料をフォントやポイントの違いにより明確に区分するほか、整理したレイアウトで視認性が高まるよう配慮されている。</li> <li>○ 堅固な製本で、より開きやすい綴じ方で紙面スペースが広くなり資料性が高まっている。また、印刷には、再生紙と植物油インキが使われ、環境に配慮している。</li> </ul>						

種 目	社 会 (地理的分野)	発行者の 番号・略称	4 6	教科書の 記号・番号	地 理 0 4 6 - 7 2	書 名	社会科 中学校の地理 世界の姿と日本の国土
			帝 国				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地理的な見方・考え方の視点を整理したページや、本文の理解を促す資料、技能の形成を促す作業が盛り込まれ、社会科の目標を達成するための配慮がなされている。</li> <li>○ 単元を貫く「章・節の問い」、各見開きの「学習課題」「確認しよう」、単元最後の「説明しよう」が構造化され、見通しを持った学習ができるよう配慮されている。</li> <li>○ 節の問いや資料の読み取りから学習の見通しが立てられるよう配慮され、単元のそれぞれの問いを考えていくことで問題解決的な学習ができるよう工夫されている。</li> <li>○ 本文は地理的事象が具体的に示され、基本的な用語や概念の理解を優先的に学べるほか、「パフォーマンス課題」が設置されるなど、学習を発展させる工夫がされている。</li> <li>○ 全ての領域で適切な資料が用いられ、側注欄には丁寧な「解説」が設けられているほか、脚注欄には小学校や歴史・公民分野、他教科との関連性などが明記されている。</li> </ul>						
2 組織と配 列に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各州の地域的特色を大観し、基礎的・基本的な知識を身に付けながら、地理的な見方・考え方を働かせて今日的課題を多面的・多角的に考察できるよう工夫されている。</li> <li>○ 単元構成と学習内容、各種コーナーの意図や役割が「もくじ」「教科書を活用した学び方」から一望でき、学習の位置付けや見通しがつきやすいよう工夫されている。</li> <li>○ 基礎的・基本的な内容を理解するため単元の展開が構造化されている。「未来に向けて」が設けられ、社会参画について発展的に考えることができるよう配慮されている。</li> <li>○ 本文、資料等が統一してレイアウトされ、紙面の使い方が整理されている。見開き1単位時間の授業が想定されており、年間指導計画に広く適合させやすい。</li> <li>○ 現代社会が直面する課題の解決に向けて構想する活動場面が設けられており、生徒の社会参画に向けた態度・行動等を段階的に促す工夫がなされている。</li> </ul>						
3 学習と指 導に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「導入」「学習課題」「確認しよう」で段階的に基本的な内容を捉え、「説明しよう」での言語活動を通し思考・判断・表現力を育成できる工夫がなされている。</li> <li>○ 学習内容との関連性を重視した写真で生徒の学習意欲を高め、「学習を振り返ろう」で協働的に学習する場面を設け、深い学びにつながられるよう工夫がされている。</li> <li>○ 写真や地図、グラフを読み取る技能を着実に習得できるよう「技能をみがく」が設置され、段階的に課題に向き合い、自ら解決できるよう工夫がなされている。</li> <li>○ 今日的課題の解決に向けて構想する「アクティブ地理」が全4テーマ設けられ、歴史・公民的分野だけでなく他教科との関連に発展する内容となっている。</li> <li>○ 学習内容の定着を支援するデジタル教材や問題解決的な学習を支援する「統計資料」「リンク集」等の参考資料が適切に配置されている。</li> </ul>						
4 表現と体 裁等 に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文は簡潔で未学習の漢字には振り仮名が付けられ、生徒が読みやすい表現になっている。単元が進むに従い、学習課題がより高度になり、発達段階に配慮している。</li> <li>○ 現地取材で撮影した写真を使用し、生徒の興味・関心を喚起するよう工夫されている。中学生のキャラクターによる発問や学習の手がかりが各ページに配置されている。</li> <li>○ 図版の色使いや本文のフォント等、ユニバーサルデザイン化を図っているだけでなく、グラフの線種を工夫するなど、インクルーシブ教育に配慮した表現になっている。</li> <li>○ 導入での人々の暮らしが見える写真や親しみやすいイラスト地図、見開きのレイアウトの統一、章ごとの色の統一等、適切に配置されている。</li> <li>○ 紙は軽くて丈夫で、写真や図版が鮮明に写るものを採用し、再生紙や国産米からつくられるライスインキを使用するなど、環境保全への配慮がなされている。</li> </ul>						

種 目	社 会 (地理的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1 6  日 文	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	地 理  1 1 6 - 7 2	書  名	中 学 社 会 地 理 的 分 野
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会的事象の地理的な見方・考え方を身に付けながら、課題を追究し解決する資質・能力の基礎を育成する内容になっている。</li> <li>○ 地理的分野の目標に応じた見方・考え方を身に付け、社会との関わりを意識した課題を追究する力の育成が図れるよう工夫されている。</li> <li>○ 簡単な作業学習の「トライ」で生徒の興味・関心を高めながら、「資料活用」や「まとめと振り返り」に取り組むことで、段階を踏んで思考力・判断力・表現力等を高められるよう工夫されている。</li> <li>○ 掲載資料や本文の記載で知識や技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成の工夫がされている。「まとめと振り返り」で、「思考ツール」を活用しながらまとめることで発展的な学習にも対応している。</li> <li>○ 領土や多文化共生において歴史的経緯や多様性等が適切に記載されている。地図や写真、グラフ等は最新のものを採用し、バランス良く掲載されている。場所や年代、出典等が明示されている。</li> </ul>						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 初めに世界と日本の地域構成を、その後に世界、日本を学習するように配列されている。世界的視野から見た日本の位置付けを大観させた後、具体的に世界と日本の地域的特色を学ぶ構成になるよう配慮されている。</li> <li>○ 各時間の学習課題を積み重ねて各編、各章、各節の問いを解決する構造になっており、単元を貫く問いを追究することで主体的・対話的で深い学びとなるよう配慮されている。</li> <li>○ 学習内容ごとに地理的な見方・考え方を示し思考力・判断力・表現力等の育成が図られている。また、「スキルUP」や「資料活用」「自分の考えをまとめよう」では、生徒が自分の言葉で表現できるように工夫されている。</li> <li>○ 学習内容の構造化と焦点化が図られており、学習指導要領が示す時数に対してもゆとりのある分量になっており、年間指導計画が組みやすいように配慮されている。</li> <li>○ 「環境問題」「災害・防災」「地域活性化」等、持続可能性について様々な観点から考えることができる教材を設定し、ディベートを通して議論を深められるよう工夫されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習課題を冒頭に明示し、何を学ぶかを明確にしている。「確認コーナー」では、基礎的な知識及び技能の確実な定着、「表現コーナー」では、文章化・言語化し表現力の向上を図る工夫がなされている。</li> <li>○ 地理的な見方・考え方を働かせることができ、その地域的特色を捉えながら、最後にまとめと振り返りをすることで主体的・対話的で深い学びができるよう配慮されている。</li> <li>○ 写真やグラフ資料を多く掲載し、二次元コードからも様々なデジタル教材が活用でき、授業支援や個別最適な学びにも対応している。</li> <li>○ 歴史的な分野では地理的事象の歴史的背景を示し、公民的分野では地域の課題を追究できる内容構成になっている。また、他教科と関連のある教材も掲載している。</li> <li>○ 地図は統一した体裁、サイズ、配置になっており、他の州・地方と比較しやすい。また、最新の資料を掲載することで生徒の興味・関心を高める工夫がなされている。</li> </ul>						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校6 学年以上で学習する漢字の初出箇所と全ての重要語句に振り仮名を付けている。また、図版には番号を付け、本文にも関連する図版番号を示す工夫がされている。</li> <li>○ 最新のトピックスや、今日的な課題や伝統・文化・多様性等について具体的な事例を示し、生徒が親しみや魅力を感じるよう配慮されている。</li> <li>○ カラーユニバーサルデザインを取り入れ、配色による判読のしやすさを工夫し、すべての生徒が情報を読み取ることができるよう配慮されている。</li> <li>○ 地理的概念などを具体的にイメージできる「しくみ図」を豊富に掲載している。また、大判紙面を生かした、大きく多彩な図版にしており読み取りしやすく工夫されている。</li> <li>○ 製本は、堅ろうなあじろ綴じを採用し、針金綴じよりも大きく開き、かつ閉じにくくなっている。また、良質で軽い紙を使用し軽量化を図っている。</li> </ul>						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発行者の 番号・略称	2  東 書	教科書の 記号・番号	歴 史 0 0 2 - 7 2	書  名	新編 新しい社会 歴史
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせる学習課題を設定し、知識・技能の定着や思考力・判断力・表現力等の育成を目指す内容となっている。</li> <li>○ 「みんなでチャレンジ」など個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実のために、学習課題が設定され、思考力・判断力・表現力等の育成につながる工夫がなされている。</li> <li>○ 内容の程度、範囲は適切で文章も具体的な記述となっている。単元の導入に小学校の学習を振り返る活動を設けることで、中学校学習への移行に配慮されている。</li> <li>○ 基礎的・基本的な知識・概念や技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成を目指して内容が整理されている。</li> <li>○ 取り上げられている内容や資料は適切であり、出所や出典等も明確である。また、復元写真や想像図等も用いられている。</li> </ul>						
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3分野共通の題材や、分野にまたがる共通の資料を扱うことで、分野の関連を意識しながら多面的・多角的な学習になるよう工夫されている。</li> <li>○ 単元構成が、学習への興味・関心を高める「導入部」、学習を進める「展開部」、学習をまとめる「終結部」の順に構造化されており、学習の流れを捉えやすくする工夫がなされている。</li> <li>○ 単元の「まとめのページ」では評価の観点が明示されており、単元の目標を意識した振り返りの学習につながる工夫がなされている。</li> <li>○ 見開き2ページで1単位時間を原則とし、各章の配分も適切であり、各学校の年間指導計画に対応できる構成となっている。</li> <li>○ 身近な地域の歴史を調べる学習の事例を中単元ごとに設けることで、郷土の歴史に目を向け、郷土を愛する心の育成と主体的に学ぶ態度が涵養できるよう配慮されている。</li> </ul>						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元の導入段階で単元全体を貫く「探究課題」を設定し、1単位時間ごとに学習課題と振り返りで課題を追究し、単元をまとめる活動で「探究課題」の解決を図る構造化が図られている。</li> <li>○ 「探究課題」解決のヒント提示、見方・考え方や着目点の提示、協働的な学習の場である「みんなでチャレンジ」等、対話的な深い学びにつながる学習場面の設定の工夫がなされている。</li> <li>○ 教科書の使い方と学び方が図版とともに明示されており、学習の見通しの可視化や個別学習への配慮などの工夫が見られる。</li> <li>○ 他の教科でも取り扱う内容には「他教科関連マーク」を明示している。更に、「ウェビング」「マトリックス」等の思考ツールが紹介されるなど、歴史的な見方・考え方を働かせ、思考力・判断力・表現力等の育成につなげるよう工夫されている。</li> <li>○ 学習効果を高める資料が掲載され、資料に付した「図番号」が本文に掲載されている。また、小単元の導入にデジタル教材を設けられており、これまでの学びを振り返りながら、今後の学習内容をイメージしやすくなっている。</li> </ul>						
4 表現と 体裁等 に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文章は敬体を用い、中学生の発達の段階を考慮した平易な表現などの配慮がされている。また、学習している時代や世紀を常に確認できるように工夫されている。</li> <li>○ イラストや図版が多様で、生徒が親しみを持って学習に取り組めるよう工夫がされている。</li> <li>○ ユニバーサルデザインフォントを採用し、見やすく読み間違えにくい配慮がされている。</li> <li>○ 図表や写真等のレイアウトやバランスは本文と調整が取れており、色映えするように配慮されている。</li> <li>○ 再生紙や植物油インキを使用し、印刷業界が定めた環境配慮基準を満たす「グリーンプリンティング認定工場」で印刷されているなど環境に配慮されている。針金綴じを用いて製本するなど堅ろうである。更に、独自の紙を使用し、軽量化の配慮がされている。</li> </ul>						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 7  教 出	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	歴 史 0 1 7 - 7 2	書  名	中学社会 歴史 未来をひらく
1 内 容 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「歴史の窓」や特設ページを充実させ、資料を活用しながら歴史的事象について多面的・多角的に考察することができるよう配慮されている。</li> <li>○ 内容のまとめりごとの見通しと振り返りの学習場面が設定され、本時の学習のまとめでは学習内容を自分の言葉で説明するなど言語活動に取り組む工夫がなされている。</li> <li>○ 第1章では小学校で学んだ歴史上の人物や文化財等を振り返る活動が位置付けられており、生徒が楽しみながら学習を進めていく契機となるよう工夫されている。</li> <li>○ 教科書の冒頭に、歴史的な見方・考え方を働かせながら学習を進めるためのページを設定し、学習の充実と発展を図る工夫がなされている。</li> <li>○ バランス良く資料が提示されており、取り上げられている内容や資料は適切で出所や出典等も明確である。</li> </ul>						
2 組 織 と 配 列 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 章の学習内容をイメージできるような資料を中心に導入ページを構成し、資料の読み解きの活動を通じて、章の学習内容を見通すことができるよう工夫されている。</li> <li>○ 各章には問いが提示され、章のまとめでは問いを振り返り、時期や推移等の歴史的な見方・考え方を働かせて時代の特色を確認することができるよう工夫されている。</li> <li>○ 章全体の学習を振り返り、年表や地図にまとめる作業を通じて、基礎的・基本的な内容の定着を図る工夫がなされている。</li> <li>○ 見開き2ページごとに本文・資料・学習活動がバランス良く配置されている。「歴史を探ろう」等が設けられ、各校の年間指導計画に広く対応できる工夫がなされている。</li> <li>○ 時代ごとに郷土の伝統・文化への関心を高めるテーマを紹介するほか、地域調査の手法について詳しく紹介するなどの工夫が見られる。</li> </ul>						
3 学 習 と 指 導 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習課題に対応した「確認」と「表現」という2段階の問いで、本時の学習を振り返り、基礎的・基本的な内容の定着を目指す工夫がなされている。</li> <li>○ 本時の中心となる資料を大きく提示し、資料を読み解く視点をキャラクターの言葉として示すなど、主体的・対話的で深い学びを実現するための工夫がなされている。</li> <li>○ 資料を活用しながら学習を深められるように、資料の読み解きを支援するコーナーがあり、生徒が自ら資料を活用する力を高めるよう工夫されている。</li> <li>○ 第1章の「歴史にアプローチ」では、歴史的事象を数学や理科等の教科を横断した見方・考え方で学ぶ例が示されており、他教科との関連に配慮されている。</li> <li>○ 学習の進め方を示したページやインターネットを活用して学びを広げることができる「まなびリンク」等、生徒の多様な個性や能力に応じた学習に対応している。</li> </ul>						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文章は平易な表現であり、側注には用語解説を付し、生徒が読解するための配慮がなされている。</li> <li>○ 同社の小学校社会科の教科書に登場する児童キャラクターが、中学生に成長した姿で登場し、学習の連続性や親しみを感じることができるよう配慮されている。</li> <li>○ 本文の活字は大きめであり、ユニバーサルデザインフォントを使用するなど、生徒が学びやすいように工夫されている。</li> <li>○ カラーユニバーサルデザインを取り入れたり、資料エリアの背後に色を付けて本文と資料の見分けがつけやすくしたりするなどの工夫が見られる。</li> <li>○ 堅固な製本で再生紙と植物油インキを使用しており、環境へ配慮している。</li> </ul>						

種 目	社会 (歴史的分野)	発行者の 番号・略称	4 6  帝国	教科書の 記号・番号	歴史 0 4 6 - 7 2	書 名	社会科 中学生の歴史 日本の歩みと世界の動き
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 当時の社会に見られた課題に対する様々な立場や考えを取り上げ、多面的・多角的に課題を追究し、各時代の特色を捉えることができるよう配慮されている。</li> <li>○ 基礎的・基本的な技能を習得させるため、「資料活用」「対話」などが各所に設けられており、多面的・多角的な分析の力が養えるよう工夫されている。</li> <li>○ 各節の導入に絵から時代の特色をつかむ「タイムトラベル」が全12テーマ設けられており、学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 小学校で学習した内容、地理で学習する内容、公民で学習する内容を示すマークがあり、学習内容の振り返りや発展を図ることができるようになっている。</li> <li>○ 取り上げられている内容や資料は適切であり、資料等の出所や出典も明確である。</li> </ul>						
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 我が国の歴史について系統的に配列されており、各時代を比較できるほか、疑問点を見つけるなど、歴史の大きな流れを把握できるように内容が配列されている。</li> <li>○ 各章、各節、本時と三つの問いがあり、それぞれ歴史的分野の目標と内容を踏まえており、各時代の特色をつかみやすいよう構成されている。</li> <li>○ 歴史的な見方・考え方を働かせるうえで必要な技能を身に付ける「技能をみがく」が全14テーマ設定されており、基礎的・基本的な技能の定着への配慮がなされている。また、学んだことを具体例を通してさらに深める「歴史を探ろう」を全11テーマ設定し、発展的な学習にも対応している。</li> <li>○ 見開き2ページで1単位時間を原則とし、内容・分量ともに適切である。各校の年間指導計画に広く対応できるよう工夫されている。</li> <li>○ 地域の姿を描いた「地域史」が全16テーマ設けられており、地域について興味・関心を高めながら、地域の実態に合わせて広く活用できるよう工夫されている。</li> </ul>						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 章・節・各見開きページそれぞれの冒頭に、問いを設け、生徒自身が学習内容の関連を図りながら見通しを持って学習できるよう配慮されている。</li> <li>○ 具体的なテーマを設定して意見を交換する「アクティブ歴史」が全5テーマ設定されており、主体的・対話的で深い学びを実践するための工夫がされている。</li> <li>○ 見開きページの末尾に「確認しよう」「説明しよう」の欄を設け、生徒自身で振り返りが行えるよう工夫されている。</li> <li>○ 未来の社会をつくる参考になる取り組みを紹介する「未来に向けて」が全63テーマ設けられており、他教科や総合的な学習の時間との関連を図る工夫がされている。</li> <li>○ 挿絵、図表、写真が豊富に配置されている。各節の冒頭に二次元コードがあり、様々なデジタル教材が活用できるよう工夫されている。</li> </ul>						
4 表現と 体裁等 に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文章が平易で、人物や地名等には振り仮名が付けられており、全学年の生徒に対応した表記や表現がなされている。</li> <li>○ イラストや図版が多様で特設ページも多く、生徒が親しみを持って学習に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>○ ユニバーサルデザインフォントが使用され、文字は見やすく大きさも適切である。また、色覚特性に配慮した色遣いをしている。</li> <li>○ 見開きページのグラフ、地図等において、識別しやすい色や模様が使用されている。</li> <li>○ 再生紙を使用し、ライスインキで印刷されるなど、環境への配慮が見られる。</li> </ul>						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	8 1  山 川	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	歴 史 0 8 1 - 7 2	書  名	中 学 歴 史 日 本 と 世 界 改 訂 版
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多様な発問により、時期や理由、経緯や差異などに着目しながら、歴史的な見方・考え方が身に付くよう工夫されている。</li> <li>○ 見開きの最後に提示されている「ステップアップ」では、更なる課題追究に向けた発問が提示され、生徒の主体的な学びを促す内容となっている。</li> <li>○ 「身近な地域を調べよう」では、歴史学習の導入として、学習の進め方を詳しく説明しており、生徒が主体的に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>○ 各テーマの冒頭に、そのテーマを理解するための学習課題を付し、見通しを持って学習に取り組むことができるよう工夫されている。</li> <li>○ 学習内容が習得できるように各時代バランス良く資料が提示されており、出所や出典等も明確である。</li> </ul>						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各章の初めに日本史と世界史に関係する年表と資料を示し、視覚的に流れをつかむことができるよう工夫がなされている。</li> <li>○ 「歴史へのアプローチ」では、グローバルな視点で見たテーマやポイントを絞ったテーマ等、歴史的事象を多面的・多角的に考察するよう工夫されている。</li> <li>○ 各章の「まとめ」では、歴史的事象の背景に着目することや、事象同士を比較するなどの発問があり、各時代の流れや特色をつかめるよう工夫されている。</li> <li>○ 基本的に一つのテーマを見開き2ページとし、各章の配分も適切である。「歴史を考えよう」等が設けられ、各学校の年間指導計画に広く対応できるよう配慮されている。</li> <li>○ 「地域からのアプローチ」では、各地域の歴史の展開や文化財保護の取組等を理解することで、歴史を学ぶ現代的な意味を考えることができるよう工夫されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各テーマが学習課題、本文、「ステップアップ」、という流れで統一されており、基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得を目指す構造となっている。</li> <li>○ 「歴史を考えよう」では、生徒の興味・関心を高める資料を基に思考力を高める問いが付され、主体的・対話的で深い学びを実践する工夫がなされている。</li> <li>○ 生徒にとって意味の分かりにくい用語に関しては、同じページに「用語解説」が付いており、生徒の理解を助ける配慮がなされている。</li> <li>○ 高等学校の教科書や図録に出てくるものは中学生が理解できるよう現代語訳を記載するなど、高等学校の歴史学習につながるよう配慮されている。</li> <li>○ 学習内容を理解するための図表や写真が適切に配置されている。インターネットを活用して学びを広げることができるように二次元コードが適切に配置されている。</li> </ul>						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文章は常体である。社会や経済の仕組み等、生徒のつまずきが予想される学習内容を図式化して視覚的につかませる工夫がなされている。</li> <li>○ 各世紀の世界の様子を地図とイラストを用いて紹介しており、日本の歴史と世界の歴史を関連付けて考えることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 各テーマの基本色を日本の歴史と世界の歴史で分け、学習内容が日本の内容か世界の内容かが分かるように工夫されている。</li> <li>○ 図版が大きく、バランス良く配置されている。生徒に考えてほしいことに発問を提示し、どこに注目すべきかの示唆を与える工夫がなされている。</li> <li>○ AB判で見やすい体裁で、再生紙と植物油インキを使用しており、環境に配慮がなされている。</li> </ul>						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発行者の 番号・略称	1 1 6	教科書の 記号・番号	歴 史 1 1 6 - 7 2	書 名	中学社会 歴史的分野
			日 文				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歴史的事象に関する関心を高め、資料の読み取りや意見交換などで多面的・多角的に課題を考えることができ、対話的な学びを促す活動の場面が設定されている。</li> <li>○ 時間軸と空間軸から時代を捉える「学習のはじめに」や「まとめとふり返し」などが設定され、歴史的な見方・考え方を働かせ、思考力・判断力・表現力等を高められるように配慮されている。</li> <li>○ 小学校社会科の学習の振り返りや、地理的分野、公民的分野との分野間の連携などに配慮されている。</li> <li>○ 生徒が興味・関心を持って主体的に取り組むことができる課題を設定し、学習に入りやすくなるように主体的な学びを促す課題設定が工夫されている。</li> <li>○ 学習課題の解決に向けて各時代バランス良く資料が提示されており、出所や出典等も明確である。</li> </ul>						
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 導入の単元の第1編、各時代の特色を学ぶ第2編から6編、未来を構想する学習の順番で構成され、歴史の大きな流れを理解し、未来を考えることで現代の社会生活を考察する公民的分野との関連にも配慮している。</li> <li>○ 学習課題の設定の「導入部」、学習を進める「展開部」、学習をまとめる「終結部」の順に構造化されており、生徒が学習の流れを捉えやすくする工夫がされている。また、単元を貫く課題が設定されており、学習の振り返り場面で深い学びにつながる工夫がなされている。</li> <li>○ 歴史的分野の目標を踏まえて、学習課題を明確にし、導入からまとめまでの流れは各編で共通に構成されており、通史の理解に配慮している。</li> <li>○ 学習課題の理解を深めるため、見方・考え方を働かせる問いを示すなど、各校の年間指導計画に広く対応できる工夫がなされている。</li> <li>○ 単元ごとに史跡・文化財・人物を紹介しており、生徒が歴史を身近に感じながら地域の歴史を調べる手順を学び、問題解決を図る態度を育てるよう配慮されている。</li> </ul>						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小單元ごとに学習課題が設定され、課題解決のために必要な歴史の見方・考え方の観点が明示されている。また、「確認」「表現」を設け、基礎的・基本的な知識の確実な定着と習得した知識や技能を活用して文章化・言語化できるように工夫されている。</li> <li>○ 「チャレンジ歴史」等を設け、歴史について自分で考えたり、対話したりして、歴史を学ぶ面白さを体験し、主体的・対話的で深い学びを実現できるよう工夫されている。</li> <li>○ 歴史の学習の最後に「歴史との対話を未来に活かす」が設けられ、現代的な諸課題の歴史的な背景や先人の取り組みに学ぶことで歴史的事象に興味・関心を持ち、主体的に学習に取り組む態度を涵養しようという工夫がなされている。</li> <li>○ 小單元内に小学校社会科の既習事項や、地理的分野、公民的分野の関連事項が明示されている。</li> <li>○ 第2編から第6編までのすべての小単元の導入にデジタル教材が準備されており、ICT機器を利用しながら学びを深めることができるようになっている。</li> </ul>						
4 表現と 体裁等 に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文章は敬体を用い、発達段階を考慮した分かりやすい文章表現となっている。また、語句の説明や解説などが適宜記載されている。</li> <li>○ イラストや図版は鮮明で大きく、生徒の興味・関心を高める配慮がなされている。</li> <li>○ 活字は比較的大きめで、重要語句にはすべて振り仮名を付け、書体もユニバーサルデザインフォントを採用し、小さな文字でも読みやすくなる配慮がされている。</li> <li>○ 各単元で単元カラーを設定し、色遣いを統一している。また本文と図版を関連させるように工夫されている。</li> <li>○ 印刷には植物油インキや再生紙をするなど、環境に配慮している。製本には堅ろうなあじろ綴じが採用されており、ワイド版で見やすい体裁である。</li> </ul>						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 2 5	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	歴 史 2 2 5 - 7 2	書 名	新 しい 歴 史 教 科 書
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多様な資料から歴史的事象に対する関心を高め、多面的・多角的に考察する力を養うように配慮されている。</li> <li>○ 「時代の特徴を考える」ページでは、「用語のまとめ」「時代の比較」「人物の比較」「ひとこと作文」等、言語活動に関わる作業的な学習を取り入れる工夫がされている。</li> <li>○ 歴史上の人物だけでなく、各時代の人々の生活を資料の解説を通して紹介することで、我が国の歴史に対する理解を深めることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 内容が精選されつつも、より史実に忠実な語句を用いており、興味・関心を持ちながら発展的な学習にも対応できるよう工夫されている。</li> <li>○ 取り上げられている資料等の出所や出典も明確である。また、各時代の資料がバランス良く提示されている。</li> </ul>						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 我が国の歴史について系統的に配列されており、歴史の大きな流れが捉えやすくなるように配慮されている。</li> <li>○ 各章、各節の内容のまとまりは、歴史的分野の目標と内容を踏まえており、各時代の特色をつかみやすいように構成されている。</li> <li>○ 各単元の導入に小学校の復習やその時代を代表する資料を示し、学習内容の把握と定着への配慮がされている。</li> <li>○ 基礎的・基本的な知識の定着を図ることができる内容や分量である。多くの特設ページが設けられ、各校の年間指導計画に広く対応できるように配慮されている。</li> <li>○ 日本の文化遺産や文化財資料が多く紹介されており、地域の実態に合わせて広く活用できるよう工夫されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開きページや單元ごとに課題が設定されており、生徒が身に付けるべき資質・能力を育成するための工夫が見られる。</li> <li>○ 古代の日本の学習において、古事記や日本書紀にまとめられた神話や伝承を取り上げるなど、各時代の人々の価値観を捉えることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 各章末の「調べ学習」のページには、調べる手順等の調べ学習の進め方が明示されており、生徒が主体的に取り組めるよう配慮されている。</li> <li>○ 日本や世界の文化遺産をはじめ、日本の文化財資料などが写真で紹介されており、生徒の興味・関心に応じて学習が行えるよう配慮されている。</li> <li>○ 前の單元におけるまとめのページと、次の單元における小学校の既習事項を一続きの年表形式で示すことで、歴史の流れを大観させるようにしている。</li> </ul>						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「歴史の言葉」において語句の説明や解説が丁寧に行われている。また、人物や地名等に振り仮名が付けられており、全学年の生徒に対応した表記や表現となっている。</li> <li>○ 「コラム」等の特設ページは、人物やできごとに焦点を当てるとともに、多面的・多角的な記述も多く、生徒が魅力を感じながら学習に取り組めるよう配慮されている。</li> <li>○ 文字の大きさは適切で、重要語句や重要人物を太字のゴシック体で表記するなど、読みやすい工夫がされている。</li> <li>○ 図版は大きく、通し番号があり、情報量も適切で生徒が読み取りしやすいように工夫されている。また、一つ一つに丁寧な解説が付いており親しみやすい。</li> <li>○ 製本は体裁がよく堅ろうである。</li> </ul>						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発行者の 番号・略称	2 2 7  育鵬社	教科書の 記号・番号	歴 史 2 2 7 - 7 2	書  名	新しい日本の歴史
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歴史的事象に対する関心を高め、資料等を活用して多面的・多角的に考察する力を養うよう配慮されている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びにつながる多くの活動コーナーが豊富に設定されており、より広く、より深く学ぶことができるよう構成されている。</li> <li>○ 単元の導入には、親しみやすいイラストを用いた「歴史絵巻」を置き、生徒の歴史に対する興味・関心を高めるよう工夫されている。</li> <li>○ 教材・資料は厳選されており、様々な歴史的事象を多面的・多角的に考察することができるよう工夫されている。</li> <li>○ 取り上げられている内容や資料は適切であり、資料等の出所や出典も明確である。また、各時代の資料がバランス良く提示されている。</li> </ul>						
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 我が国の歴史について系統的に配列されており、我が国の歴史の大きな流れが捉えやすくなるよう配慮されている。</li> <li>○ 各章、各節のねらいと内容のまとまりは、歴史的分野の目標と内容を踏まえており、各時代の特色をつかみやすいように構成されている。</li> <li>○ 各単元の導入には問題提起となる発問が設けられており、基礎的・基本的な内容の定着に向けて、学習内容を把握したうえで取り組めるように配慮されている。また、多様な特設ページ等により発展的な学習にも対応できるよう配慮されている。</li> <li>○ 基礎的・基本的な知識の定着を図ることができる内容や分量である。「歴史ズームイン」等が設けられ、各校の年間指導計画に広く対応できるように配慮されている。</li> <li>○ 日本や世界の文化遺産や文化財資料が多く紹介されており、地域についての興味・関心を高めながら、各校の実態に合わせて広く活用できるよう工夫されている。</li> </ul>						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 聞き取り調査や諸資料を活用して多面的・多角的に考察する方法を示し、作業的・体験的な学習に主体的に取り組めるよう配慮されている。</li> <li>○ 各見開きページの「確認」「探究」、各単元末の「学習のまとめ」では、多様な言語活動に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>○ 「鳥の目」「虫の目」「外の目」等の特設ページが設けられており、多面的・多角的な視点から各時代に迫ることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 各時代を代表する日本や世界の文化遺産等が写真で紹介されており、生徒の興味・関心に応じて学習が行えるよう配慮されている。</li> <li>○ 各時代の流れを大観できるほか、各時代を象徴する資料から人々の生活を考えることができるなど工夫されている。各章の導入に二次元コードを付し、生徒が主体的に学習内容に関連する動画等を閲覧し、自学自習できるよう工夫されている。</li> </ul>						
4 表現と 体裁等 に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文章表現も平易であり、語句の説明や解説が必要に応じて記載されている。また、人物や地名等に振り仮名が付けられており、全学年の生徒に対応した表記や表現となっている。</li> <li>○ イラストや図版が多様で特設ページも多く、生徒が親しみや魅力を感じながら学習に取り組めるよう配慮されている。</li> <li>○ 見やすく読み間違いにくいユニバーサルデザインフォントを採用し、重要語句や重要人物を太字のゴシック体で表記するなど、読みやすい工夫がなされている。</li> <li>○ 図版は大きく、色彩や形等にも配慮がなされている。また、見開きページ上部の絵や写真等の資料が掲載されている部分を本文と色分けすることで、読みやすい体裁となっている。</li> <li>○ 用紙に高品質の再生紙を使用したり、植物油インキで印刷したりするなど、環境に配慮がされている。また、製本は体裁がよく堅ろうである。</li> </ul>						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 2 9	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	歴 史  2 2 9 - 7 2	書  名	と も に 学 ぶ 人 間 の 歴 史
		学 び 舎					
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料から調べ、まとめる技能を身に付け、多面的・多角的な考察を深める表現活動ができるよう配慮されている。</li> <li>○ 各章の「ふりかえり」には、身に付けた基礎的・基本的な知識を用いて、歴史的事象を多面的・多角的に考察する力を育成するための課題を設定するなど工夫されている。</li> <li>○ 「歴史を体験する」が全7テーマあり、「火おこし」や「糸づくり」などの体験や討論などが設定されており、学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 学習内容の構造化と焦点化を重視して各テーマが設定されており、それぞれの時代を生きる人々の姿を捉えながら学習内容の充実が図られるよう工夫されている。</li> <li>○ 取り上げられている内容や資料は適切であり、資料等の出所や出典も明確である。</li> </ul>						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歴史の大まかな流れが理解できるように本編を113のテーマに配列している。各章において、政治・経済・産業・文化・対外関係などについて、広く焦点を当てた内容になっている。</li> <li>○ 各部と本時の学習課題が設定されており、それぞれの時代の特色をつかみやすい構成になっている。</li> <li>○ 年表が12ページにわたって掲載されており、学習内容を整理し、深めることができるよう配慮されている。</li> <li>○ 見開き2ページで1単位時間を原則とし、内容・分量ともに適切である。また、各校の年間指導計画にも広く適合する内容となっている。</li> <li>○ 「地域の博物館で調べる」「地域の歴史を歩く」など、身近な地域の学習ができるよう配慮されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文を読み、資料を読み解いていくことにより、生徒自身が気づき、主体的に学習できるよう配慮されている。</li> <li>○ 各章の振り返りとして、意見交換、説明、発表、体験等の活動を取り入れ、主体的・対話的な学びの実践につなげる工夫がなされている。</li> <li>○ 時代区分の欄に「北海道など」「本州など」「沖縄など」の欄を設けることで、各地のできごとがより分かりやすく学べるよう配慮されている。</li> <li>○ 体験学習やインターネットでの検索、博物館学習、インタビューや調査の仕方、話し合いの進め方などが紹介されており、他教科や総合的な学習の時間に生かせる内容になっている。</li> <li>○ 見開きページの末尾に資料などについて詳しく説明したコラムが掲載されており、歴史的事象や日常の事物の多面的・多角的な理解を深める工夫がなされている。</li> </ul>						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 平易な文章で書かれ、生徒が自ら読み進めることができ、気づきや疑問が生じるような表現が工夫されている。</li> <li>○ 歴史の舞台に焦点を当てて、詳しく書かれている「フォーカスα」の欄があり、興味・関心を引き出し、主体的な学習ができるよう配慮されている。</li> <li>○ 色遣いなど、ユニバーサルデザインに配慮しており、生徒が学習に取り組みやすい工夫がされている。</li> <li>○ 判型をA4判とすることで、豊富な資料を盛り込むことができている。</li> <li>○ 再生紙、植物インキが使用されている。丈夫で開きのよいPUR製本になっている。</li> </ul>						

種 目	社 会 (歴史的分野)	発行者の 番号・略称	2 3 6	教科書の 記号・番号	歴 史 2 3 6 - 7 3	書 名	国史教科書 第7版
			令 書				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 我が国の歴史的事象に対する関心を高めるために、様々な資料から、我が国の歴史に対する愛情や国民としての自覚を持つことができるよう配慮されている。</li> <li>○ 多種多様な資料を用い、多面的・多角的な考察を促し、思考力・判断力・表現力等を養うことができる工夫がされている。</li> <li>○ 我が国の成り立ちから始まる歴史の在り方に重点を置き、興味や関心を持ち、学習意欲を高める工夫がされている。</li> <li>○ それぞれの時代のまとめで、既習事項を踏まえ、政治・文化・外交・産業に触れ、課題に取り組むことができるよう工夫されている。</li> <li>○ 単元内にある資料等の出所や出典が明確で、また巻末資料や日本美術図鑑が時代に沿って提示されており、充実している。</li> </ul>						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 我が国の歴史を文献資料に基づいて、系統的に学ぶことができ、興味や関心を持って取り組むことができるよう工夫されている。</li> <li>○ 学習指導要領に準じ、各章のねらいと内容のまとまりが構成されている。また補助資料等でその特色が把握しやすいよう工夫されている。</li> <li>○ 基礎的・基本的な内容を踏まえ、発展的な学習を促すために、「時代ごとの特色をとらえよう」「新聞にまとめてみよう」等の発展的な課題が設定されている。</li> <li>○ 内容及び資料が豊富である。その特長を生かしながら、発展的な課題を設定する等、各学校の実態に合わせ、年間計画が作成できるよう工夫されている。</li> <li>○ 内容及び資料が広く細やかに記載されており、生徒のこれまでの既習内容、地域の実態に即し、幅広く学ぶことができるよう工夫されている。</li> </ul>						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元内の小項目において、導入の「課題」、まとめの「考えよう」という構成になっており、自ら学ぶことができるよう工夫されている。</li> <li>○ 単元内にある補助資料が興味や関心を高めるような内容になっており、生徒が主体的で深い学びができるよう配慮されている。</li> <li>○ 学んだことを生かし、自ら進んで学ぶことができるよう、各年代のまとめやレポート等の作成課題が設定されている。</li> <li>○ まとめ方、ディベート方法、熟議の仕方等が提示されており、他教科や総合的な学習の時間等にも関連付けられるよう配慮されている。</li> <li>○ 「序 国史を学ぶにあたって」「歴史学習の幅を広げよう」で学び方が提示されている。また巻末資料や日本美術図鑑で、時代を象徴する資料が適切に配置されている。</li> </ul>						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文は全体を通して縦書きの表記で、敬体で表現されている。資料も現代語訳で記載されており、平易な文章である。</li> <li>○ 小単元は「イ」「ロ」「ハ」「ニ」の順で記載されている。また各年代の巻頭ページにあるイラストがその時代の特徴を表しており、親しみを持たせる工夫がされている。</li> <li>○ 活字の大きさや字体は適切であり、強調語句は太字ゴシックで、振り仮名がつけられている。</li> <li>○ 図表等は本文に沿って適切にレイアウトされている。また、図表の一部の漢字表記部分にも振り仮名がつけられている。</li> <li>○ 大きさはA5判で、製本は堅ろうである。</li> </ul>						

種 目	社 会 (公民的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2  東 書	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	公 民  0 0 2 - 9 2	書  名	新編 新しい社会 公民
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会的事象への関心を高め、その仕組みや課題を追究する学習活動を行い、公民としての資質・能力の基礎を養うことができるよう工夫されている。</li> <li>○ 「防災・安全」「人権・平和」「伝統・文化」等の五つのテーマを中心に、現代社会の諸課題に主体的に取り組む態度を育成する内容となっている。</li> <li>○ 現実に沿った課題の設定や中学生が社会参画している事例を取り上げており、生徒が学習意欲を高め、学習課題の解決に主体的に取り組むよう工夫されている。</li> <li>○ 学習内容を精選し、知識・技能を活用して解決する学習課題が設定され、章のまとめでは「確かめ」「振り返り」「深める」と段階的に学習が進むよう工夫されている。</li> <li>○ 写真や統計資料の出所、出典が明示されている。人権、伝統文化、環境、防災等、様々な課題を取り上げ偏りが無いよう配慮がなされている。</li> </ul>						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公民的分野の四つの大項目を順番に配列するとともに、五つの章が「導入部」「展開部」「終結部」で構成され、学習の流れや成果を意識できるよう工夫されている。</li> <li>○ 各章の導入で「探究課題」が設定されることでねらいが明確化され、導入とまとめに共通題材を使い、章の学習内容の確認や振り返りができるよう工夫されている。</li> <li>○ 「チェック&amp;トライ」や「ワードチェック」を設け、基礎・基本の定着を図っている。また多様なコラムを配置し、発展的な学習への配慮がなされている。</li> <li>○ 単位時間見開き2ページを基本とし、標準授業時数100単位時間のうち4単位時間の予備時間が設けられ、各校の年間計画に柔軟に対応できるよう配慮されている。</li> <li>○ 日本各地の身近な社会的事象の写真や主権者意識を高めるページを設けるなど、生徒の日常生活や公民としての生活を意識できるよう工夫されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 毎時間及び単元の課題を工夫し、基本的な内容を繰り返し学習して習得できるよう配慮するとともに、思考力・判断力・表現力等を高められるように工夫されている。</li> <li>○ 各章の導入として身近な問題を取り上げ、生徒の経験や興味・関心を大切にする配慮がされている。また、「みんなでチャレンジ」では、対話的な活動が効果的に行えるよう工夫されている。</li> <li>○ 各章及び単元において、課題を「つかむ」「追究する」「解決する」という構成がなされており、生徒が自己の学びを調整しながら学習できるよう配慮がなされている。</li> <li>○ 他分野や他教科とつながりがある内容には「関連マーク」が付けられており、学習を多面的に深められるよう工夫されている。</li> <li>○ 冒頭に学習の手引きが記載され、図表や写真等も適切に配置されている。また、二次元コードやURLから関連するデジタル教材を利用することができる。</li> </ul>						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文は平易な記述であり、図表や写真等も豊富に掲載されているので視覚的にも理解しやすい。また、資料や用語等の補足説明や解説も適切である。</li> <li>○ 写真やイラスト、漫画等を掲載しているほか、人物キャラクターが吹き出しを使って話しかける表現を取り入れるなど、親しみを持てるよう工夫されている。</li> <li>○ ユニバーサルデザインフォントが用いられ、字形を判別しやすいよう配慮がされている。必要な箇所への振り仮名や参照ページの文字濃度を抑える配慮がされている。</li> <li>○ カラーユニバーサルデザインを用い、図表等は誰にでも見やすいように配慮され、資料部分も背景が色付けされており、本文と区別がしやすいよう工夫されている。</li> <li>○ 強力な接着剤を用いた製本は堅ろうである。また、再生紙・植物油インキを使用し、グリーンプリンティング認定工場で印刷しており、環境への配慮がなされている。</li> </ul>						

種 目	社 会 (公民的分野)	発行者の 番号・略称	1 7	教科書の 記号・番号	公 民 0 1 7 - 9 2	書 名	中学社会 公民 ともに生きる
			教 出				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 持続可能な社会を創造する市民の育成に向け、社会への関心を高め、「見方・考え方」を働かせて社会的事象を読み解き、市民的教養を養う内容となっている。</li> <li>○ 「文化の継承」や「人権」、「まちづくり」、「SDG s」などの特設ページを設け、社会的事象への関心を高め、具体的に捉えることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 小学校や地理・歴史的分野との関連を教科書の冒頭に示し、終章に「私の提案」を設けるなど、教科のまとめに向け意欲的に取り組めるよう内容配列がされている。</li> <li>○ 内容が精選されており、「TRY」コーナーで考察の深化を促す工夫や解決策を構想する課題を設定し、主体的に社会に関わる態度を育成する内容となっている。</li> <li>○ 資料の出所、出展が明示されており、国際問題やA I、メディアリテラシーなど、様々な分野の内容が記載されている。</li> </ul>						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領の内容や区分に準拠して配列しており、「政治」「経済」の領域は二つの章に分け内容のまとまりを捉えやすくしている。</li> <li>○ 各章導入で章全体の学習の見通しを持つ学習課題が示され、章末では学習の振り返りをしながら、その学習課題に应答する活動でまとめられるよう工夫されている。</li> <li>○ 1 単位時間の内容を「確認」「表現」する課題を示して基本的内容の定着や、多くの特設ページとコラムを設けて発展的学習を進められるよう配慮がなされている。</li> <li>○ 全体が七つの章に適切な分量で区分されており、二学期制への対応もできるなど、各校の年間指導計画に広く対応できるものとなっている。</li> <li>○ 生徒の日常生活や経験に関わる内容や画像が取り上げられ、学習内容と現在や将来の生活との関わりが想起できるよう工夫されている。</li> </ul>						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「確認」や「公民の技」において知識・技能を着実に習得できる工夫や、資料から考察する「THINK」と「Q」を設けるなど発展的な学習への配慮がされている。</li> <li>○ 様々な資料や課題の提示等、興味・関心を高める工夫がされ、特設ページにグループでの学習活動が設けられ、主体的・対話的で深い学びの実践への工夫がされている。</li> <li>○ 基本の学習課題や話し合って考えを表現する課題の設定、「思考ツール」を用いて表現する活動等、多様な学習活動ができるよう配慮がなされている。</li> <li>○ 「関連」コーナーに、各時間の学習内容と小学校、他分野、他教科の学習内容が紹介され、それぞれとの接続・連携が意識できるよう配慮がされている。</li> <li>○ 写真等の各種資料は明瞭で適切に配置されている。掲載された二次元コードから学習に参考となる動画等が活用できる外部サイトにリンクできるものになっている。</li> </ul>						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 固有名詞や社会科特有の用語や新出の語句には振り仮名をつけるなどの工夫がされ、本文の文章も平易で理解しやすいものとなっている。</li> <li>○ 中学生のキャラクターを登場させる工夫や、写真・イラスト・地図・グラフ・図解等の資料を豊富に扱うなど、生徒が親しみやすい教材となるよう配慮がされている。</li> <li>○ カラーユニバーサルデザインに基づく紙面づくりで多くの生徒が見やすいよう工夫がされている。また、白抜き文字や色文字も十分な大きさを確保している。</li> <li>○ 主題となる資料と補助となる資料の大きさやバランスが適切で、関連する資料を併記するなどレイアウトが工夫されている。</li> <li>○ 製本は堅ろうで、複数年の使用に耐えるものである。また、再生紙と植物油インキが使用され、環境への負荷を軽減されるよう配慮がなされている。</li> </ul>						

種 目	社 会 (公民的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	4 6  帝 国	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	公 民  0 4 6 - 9 2	書  名	社会科 中学生の公民 よりよい社会を目指して
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主体的・対話的な学びを通して、生徒が持続可能な社会の形成者としての自覚を持ち、公民としての資質・能力の基礎を育成できるよう配慮されている。</li> <li>○ 巻頭で公民的分野を学ぶ意義について触れているほか、文面についても社会参画の意識を育むように工夫されており、志を持ち主体的に未来を創造する公民を育成するよう配慮されている。</li> <li>○ 章の冒頭で、イラストを読み解く活動を通して、単元の学習内容と生活経験・既習事項を結び付けることで学習内容への関心を持たせるよう工夫されている。</li> <li>○ 「技能をみがく」コーナーが設けられており、ロールプレイングやディベート、ディスカッション等を通して、主体的・対話的で深い学びができるよう工夫されている。</li> <li>○ 日本の領土問題やロシアのウクライナ侵攻については、国際法に則って考察されており、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養えるよう配慮されている。</li> </ul>						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「現代社会」「政治」「経済」「国際」の四つの部で構成されている。学習の見通し、章・節・見開きの三つの段階でそれぞれに問いと振り返りを設けることで、学習の効果が上がるよう工夫されている。</li> <li>○ 各章の「学習の前に」で見通しを持たせ、毎時の学習課題については「確認しよう」「説明しよう」で思考力・判断力・表現力等の定着が図られるよう工夫されている。</li> <li>○ 各章の「学習を振り返ろう」では、節と章の振り返りを設け、知識・技能、思考力・判断力・表現力等の定着が図られ、「探究学習への準備」コーナーを設定し、主体的な学びへとつながるよう工夫されている。</li> <li>○ 単位時間が見開き2ページ構成となっており、内容・分量が適切である。総授業時数を90時間にすることで、発展的な学習を年間指導計画に組み込めるよう配慮されている。</li> <li>○ 学びと実社会をつなぐ導入資料が適切である。身近な事例を取り上げて課題に取り組みせることで、社会参画の意識が育まれ、自分ごととして学習に取り組むことができるよう工夫されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 章・節・本文ページの冒頭に学習する内容を問いの形式で示すことで、生徒自身が学習に見通しを持ち、主体的に学習に取り組むよう配慮されている。</li> <li>○ 「アクティブ公民」で、ディスカッションやロールプレイング等の手法を用いることで、主体的・対話的で深い学びや技能の定着等を図るよう工夫されている。</li> <li>○ ICT機器を活用して、個別最適な学びを支援する工夫が見られ、生徒が自己の学びを調整しながら学習ができるよう配慮されている。</li> <li>○ 「未来に向けて」コーナーを設け、「環境・エネルギー」「防災」「人権・多文化」等、理科や道徳、総合的な学習の時間等と関連付けられている。</li> <li>○ 二次元コードを活用して動画や参考資料、ウェブページを参照することができるなど、ICT機器を活用しての授業を想定した工夫がなされている。</li> </ul>						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文や資料とともに平易な文章が用いられている。男女のイラストで役割を限定しないなど、ジェンダーの固定概念を持たないよう配慮されている。</li> <li>○ イラストや具体事例、生徒の調べ学習を支援する教材が多数掲載されており、実社会への興味・関心を高める工夫や個別最適な学びを支援する配慮がなされている。</li> <li>○ 多くの漢字に振り仮名が付けられており、カラーユニバーサルデザインやユニバーサルフォントを採用することで、全ての生徒に見やすくなるよう工夫されている。</li> <li>○ 大判のイラストや写真が用いられ、生徒の関心を高める工夫がなされている。新旧の比較や実社会の事情に迫る資料を掲載するなど、資料選択や配置が工夫されている。</li> <li>○ 軽くて耐久性に優れた再生紙を利用し、ライスインキで印刷するなど、環境保全と地産地消への配慮がなされている。造りも堅ろうである。</li> </ul>						

種 目	社会 (公民的分野)	発行者の 番号・略称	116	教科書の 記号・番号	公民 116-92	書 名	中学社会 公民的分野
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現代社会に見られる諸課題の解決を視野に、主体的に社会に関わろうとする態度が育成できるよう工夫されている。</li> <li>○ 18歳成人や18歳選挙権に関わる内容を取り扱い、新しい時代を担う主権者としての意欲や態度を培うことができるよう工夫されている。</li> <li>○ 地理的分野や歴史的分野との連携、高等学校「公共」との接続、キャリア教育等との関連が図られ、社会を生き抜く力が身に付くよう配慮されている。</li> <li>○ 少子高齢化、情報化、グローバル化等の課題について、身近な資料を用いて考察することで自分ごととして捉え、主体的に解決する態度が培えるよう工夫されている。</li> <li>○ 資料の出所、出典が明示され、国際関係、情報、環境・エネルギー、防災等に関する内容が適切である。</li> </ul>						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「私たちと現代社会」「私たちの生活と政治」「私たちの生活と経済」「私たちと国際社会」「私たちの課題」の順番で配列されており、社会の担い手としての自覚を意識しながら系統的・発展的な学びとなるような工夫がなされている。</li> <li>○ 各編の導入として、「学習のはじめに」コーナーを設け、章・節の問いを立て学習の見通しを持てるように工夫されている。学習内容と身近な生活を結び付けた漫画が採用されており、関心と意欲を引き出すよう配慮されている。</li> <li>○ 題材ごと「確認」「表現」コーナーが設けられ、基礎・基本の定着をねらいとした学習活動や問いに対し、習得した知識や技能を用いて文章化・言語化できるよう工夫されている。「チャレンジ公民」コーナーを設け、各編の学習内容を活用し、現代社会の課題について発展的に考察・構想できるよう配慮されている。</li> <li>○ 100時間の授業時数で学習が完結できるようになっており、各校の年間指導計画等に応じて発展的に進められるよう配慮されている。</li> <li>○ 東日本大震災を、持続可能な社会と関連付けて取り上げ、復興に向けて考えを深め、防災・減災意識が高まるよう工夫されている。</li> </ul>						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 導入から振り返りまでの授業の流れが構造化されており、知識・技能の定着と思考力・判断力・表現力等の育成、主体的に学習に取り組む態度の形成を進められるよう配慮されている。</li> <li>○ 「アクティビティ」コーナーが設けられており、習得した知識を使い、見方・考え方を働かせながら、主体的・対話的で深い学びとなるよう工夫されている。</li> <li>○ 単元末の「まとめとふり返し」コーナーでは、単元全体に関わる三つの観点に関する問いを設けることで自己の学びを調整しながら学習できるよう工夫されている。</li> <li>○ 連携コーナーで地理や歴史的分野、小学校での学習内容との関連を示している。また、公正、公平、社会正義等で道徳と関連する教材が多数採用されている。</li> <li>○ 抽象的な社会の仕組みを具体的にイメージできる図版が豊富に掲載されている。また、ウェブページ上の動画や資料等にアクセスできるよう工夫されている。</li> </ul>						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文は平易で分かりやすい表現となっており、小学校6学年以上で学習する漢字の初出箇所と全ての重要語句には振り仮名が付けられ、生徒が学習に円滑に取り組むことができるよう配慮されている。</li> <li>○ 「明日に向かって」のコーナーを設定し、紙面に点字を用いるほか、裁判員裁判シミュレーションをするなど、社会生活への関心と社会参画の意識を高めるよう工夫されている。</li> <li>○ ユニバーサルデザインフォント、カラーユニバーサルデザインを使用しており、全ての生徒が文字や図版類を読み取りやすいよう配慮されている。</li> <li>○ 資料の配置場所や大きさが適切で見やすく、吹き出しによって学習課題に迫るよう工夫されている。</li> <li>○ 製本は堅ろうなあじろ綴じが採用されている。また、植物油インキと再生紙が使用され特別支援教育やカラーユニバーサルデザインの視点で、環境や健康に配慮されている。</li> </ul>						

種 目	社 会 (公民的分野)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 2 5  自 由 社	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	公 民  2 2 5 - 9 2	書  名	新 し い 公 民 教 科 書
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 社会の諸問題を数多く具体的に取上げており、社会的な見方・考え方を働かせながら、公民としての基礎的教養を養うとともに、自ら考えようとする態度が培われるよう工夫されている。</li> <li>○ 1単位時間において「ここがポイント」で基礎的・基本的な学習内容の確認と定着を図り、それをもとに各單元の中に用意された発展的な学習に取り組むことで、思考力・判断力・表現力等の育成を図るよう工夫されている。</li> <li>○ 先人が残した功績を数多く紹介し、学習内容との歴史的なつながりを持たせることで、生徒の興味・関心及び学習意欲を高めるよう工夫されている。</li> <li>○ 学習内容が精選され、基礎的・基本的な内容の理解と定着を図るとともに、「ミニ知識」や「もっと知りたい」では、探究的、発展的な学習に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>○ 資料の出所、出典が明示されており、領土問題や人権問題等の現代社会の諸問題について具体的に取上げ、複数の考え方が併記されている。</li> </ul>						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現代社会の姿や考え方等、生徒の生活との関連が深い内容から学習を始め、その後、政治、経済、国際社会の諸問題と、系統的・発展的に学習が進むように内容が配列されている。</li> <li>○ 各章の冒頭にはねらいが明示されており、各節の内容にはまとまりがある。1単位時間ごと、見出しの下に問いが示されており、学習内容のねらいが明示されている。</li> <li>○ 各章の終末には、「学習のまとめ」と「学習の発展」が設けられ、基礎的・基本的な内容の確実な定着と発展的な学習を行えるよう配慮されている。</li> <li>○ 単元構成は、発展的な学習課題を柔軟に取り入れることができるよう設定されており、各校の実態に応じて年間指導計画を作成することができるよう配慮されている。</li> <li>○ 各章において学習が進む中で設けられている「やってみよう」では、学習内容を生徒の生活と結び付ける問いが示されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎的事項を厳選し、「最重要語句」を各章の終末で示すことで、基礎的・基本的な内容の理解と定着を図っている。また、それらを活用し発展的な学習ができるよう工夫されており、思考力・判断力・表現力等の育成が図られている。</li> <li>○ 「アクティブに深めよう」では、身近な題材についてグループで話し合うことで、主体的・対話的に考えを深められるよう配慮されている。</li> <li>○ 生徒の多様な個性や能力に対応できるように、重要事項の確認、発展的な学習内容の記載、文章記述の課題等、多様で幅広い学習活動ができるよう工夫されている。</li> <li>○ 「エネルギーと資源の未来」では理科、「芸術とは何か」では美術、「日本人の精神」では道徳的態度といったように、教科横断的・総合的な学習ができるよう工夫されている。</li> <li>○ 挿絵や図表及び写真等、精選された資料が適切に配置されている。</li> </ul>						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文は平易な文章で記述されており、重要事項やつまづきやすい事項には補足的な解説が付き、理解しやすくなるよう工夫されている。また、読みにくい漢字には振り仮名を付けることで読みやすくなるよう配慮されている。</li> <li>○ 写真を豊富に掲載しているほか、人物のイラスト付きのコメントが数多く記載されており、生徒にとって親しみやすくなるよう配慮されている。</li> <li>○ 各単元の重要な語句はゴシック体で表現されるのに対し、補足内容はやや小さいサイズで表記されており、理解しやすいうように表現が工夫されている。色彩や印刷は鮮明である。</li> <li>○ 本文の周辺に精選された資料が適切にレイアウトされている。また、それらの資料のサイズは大きめに記載されており、見やすくなるよう配慮されている。</li> <li>○ 製本は、体裁がよく堅ろうである。</li> </ul>						

種 目	社 会 (公民的分野)	発行者の 番号・略称	2 2 7	教科書の 記号・番号	公 民 2 2 7 - 9 2	書 名	新しいみんなの公民
			育鵬社				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 公民としての基礎的教養を培い、社会事象を自分ごととして捉えられる教材や資料をバランスよく配置し、現代の課題を多面的・多角的に考察できるよう工夫されている。</li> <li>○ 選挙権年齢の引き下げへ対応し、主権者教育の内容の充実が図られている。防災・減災と情報通信技術（ICT）を関連付けて東日本大震災を取り扱い、持続可能な社会の実現に向けて具体的な事例を通して考えることができるよう工夫がされている。</li> <li>○ 小学校の内容は各章扉で、地理的・歴史的分野の内容は該当する見開きで紹介し、小・中の系統性と3分野の関連性を高めるなど、公民学習へのスムーズな導入への配慮がなされている。</li> <li>○ 「少子高齢化」「多文化共生」「グローバル化」「情報化」「伝統文化の継承」等の課題について、生徒が生活目線で考え、判断し、深められるような内容構成が工夫されている。</li> <li>○ 写真や統計資料の出所、出典が明示され、領土に関わる問題や伝統文化、人権問題などにも偏りが無いよう配慮されている。</li> </ul>						
2 組織と配 列に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 系統的、発展的に学習が進むよう配列されている。「つかむ、調べる、まとめる」という問題解決型の学習の流れを明確にし、進め方の方法を明示するなど、主体的・対話的で深い学びを実現できるよう工夫されている。</li> <li>○ 各章の扉に学習内容を象徴する資料やつぶやき（問い）の提示、各章の「入り口」と「これから」を設け、章全体の学習内容の趣旨を捉えさせるよう工夫されている。</li> <li>○ 学習課題に対応させ、学習内容を振り返る「確認」と「探究」コーナーを設け、基礎的・基本的な内容を確認するほか、学習を深めることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 1単位時間が見開きになっており、内容・分量が適切である。豊富なコラムや「深めよう」等の発展的な課題を柔軟に指導計画に導入できるよう工夫されている。</li> <li>○ 各章の初めと終わりには、これから学習する内容が自分たちにどのように関わっているのかを考えるほか、未来構想できるよう工夫されている。</li> </ul>						
3 学習と指 導に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小集団による話し合いやディベート等を取り入れ、発表や議論の仕方を身に付けることができるような内容や、レポートや論述形式でまとめる活動を設けるなど、思考力・判断力・表現力等を高める多様な学習ができるよう配慮されている。</li> <li>○ 自分の人生や社会とのつながりを感じる教材や写真や新聞記事を用いるなど、主体的に向き合える多様な教材を通して、主体的・対話的で深い学びができるよう配慮されている。</li> <li>○ 自分で学んだことを生かしてランキングをするほか、ショップ経営や人生デザインを考える内容等、生徒の個性や能力に応じた配慮がされている。</li> <li>○ 「人権問題」「日本の文化」「対立と合意」等の学習内容を通じて、平等、郷土愛、公正等の道徳的態度を養えるように配慮されている。</li> <li>○ 写真や図表は適切に配置されている。難解な用語を解説する補足を付けるなど、生徒の理解を助けるための配慮がなされている。</li> </ul>						
4 表現と体 裁に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文は平易で分かりやすい表現となっており、重要語句や難解な漢字等には振り仮名が付けられている。巻末には用語解説を設けており、理解を促す配慮がなされている。</li> <li>○ 単元の見出しはシンプルであり、イラストや吹き出しを用いて注目すべきポイントを示すほか、図やグラフ、写真には理解を深めるため解説を付けるなど、生徒が興味・関心を持って学習できるよう工夫されている。</li> <li>○ 重要な語句は太字及び振り仮名にはゴシック体、補足内容等は小さい文字を用いるほか、内容によって背景色を統一するなど表現が工夫されている。</li> <li>○ 図版は、色覚特性を踏まえて判断しやすい色の使用や表示の工夫を行い、生徒が見やすいよう配慮されている。</li> <li>○ 環境への負荷が少ない再生紙と植物油インキが使用されており、正本も体裁がよく堅ろうである。</li> </ul>						

種 目	地 図	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2  東 書	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	地 図  0 0 2 - 7 2	書  名	新編 新しい社会 地図
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地理的分野だけでなく、歴史的分野、公民的分野の3分野の学習に活用できる地図や主題図、統計資料等が学習指導要領に合わせて掲載されている。</li> <li>○ 社会科の指導内容に沿ったテーマ資料やグラフが選定されており、3分野の関連を図りながら多面的・多角的に考察できるよう工夫されている。</li> <li>○ 地図帳の活用方法が4ページにわたって示されており、発達の段階に応じた様々な学習に対応できるよう配慮されている。</li> <li>○ 問題解決的な学習に活用できる主題図やグラフ等が厳選され、各地域バランス良く掲載されている。また、キャラクターが思考・判断・表現力が高まるようにサポートする発問が設けられている。</li> <li>○ 社会科の学習を深められるように、地図や主題図、統計資料がバランス良く掲載されている。また、主題図や統計資料の出所や出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地理的分野の教科書の構成に準じた配列である。また、歴史的分野や公民的分野の学習内容を補完する資料も掲載されており、学習効果が高まる工夫がなされている。</li> <li>○ 各章、各単元、各節のねらいに迫るために、精選された地図、主題図、統計資料が掲載されている。また、活用する方法も示されている。</li> <li>○ 地域の概観の捉えに役立つ、自然・産業・人口などの主題図が共通して掲載されている。また、他地域や経年変化等、比較しやすい資料が掲載されている。</li> <li>○ 内容や分量は適切であり、各州・各地域・各テーマに学びを手助けする資料が掲載され、各学校の年間指導計画に広く対応できるよう配慮されている。</li> <li>○ 自然災害や防災、公害、文化、平和などの諸問題に関わる資料が掲載されている。また、東日本大震災前後の街並みの変化に関する主題図も取り上げられている。</li> </ul>						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 資料活用コーナーで社会の課題にどう取り組むべきかを問う質問を設け、主体的に社会の形成に参画する態度を養えるよう配慮されている。</li> <li>○ 3種類のキャラクターが、主題図や資料等の読み取りを深め、比較、検討、発展的な学びをナビゲートし、生徒が主体的に地図を活用するよう工夫されている。</li> <li>○ 地図キャラクターが、地図の活用方法や学習を深める「ヒントとなる問い」を提示し、主体的に深い学びができるように工夫がされている。また、表紙裏にあるテーマ検索も探しやすい配慮がされ、生徒が活用しやすいよう工夫されている。</li> <li>○ 持続可能な社会の実現に向けた、「資源」、「エネルギー」、「防災」等のテーマを取り上げ、それぞれのテーマと他教科や総合的な学習の時間との関連が図りやすい資料を掲載している。</li> <li>○ 生活や文化を示す写真や様々な言語の会話例等、生徒の興味・関心を高める資料が掲載されている。また、二次元コードから様々な資料が活用できるようになっている。</li> </ul>						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地名等には、読みやすいゴシック体の振り仮名が付けられ、図表の表題を生徒が分かりやすい表現にするなど、図表を活用するに当たり適切な配慮がなされている。</li> <li>○ 生徒の関心の高い身近なテーマ資料や写真の使用、文字の鮮明さに留意し、見やすく印象的な紙面構成となるよう工夫されている。</li> <li>○ ユニバーサルデザインフォントが使われている。色覚特性を考慮し、見分けやすい色や、色以外の情報で見分けやすいユニバーサルデザインを採用している。</li> <li>○ 視覚的効果が高いA4判を用い、不要な陰影や立体感のあるデザインではなく、シンプルで学習に集中できる鮮やかな明るい色を採用し、メリハリあるフラットデザインとなっている。</li> <li>○ 糸がかり綴じで製本し、造本は堅ろうで長時間の使用にも耐えられるものになっている。軽量で環境に配慮した用紙と植物油インキを使用している。</li> </ul>						

種 目	地 図	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	4 6	帝 国	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	地 図 0 4 6 - 7 2	書 名	中 学 校 社 会 科 地 図
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に合わせて、世界は州ごと、日本は地方ごとに地図・資料が構成されている。また、地図に加え、視覚的に捉えやすい鳥瞰図が多用されている。</li> <li>○ 「防災」「環境」「日本との結び付き」のテーマを持たせた特設の主題図が掲載されており、現在及び将来の社会が直面する課題及び持続可能な社会について考えることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 小学校で学習した地図の約束ごとを振り返られるようになっている。また、地図の基本的な見方・使い方など、地図活用の基礎となる部分が、丁寧に説明されている。</li> <li>○ 地図活用の技能が身に付く問い「地図で発見！」において、生徒同士の対話を意識した問いが設けられており、課題に粘り強く向き合えるように工夫されている。</li> <li>○ 地域の特色が偏らずに理解できるよう、多角的な視点で地図・資料が選定されている。</li> </ul>							
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地図の活用を通して世界と日本の地域的特色が捉えられるように配列され、3分野での活用だけでなく、多様な場面で活用できるように配慮されている。</li> <li>○ 学習活動を通して地理的な見方・考え方を働かせ、地図活用の技能が身に付けられるよう構成されている。</li> <li>○ 様々な学習形態でも主体的に取り組める内容・表現となるよう配慮されている。主題図は、同じ縮尺のものが並べられ、変化や関係性などが追究できるよう工夫されている。</li> <li>○ 多面的・多角的に資料が選定されており、分量も適切である。地域の特色を偏らずに掲載されており、また、歴史的分野や公民的分野の指導に対応できるものになっている。</li> <li>○ 地理的分野以外の学習にも活用できる工夫があり、「防災」「領土」「SDGs」等、今日的な課題への対応や様々な実態に広く適応するよう配慮されている。</li> </ul>							
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「この地図帳の使い方」で地図帳の基本的な見方・使い方が説明されている。また、地形図の見方が習得できるコーナーが設定され、主体的に学習に取り組むことができるよう配慮されている。</li> <li>○ ICT関連、環境問題等の新しい動きの主題図を掲載することで、生徒の興味・関心を高め、問題解決に向けて考察できるよう工夫されている。</li> <li>○ 自然環境や生活・文化・産業等を掲載した鳥瞰図により、地域の特色が視覚的に読み取れるようになっている。また、イラストを配して親しみやすいよう工夫されている。</li> <li>○ 歴史的分野や公民的分野でも活用できる資料をアイコンで明示している。防災については、各地方の主題図において防災をテーマとする資料を掲載するなど工夫されている。</li> <li>○ 地理的分野の学習内容を深められる資料を掲載している。また、二次元コードからも様々なデジタル教材が活用でき、資料活用能力を高められるよう工夫されている。</li> </ul>							
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地名や未学習の漢字には振り仮名が付けられているほか、地図帳の基本的な見方・使い方が巻頭で解説されているなど、学年に応じた活用がしやすいよう配慮されている。</li> <li>○ 問いコーナーやイラストを多数掲載し、親しみやすい工夫がされている。インデックスが設けられ、探しやすく、日常の様々な場面で利用できるよう配慮されている。</li> <li>○ 色や文字の書体、大きさ、絵記号のデザインやレイアウトが統一され、全ての生徒に見やすい工夫がなされている。</li> <li>○ 日本の拡大図が各地方の様子が読み取れるよう、100万分の1の縮尺で統一されているほか、世界各国の様々な特色が視覚的に読み取れるなどの工夫が見られる。</li> <li>○ 軽くて耐久性に優れた地図帳専用用紙を使い、持ち運びの負担にならないよう配慮されている。再生紙と植物油インキが使用されるなど、地球環境に配慮している。</li> </ul>							

種 目	数 学	発行者の 番号・ 略称	2	教科書 の記号・ 番号	数 学 0 0 2 - 7 2  0 0 2 - 8 2  0 0 2 - 9 2	書 名	新編 新しい数学1 ～MATH CONNECT 数学のつながり～ 新編 新しい数学2 ～MATH CONNECT 数学のつながり～ 新編 新しい数学3 ～MATH CONNECT 数学のつながり～
			東 書				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各章で育成を目指す資質・能力を「章のとびら」で明確にし、章の導入で見方・考え方を働かせた数学的活動を取り入れるなど、内容が工夫されている。</li> <li>○ 「虫眼鏡マーク」を利用し、問題発見・解決の過程で、生徒自ら数学的な見方・考え方を働かせたり、振り返りを意識したりすることを促すよう配慮されている。</li> <li>○ 1学年では中学校数学の授業開きとして0章「算数から数学へ」を設定し、中学校への円滑な接続が図られている。</li> <li>○ 側注の「ちょっと確認」や巻末の「もっと数学をつなげよう」では、つまずきへの対応や学び直しの機会に対応している。</li> <li>○ 生徒の実生活に関連した題材や今日的課題に関わる題材が偏りなく掲載されている。また、資料の出所、出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各章の導入で、単元を貫く題材が設定され、各章で生徒の学びが連続し、学習の効果が上がるよう構成されている。</li> <li>○ 小節ごとに学習課題と問題を設定し、生徒が見通しを持って学習に取り組み、その学習を振り返ることで知識・技能の定着を図ることができるよう配慮されている。</li> <li>○ 例題の理解を確認する問題やクイックチェック、補充問題で基礎的・基本的な内容の定着を図り、章の問題や活用問題で発展的な学習を進める配慮がなされている。</li> <li>○ 練習問題は過度な負担にならない分量であり、個人差に対応して巻末等で問題量を補充できるよう工夫されている。</li> <li>○ 生徒の思考の流れを大切にし、疑問が次の学びへとつながる系統性のある単元構成になっている。また、生活や各地域の実態に適合できるように配慮されている。</li> </ul>						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭に「大切にしたい数学の学び方」を示し、問題解決の進め方や発表の仕方、振り返りの仕方の視点などが分かるよう配慮されている。</li> <li>○ 「深い学びのページ」では、主体的・対話的で深い学びが実現できるよう、問題発見・解決の過程を紙面の右側に示し、数学的活動の充実が図られている。</li> <li>○ 「補充の問題」、「学びのベース」や「数学の自由研究」が準備され、多様な個性や能力に対応し、補充的、発展的な学習が行えるよう配慮されている。</li> <li>○ 他教科に関連する題材には「教科マーク」が付いており、生徒の学びが他教科にも広がるよう配慮されている。</li> <li>○ 二次元コードから利用できるデジタル教材や観察、操作ができる紙教具等、適切に配置されている。</li> </ul>						
4 表現と 体裁等 に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒の発達の段階を考慮した記述になっており、新出用語等には振り仮名が付くなど、理解しやすくなるよう配慮されている。</li> <li>○ 生徒の活動を促す場面では、具体物の写真やイラストを用いて生活と結び付けやすくしている。吹き出し等も、親しみを感じやすい表現となっている。</li> <li>○ 検索を容易にするインデックスの取入れや読みやすい位置での改行、数式等を見やすくするなど、ユニバーサルデザインを採用している。</li> <li>○ 紙面の右側を余白とする側注形式をとり、さらに、マーク類を精選することでレイアウトやバランスを工夫し、見やすくなるよう配慮されている。</li> <li>○ 用紙は、裏抜けしにくい、丈夫で筆記特性の良い白色軽量化用紙を使用している。インクは環境やアレルギーに配慮しており、製本は堅ろう性、耐久性に優れている。</li> </ul>						

種 目	数 学	発行者の 番号・略称	4	教科書の 記号・番号	数学 702 802 902	書 名	数学の世界1 数学の世界2 数学の世界3
			大日本				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数学的活動の中で、数学的な見方・考え方を働かせることができるような具体例を設けており、数学科の目標達成のための工夫がなされている。</li> <li>○ 各章の始めに生徒が主体的に学習に取り組める導入課題が設定されている。また、「数学の世界へようこそ」では、数学の学習の仕方について明記されている。</li> <li>○ 章末の「社会にリンク」では、様々な職業の実在する人物を紹介し、職業と数学の関連に触れて数学の有用性を実感し、学習意欲が高まるよう工夫されている。</li> <li>○ 基礎的な内容がよく精選されている。また、「学びにプラス」を設けて学んだことを深めるなど、学習内容の充実と発展を図ることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 生徒の生活に関連した教材や、環境、防災等、今日的課題に関わる題材が偏りなく掲載されており、資料の出所、出典も明示されている。</li> </ul>						
2 組織と配 列に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 目次には「これまで学んだこと」として既習事項の学年の内容が明記されており、学んだことを振り返ることで、学習の効果が上がるように配慮されている。</li> <li>○ 学習のねらいが明確に示されている。また、学習内容の理解を促す言葉の説明や「思い出そう」を設けるなど工夫されており、内容にまとまりがある。</li> <li>○ 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図る問題が掲載されている。また、学んだことを生かして取り組む発展的な内容を扱っている。</li> <li>○ 基礎、補充、発展的な内容がバランスよく掲載されている。各領域の配置がまとまっており、学校ごとの年間指導計画にも広く適合できるように工夫されている。</li> <li>○ 生徒にとって身近な場面を扱う題材が計画的に配列されている。巻末には、疑問に思ったことから選択して取り組むことができる「課題学習」が配列されている。</li> </ul>						
3 学習と指 導に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 章末に学習内容を活用して課題を解決する「活用・探究」を設けており、思考力・判断力・表現力等を育成できるように工夫されている。</li> <li>○ 各章の「活動」では、考えを比べたり、話し合ったりする場面が設定されており、主体的・対話的で深い学びを実践できるように工夫されている。</li> <li>○ 「プラス・ワン」や「補充問題」、「力を伸ばそう」が設けてあり、生徒の習熟度に応じて取り組むことができるよう配慮されている。</li> <li>○ 「MATHFUL」では、数学と身の回りの事象との関連を扱い、理科や社会科、技術・家庭科等の他教科や総合的な学習の時間等との関連に配慮している。</li> <li>○ 「ノートづくり」や「研究をしよう」、「レポートを書こう」等、学習の手引きが豊富である。また、デジタル教材が適切に配置されている。</li> </ul>						
4 表現と体 裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1学年で使用する文字を大きくするなど、表記、表現が発達の段階に応じて配慮されている。</li> <li>○ 各章の扉では、日常生活に関連した題材を扱っており、生徒が興味・関心を持てるような工夫がなされている。また、親しみを感じるキャラクターも設定されている。</li> <li>○ 本文にはユニバーサルデザインフォントを使用しているほか、色遣いについても、全ての人に見やすい配色になっている。</li> <li>○ 図表や写真が鮮明で大きく掲載されている。加法や減法では、見開きで配置するなどレイアウトが工夫されている。</li> <li>○ 表紙はフィルムを貼り、汚れにくい加工が施されている。また、環境に配慮した紙や植物油インキを使用している。</li> </ul>						

種 目	数 学	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1  学 図	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	数 学  0 1 1 - 7 2 0 1 1 - 8 2 0 1 1 - 9 2	書  名	中 学 校 数 学 1 中 学 校 数 学 2 中 学 校 数 学 3
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数学的な見方・考え方を働かせて学習するページが全ての章に設定されており、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を育成できるようにまとめられている。</li> <li>○ 基礎的・基本的な知識・技能が確実に習得できるよう、既習事項を示したり、適用問題を配置したりするなど、生徒の主体的な取組を引き出す学習内容となっている。</li> <li>○ 章の学習の最後に「できるようになったこと」「さらに学んでみたいこと」が設定されており、生徒の学習意欲が高められるよう工夫されている。</li> <li>○ 章末には、基本、応用、活用、深化の四つに分類された問題があり、習熟度に合わせた学習ができるよう工夫されており、学習の充実と発展が図られている。</li> <li>○ 数学的な概念をイメージ化しやすい資料が、社会や自然の中から偏りなく掲載されており、その出所、出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 章の始まりでは既習事項を確認し、章末では次の学年の内容に触れることができるように構成されており、学習の効果が上がるよう配慮されている。</li> <li>○ 小節ごとに目標と振り返りが示されており、問題解決の手順を明確にすることで、生徒が見通しを持って、学習を進められるよう工夫されている。</li> <li>○ 基礎的・基本的な内容の定着を図るための問題が十分に確保しており、挑戦問題や章末の発展問題など、個に応じて発展的に学習を進められるよう配慮されている。</li> <li>○ 全員が必ず学習する内容と、生徒の興味・関心や習熟度に応じて学習する内容の配分が工夫されており、各学校の年間指導計画に適合できる配列になっている。</li> <li>○ 興味を引きやすい題材や生徒の身近な題材、各地域の写真を多く掲載するなど、生徒の生活や、どの地域の実態にも適合できるものとなっている。</li> </ul>						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ページ内の「見方・考え方」では問題解決への方向性、「表現する方法」ではレポート作成や発表の仕方が示されており、各資質・能力の育成に配慮がなされている。</li> <li>○ 「数学的活動」では、問題解決に向けた見通しを持ち、生徒が自ら考え、主体的・対話的で深い学びを実現できるよう、紙面右側に学習過程を示している。</li> <li>○ 「トライ」や「Tea Break」といった発展的な問題や、基礎的・基本的となる問題が一目で分かる復習問題があるなど、生徒の多様な個性や能力に対応している。</li> <li>○ 「数学の力」、「数学へのいざない」やSDGsに関する資料等、他教科や総合的な学習の時間等との関連に配慮がなされている。</li> <li>○ 挿絵や図表、写真等が適切な場面で掲載されている。二次元コードには使用目的が明示されており、学習に関する情報が収集できるように工夫されている。</li> </ul>						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 地名や人名、初めて学習する漢字、新出用語等には振り仮名が付いている。本文や説明文は、生徒の発達の段階を考慮した言葉遣いや表現になっている。</li> <li>○ キャラクターや吹き出し、挿絵や写真類は、生徒にとって身近なもので、学習内容の理解の一助となるよう掲示され、学習意欲の喚起につながるものとなっている。</li> <li>○ 書体や文字の大きさ、字間や行間、分数等の数式について表記の工夫がなされている。印刷も鮮明で、ユニバーサルデザインの観点を取り入れた色彩を使用している。</li> <li>○ 視覚的に理解しやすい情報量で、図表等が配置されている。生徒が教科書に書き込みしやすいよう図は外側に配置するなど、レイアウトも工夫されている。</li> <li>○ 軽量で堅ろうな仕様になっており、色彩の割に裏写りも少ない。環境に配慮したインクを使用したり、自然な色合いを使用したり健康にも配慮している。</li> </ul>						

種 目	数 学	発行者の 番号・略称	1 7	教科書の 記号・番号	数 学 0 1 7 - 7 2 0 1 7 - 8 2 0 1 7 - 9 2	書 名	中学数学 1 中学数学 2 中学数学 3
			教 出				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭の「大切にしたい数学的な見方・考え方」では、既習事項の具体例を紹介し、学習の中で、見方・考え方を意識して働かせることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 実社会や日常生活、最先端テクノロジー等の数学に関わる題材を掲載することで、数学を学ぶことの必要性を実感できるように工夫されている。</li> <li>○ 各章の導入「Let's Try」において、身近な題材や操作的な活動を取り入れ、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 巻末には小学校の内容を振り返る「学びのマップ」や基礎的な問題と発展的な問題が設定されている「補充問題」が用意されており、学習の充実と発展が図られている。</li> <li>○ 身近な題材や生徒の興味・関心を高める学習内容が偏りなく掲載されている。また、資料や図は、学習内容に適したものが精選されており、出所、出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組織と配 列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 章の始まりには既習事項を確認できる「学習する前に」、章末には「学習のまとめ」や「章の問題」が組織的に配列しており、学習効果を上げる配慮がなされている。</li> <li>○ 章、節ごとに学習のねらいが詳細に示されている。また、問題発見・解決の過程を意識付ける工夫がなされており、見通しを持って学習できるよう配慮されている。</li> <li>○ 「例題」と「問」の間に、「例題」に類似した「たしかめ」が設定されており、基礎的・基本的な内容の定着を図る構成となっている。</li> <li>○ 基礎的・基本的な内容や発展的な内容の他に、小学校算数の振り返りや補充的な内容も充実しており、各学校の年間指導計画にも適合できるよう配慮されている。</li> <li>○ 「章とびら」や単元の中に、身近な題材や教材が計画的に配列されており、生徒の生活に適合できるよう配慮されている。</li> </ul>						
3 学習と指 導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ マークを用いて、生徒の疑問を新たな学びにつなげられるよう構成されている。協働的な場面も取り入れ、思考力・判断力・表現力等の育成に配慮がなされている。</li> <li>○ 多様な考えが出る問題では、友達の考えを聞く場面を設定し、問題発見・解決の過程を意識付けすることで、主体的・対話的で深い学びを実現する工夫がなされている。</li> <li>○ 自己評価の欄が設定されている「章の問題」や、高校の入試問題に触れている「活用の問題」等、自己の学びを調整しながら学習できるよう配慮されている。</li> <li>○ 「数学しごと人」では、実社会で活躍している方を紹介したり、スポーツと数学とのつながりについて触れたりすることで、他教科との関連も図られている。</li> <li>○ ウェブサイト「まなびリンク」では、動的な表現や立体的な表現等を通して、学習内容の理解を深めることができる。学習を支援するデジタル教材も豊富である。</li> </ul>						
4 表現と体 裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 余白を生かしたレイアウトや読みやすい位置での改行など、表記、表現がなされている。また、重要な用語の書体を変えることで見やすいよう工夫されている。</li> <li>○ 実社会で数学が役立っている場面を紹介したり、関連のあるデジタル教材を多く取り入れたりすることで、生徒が数学に親しみを持てるよう配慮されている。</li> <li>○ ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインを使用することで、生徒が紙面でもデジタル画面でも見やすいよう工夫されている。</li> <li>○ 視覚的に理解しやすい情報量で、資料や図表が見やすく配置されている。さらに、中心的な内容と補助的な内容が区別されており、レイアウトも工夫されている。</li> <li>○ 再生紙と植物油インキを使用するなど、環境やアレルギー等に配慮されている。また、本文用紙は軽量化を図り、生徒への身体的な負担を軽減している。</li> </ul>						

種 目	数 学	発行者の 番号・ 略称	6 1	教科書 の記号・ 番号	数 学 0 6 1 - 7 2 0 6 1 - 8 2 0 6 1 - 9 2	書 名	未来へひろがる数学 1 未来へひろがる数学 2 未来へひろがる数学 3
		啓林館					
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 系統性を重視した構成になっている。学びを広げる場面や問題解決の場面で役立つ考え方が示されており、数学的な見方・考え方が身に付くよう配慮されている。</li> <li>○ 自分の考えを表現し、他者に分かりやすく伝える場面を「説明しよう」「話しあおう」「まとめよう」と設定し、主体的・対話的で深い学びを促すよう配慮されている。</li> <li>○ 各節に、主体的に学習に取り組める「学習のとびら」が設定され、生徒が興味・関心を高めたり、有用性を実感したりすることができる内容になっている。</li> <li>○ 「利用」の節で「ステップ方式」を導入し、身の回りで数学のよさを実感できる問題を取り上げ、更に新たな問題を設定し、解決する力を育成するよう配慮されている。</li> <li>○ 学習内容と関連ある写真や、本文の説明を補うための説明図や表が使用されており、資料や図の出所、出典も明示されている。</li> </ul>						
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 既習事項を基に新しい学習内容を考える「ひろげよう」や、既習事項を確認できる「ふりかえり」「学びをふりかえろう」など、学習内容の系統性に配慮がなされている。</li> <li>○ 各節で、日常の事象や既習事項を基に、数学的活動を取り入れた導入課題が配置されている。各章、各節のねらいが明確で、まとまりのある配列になっている。</li> <li>○ 基礎・基本を定着させるために「例」「例題」「問」が適切に配置されている。さらに、章末や巻末には発展的な問題が取り上げられている。</li> <li>○ 各領域の内容が系統的・発展的に配列されており、各学校の年間指導計画にも広く適合できる構成になっている。</li> <li>○ 習熟度別の「章末問題」や、生徒の興味・関心に即した「数学広場」、家庭学習等でも利用できるデジタル教材など、生徒や地域の実態に応じて編成されている。</li> </ul>						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「ステップ方式」の利用問題や理由を説明する問題等、思考力・判断力・表現力等の育成が進められるよう配慮がなされている。</li> <li>○ 「説明しよう」「話しあおう」で協働的に問題を解決する場面を設定し、主体的・対話的で深い学びを実践する工夫がなされている。</li> <li>○ 章末の「○章のあしあと」で生徒が自らの学びを振り返る活動場面を設定している。例も示されており、進んで学んでいけるよう配慮されている。</li> <li>○ 「学びにいかそう」や「数学ライブラリー」では、日常生活や今日的課題、他教科との関連を考えることができる題材が扱われている。</li> <li>○ 二次元コードが多く掲載されており、授業で活用することで理解を深められるように工夫されている。また、家庭学習で活用できる解説動画等も充実している。</li> </ul>						
4 表現と 体裁等 に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 識別しやすいフォントを使用するとともに、文章が意味や文節で改行されていて、読みやすく、意味を把握しやすくなるよう配慮されている。</li> <li>○ 性別や人種等に配慮したキャラクターを登場させ、考え方のポイントや、課題解決を補うヒントを示すことで、楽しく学習に取り組めるよう配慮されている。</li> <li>○ 紙面の内容を判別しやすい配色にし、ユニバーサルデザインフォントを使用している。また、区切りごとにまとまりを持たせるなど読みやすくする工夫がなされている。</li> <li>○ 課題の理解を補うための説明図や表が効果的に配置されていて、そのレイアウトや大きさも適切である。</li> <li>○ 内容を精査することで教科書の軽量化に配慮し、強度も確保されている。また、再生紙や植物油インキを使用するなど、環境やアレルギーにも配慮されている。</li> </ul>						

種 目	数 学	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 0 4  数 研	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	数 学 1 0 4 - 7 3 1 0 4 - 8 3 1 0 4 - 9 3	書  名	これからの 数学 1 これからの 数学 2 これからの 数学 3
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒が自ら考えて問題解決に向かう姿を対話形式で掲載することで、問題を数学的に解決する過程に焦点が当たるように工夫されている。</li> <li>○ 各章の学習の前に既習事項の学び直しができる「ふりかえり」があり、学習内容の系統性を意識した構成となっている。</li> <li>○ 活動的な課題や話題を各所に設け、興味・関心を高める内容である。キャラクターがガイド役としてヒントを提示するなど、学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 生徒の学びに応じた問題や、巻末に「数学旅行」や「考えよう」等の課題を設定するなど、学習の充実と発展を図る工夫がなされている。</li> <li>○ SDGs を基に福祉や防災、地域環境等の今日的課題に関わる題材が偏りなく掲載されており、資料の出所、出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「Q」や「TRY」を配置し、数学的活動を通して新しい内容を学ぶことができる。また、項目の最後に練習問題を配置し、反復練習ができるよう配慮されている。</li> <li>○ 小節ごとに目標が示されており、どのような問題を解決していくとよいか明確になっていることで、見通しを持って学習に臨めるよう工夫されている。</li> <li>○ 項のまとまりごとに、「問」「確認問題」「章の問題」「チャレンジ編」が設定され、基本的な内容の定着と発展的な学習ができるように配列されている。</li> <li>○ 問題数が豊富で、生徒の理解度に応じて選択できる要素が充実している。各学校の実態や年間指導計画に適合できるよう配慮されている。</li> <li>○ 章や節の導入で身近な題材を扱うことで、生徒の興味・関心を喚起し、巻末「数学旅行」では数学と社会との関連について考察できるように配列されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 課題を考える際のヒントや学習のまとめ等が明記され、基礎的・基本的な知識・技能の習得、思考力・判断力・表現力等の育成ができるよう配慮されている。</li> <li>○ キャラクターの対話を通して、生徒が様々な視点で事象を考えることができるようになっている。数学的な見方・考え方を働かせることができる工夫がなされている。</li> <li>○ 前の学年の課題に触れ、多様な個性や能力に対応したり、学び方に対する自己評価ができたりするなど、生徒が自己の学びを調整できるよう配慮されている。</li> <li>○ 濃度や天体等の他教科に関連する課題や、防災教育、SDGsに関連した内容が掲載されているなど、教科横断的な指導ができるよう配慮されている。</li> <li>○ 巻頭に学習の進め方やノートのつくり方が示されている。二次元コードからデジタル教材を利用することができ、学習内容を定着させる工夫がなされている。</li> </ul>						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1学年と2・3学年では問題の文末表現を変更しており、算数から数学への抵抗感を抑えるように工夫されている。</li> <li>○ キャラクターや生徒のイラストが適宜用いられ、考えの筋道を明確に示しているなど、生徒が親しみを感じながら学ぶことができるよう工夫されている。</li> <li>○ 鮮明で見やすい色遣いになっている。約分や項のまとまり等、生徒が間違いやすい内容について、色を効果的に活用し、理解を深める工夫がなされている。</li> <li>○ 資料、図及び写真等が必要に応じて配置されており、そのレイアウトや大きさも適切である。</li> <li>○ 堅ろうなつくりになるよう製本されている。また、軽くて丈夫な再生紙と植物油インキを使用しており環境に配慮されている。</li> </ul>						

種 目	数 学	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1 6	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	数 学  1 1 6 - 7 2 1 1 6 - 8 2 1 1 6 - 9 2	書  名	中学数学1 中学数学2 中学数学3
			日 文				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数学科の目標達成のために、巻頭に学習の仕方が示され、生徒が学び方を理解できるよう工夫されている。</li> <li>○ 様々な数学的活動がバランスよく設定され、主体的・対話的で深い学びを引き出すことができるよう配慮されている。</li> <li>○ 生徒の発達の段階と学習内容に応じ、巻頭見返し等に、身近な事象から生徒が疑問に感じる課題が示されており、生徒の学習意欲を高めるよう工夫されている。</li> <li>○ 内容は、章、節、小節で構成され、小節ごとにめあてや次の学習につながる新たな課題を示すことで、学習の充実と発展を図ることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 題材や場面の設定等は偏りがないように配慮され、巻末に資料や図の出所、出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭、各章、巻末の構成で内容が配列され、既習事項との関連を示した目次や、既習事項を確認できる章のはじまり等、学習の効果が上がるよう配慮されている。</li> <li>○ 原則として1小節が授業1時間当たりの内容で構成されており、学習の焦点化を図ることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 既習事項を確認する確かめや、学んだことを活用する問題等が提示されるなど、基礎的・基本的な内容の確実な定着と発展的な学習を進めるための配慮がなされている。</li> <li>○ 内容を精選し、各学年の配当時間の9割程度で学習できる分量にしてあり、弾力的な指導計画が立てられるよう工夫されている。</li> <li>○ どの地域の生徒にもなじみがあり、日常生活等で役に立つ場面が取り上げられ、生徒の生活や各地域の実態に広く適合できるよう配慮されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 随所に、分かりやすい表現で見出しやコメントが示され、思考力・判断力・表現力等の育成及び主体的な学習態度の形成が進められるよう配慮されている。</li> <li>○ 生徒が興味・関心を持てる題材が選定されている。また、問題解決までの過程と学び方の要点が明示され、主体的・対話的で深い学びを実践できるよう工夫されている。</li> <li>○ 小節の例に見出しを付けたり、節末等に多彩な問題と解答が用意されたりするなど、生徒の多様な個性や学びに対応できるよう配慮されている。</li> <li>○ SDGs、キャリア教育、防災教育、消費者教育、情報教育・情報モラル等に関する題材が取り上げられ、他教科や総合的な学習の時間等との関連が図られている。</li> <li>○ 二次元コードには使用目的が明示され、学習の手引き等とともに適切に配置されている。</li> </ul>						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 数学的な正確さを重視しながら発達の段階を考慮した平易な表現がなされ、理解を助ける図や式が添えられており、表記、表現が学年に応じて適切である。</li> <li>○ 多様性に配慮したキャラクターを使用して数学的な活動の楽しさや数学のよさを表現するなど、生徒が親しみや魅力を感じるよう配慮されている。</li> <li>○ 読みやすいフォントを目的に応じて使用するとともに、ユニバーサルデザインに配慮した色彩で、見やすく工夫されている。</li> <li>○ まとまりや区切りが分かる枠囲みや紙面に適度な余白が設けられており、図中の線を太く、文字を大きくするなど、レイアウトやバランスが適切に配置されている。</li> <li>○ 表紙は耐水性や堅ろう性に優れた表面加工が施され、軽量化した再生紙、環境や人体への影響が少ない植物性インキを使用しており、環境への配慮がなされている。</li> </ul>						

種 目	理 科	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	理科	書 名	新編 新しい科学1 新編 新しい科学2 新編 新しい科学3
			東書		002-72 002-82 002-92		
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 探究の過程を基本として内容が構成されており、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察、実験を行い、教科の目標が達成されるよう配慮されている。</li> <li>○ より身近な題材を取り上げ、探究的な学習の流れの中で直接的な体験ができるような観察、実験が設定されており、生徒の意欲が高まるよう工夫されている。</li> <li>○ 節の導入部分では身の回りの事象について考えさせる場面が設定されており、探究の過程の中で生徒の気づきを促すことで意欲を高め、主体的に学びが進められるように工夫されている。</li> <li>○ つまづきやすい問題には、「例題」、「考え方」、「練習」と段階的に確認する場面があるとともに、「学びをいかして考えよう」やコラムが充実していることで、基礎的な学習から発展的な学習まで網羅されている。</li> <li>○ 出所、出典が明示されており、写真やその他資料において地域や内容等の偏りはない。今日的な諸課題も取り上げ、バランスよく提示されている。</li> </ul>						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 導入部分に「これまで学んだこと」を配置し、小学校や中学校での既習事項を示すことにより学習の系統性を意識させ、学習に取り組みやすいよう配慮されている。</li> <li>○ 本文全編にわたって「before&amp;after」を各章のはじめと終わりに入れることで、自己の考えの変容が確認できる構成になっており、学びが広がり、深まるように配慮がなされている。</li> <li>○ 基礎的・基本的な内容と十分な関連の上で、発展的な内容が設定されている。また、単元末のコラムでは「社会につながる科学」が配置される等、理科と生活場面との関わりについて触れられており、理科への興味・関心が更に高まるよう工夫されている。</li> <li>○ 基本的な学習内容は厳選され、観察、実験も精選されている。「まちなか科学」等のコラムが充実しており、各学校の特色ある年間指導計画の作成に対応できるように工夫されている。</li> <li>○ 配列は、生活や各地域の実態に広く適合できるものである。主体的・対話的で深い学びが実現できるように身近な題材からはじまり、専門性の高い題材となるよう配慮されている。</li> </ul>						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 育成する資質・能力ごとに「シミュレーション」、「思考ツール」等のデジタル教材が配置され、思考力、判断力、表現力等の育成が図られるよう配慮されている。</li> <li>○ 問題発見の場面として重点を置く節には「問題発見 レッツスタート!」を設定し、疑問や気づきを学びの導入とするなど、探究の過程を大切にしている。</li> <li>○ 節内、章末、単元末に学習の振り返りのための適用問題が配置されている。つまづきやすい内容にはデジタル教材が付され、個に応じてスモールステップで基礎・基本の習得ができるよう配慮されている。</li> <li>○ 単元末に「社会につながる科学」等のコラムが配置されており、他教科との連携を図るとともに、SDGs、防災、道徳教育との関連も図られるよう配慮されている。</li> <li>○ 学習の理解につまづきやすい箇所にデジタル教材が付されており、教科書との併用によって学習内容の定着につなげられるよう配慮されている。</li> </ul>						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1学年では、本文の側中幅を2学年、3学年よりも大きく確保することで、できるだけ多くの生徒にとって読みやすくなるよう配慮されている。</li> <li>○ 鮮明で大きなカラー写真やイラストを採用されており、生徒が親しみや魅力を感じながら、個々の考える活動を促すよう配慮されている。</li> <li>○ 本文などの主要部分にユニバーサルデザインフォントを使用している。色覚に関する個人差に配慮しながらも鮮明な印刷がされ、実物に忠実な再現がなされている。</li> <li>○ AB版を採用することで、写真やイラストが大きくなっており、主題が伝わりやすくなっている。さらに、視線の移動を最小限に抑え、流れが分かりやすいレイアウトとなっている。</li> <li>○ 再生紙を使用しながらも裏のページが透けない用紙を使用している。軽量化された紙を採用しているとともに、針金を使用しない綴じ方で紙のリサイクルにも対応している。</li> </ul>						

種 目	理 科	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	4	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	理 科  7 0 2 8 0 2 9 0 2	書  名	理 科 の 世 界 1 理 科 の 世 界 2 理 科 の 世 界 3
			大日本				
1 内 容 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 巻頭の「理科の学習の進め方」や巻末の「探究の進め方」のページで、具体的な課題の例を基に分かりやすく探究の過程が示されており、教科の目標が反映されている。</li> <li>○ 日常生活や他教科との関連が図られた内容に加え、生徒が直接体験したことのある内容が重視されており、豊富な資料を基に幅広い教養を身に付けられるよう工夫されている。</li> <li>○ 教科書全体を通して、生徒の興味・関心を高める写真や図が多くあり、読み物の資料を多く取り上げることで、生徒の学習意欲を高めるための工夫がなされている。</li> <li>○ 学年に応じて学びを段階的に進めることができるよう、探究の過程に沿った学習の流れが分かりやすく示されており、学習の充実と発展を図ることができるよう配慮されている。</li> <li>○ 写真やその他資料において地域や内容等の偏りはなく、今日的な話題も取り上げられており、補助的な資料のグラフ等には出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組 織 と 配 列 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 一単位時間ごとに課題が明記され、実験、結果、考察、まとめという流れで問題解決の能力育成を意識した構成となっており、課題解決の方法が習得できるよう配慮されている。</li> <li>○ 単元のはじめに既習事項と学習内容が掲載され、単元のねらいが明確になっている。また、高校での学習内容との関連も記載されており、系統性に配慮がなされている。</li> <li>○ 単元の最後に「まとめ」、「単元末問題」が配置され、学習した内容を確認するとともに、それらを活用して課題を解決する発展的な内容が盛り込まれている。</li> <li>○ 基本的な学習内容や観察、実験の内容が精選されていて、単元や教材の数、領域のバランスが適切であり、2学期制、3学期制のいずれの指導計画にも適合できる配慮がなされている。</li> <li>○ 実験がしやすい時期や、各学年で実験器具の使用が重ならないことを考慮して単元が配列されており、生活や地域の実態に広く対応できる工夫がなされている。</li> </ul>						
3 学 習 と 指 導 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 章末問題や単元末問題に加え、単元末に読解力を問う問題が掲載されている。基礎的・基本的な知識・技能の習得に加え、発展的な学習にも取り組むことができるよう配慮されている。</li> <li>○ 生徒が主体的に学ぶことができるよう、「考えよう」や「話し合おう」の場面が設定されている。キャラクターの会話場面から対話的な学びを促すよう工夫されている。</li> <li>○ 個に応じた学びを主体的に進めるために「やってみよう」が設定されており、創造性を伸ばさせられるよう工夫されている。</li> <li>○ 「科学のあしあと」や「くらしの中の理科」で各教科等とのつながりのある話題が載せられており、学習の広がりを感じられるよう配慮されている。</li> <li>○ 学習に活用できるデジタル教材が豊富に用意されており、対応するページには二次元コードが配置され、それぞれのウェブサイトへリンクするよう工夫されている。</li> </ul>						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「これまでで学習したこと」や「思い出そう」で、小学校の内容や中学校1、2学年の内容を振り返ることができる。また学年に応じて発展的な学習のページの量を増やしている。</li> <li>○ 生徒間の活発な話し合いを促すための吹き出しを多用したり、キャラクターを配置したりすることにより、学習課題に親しみや魅力を感じることができるよう配慮されている。</li> <li>○ 色覚に関する個人差を踏まえた配色にし、誰にでも見やすく工夫されている。また、全面的にユニバーサルデザインフォントを使用するなど見やすいつくりになっている。</li> <li>○ 行間にゆとりをもたせたレイアウトを採用している。また、説明を補足する写真や図、グラフが大きく色遣いもはっきりと表されている。</li> <li>○ 表紙は上部で汚れにくくなるように加工しており、植物油インキを使用することで環境に配慮されたものとなっている。製本は奥までよく開く綴じ方を採用している。</li> </ul>						

種 目	理 科	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1  学 図	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	理 科  0 1 1 - 7 2 0 1 1 - 8 2 0 1 1 - 9 2	書  名	中 学 校 科 学 1 中 学 校 科 学 2 中 学 校 科 学 3
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 探究の過程が段階的に示されているとともに、学習対象に応じた理科の見方・考え方を働かせる場面が明示されている。科学的に探究する能力の基礎と態度を育成するよう工夫されている。</li> <li>○ 身の回りの自然現象を観察したり、自らの経験や実体験を生かしたりする学習が配置されており、日常生活との関連付けや直接体験を重視した学習に対応している。</li> <li>○ 巻頭に、理科を学ぶ意義や学んだことが実社会でどのように生かされていくかについて考えるための提示があり、学習意欲が高められるよう配慮されている。</li> <li>○ 探究するために、必要な知識を身に付けるページが整理されているとともに、巻末の資料で興味・関心に応じた発展的な学習につなげられるよう工夫されている。</li> <li>○ 土地の様子や自然現象、施設等は国内各地の写真が扱われている。また、環境保全、防災・減災や国際的な協調等の今日的課題に関わる話題が偏りなく取り上げられている。</li> </ul>						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 観察、実験の基本的な内容を理解した上で、課題解決の方法を習得し、学習を通してどのような力を身に付けたかを振り返ることができる構成となっている。また、生徒自らが探究的な学習の計画を立てられるように組織・配列されている。</li> <li>○ 単位時間ごとの見方・考え方が明示されている。さらに、単元を通して育てたい資質・能力の3観点が見え、学習の見通しを持つことができるよう工夫されている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実現が目指せるように、学び方のヒントが単元はじめの「学びのあしあと」、コラムの「理路整然」で示されている。</li> <li>○ 各分野の記述量はほぼ均等である。また、区分に関しては、各学校の地域や生徒の実態に応じた年間指導計画に対応できるよう配慮されている。</li> <li>○ 動植物や自然現象の観察、各地で発生している自然災害等に関する学習をはじめ、生徒の生活や各地域の実態を踏まえることで、興味・関心を持って取り組めるよう工夫されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 話し合いを重視した学習活動が随所に設定され、思考力、判断力、表現力等の育成に配慮がなされている。</li> <li>○ 探究的な学習における主体的・対話的な学習の流れを示し、生徒一人一人が主体的に学習を進める意義と方法を理解した上で学びを深められる構成となっている。</li> <li>○ 基礎問題である「学習のまとめ」、巻末の「読解力強化問題」、高校入試過去問の解説など、個に応じたさまざまな学習内容が掲載されている。</li> <li>○ 他教科との関連や、SDGs とのつながりを考えるように意図されており、総合的な学習等の時間にも対応できるよう配慮されている。</li> <li>○ 全ページに二次元コードが配置されている。動画やデジタル教材を利用することで、学習に有効活用できるよう工夫されている。</li> </ul>						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 理科に関する用語や小学校の配当漢字以外の常用漢字には、ふりがなが節単位の初出箇所につけられており、分かりやすい文章表現になるよう配慮されている。</li> <li>○ 章のとびらの写真や図を紙面に大きく表示している。また、「なぜ理科を学ぶの」、「理路整然」等で理科の有用性を実感させながら生徒の興味・関心を高めるよう工夫されている。</li> <li>○ 発色性に優れた用紙の使用により、写真や図版が鮮明である。また、文字のフォントや大きさ、色使いや図の配置等のレイアウトの工夫によって読み取りやすくなっている。</li> <li>○ 紙面の左側に必ず本文が配置されるように構成されており、図版にはうすい青色の背景を用い、見やすくする工夫がなされている。</li> <li>○ 長期間使用を前提とした軽くて丈夫な表紙、本文用紙が用いられている。また、環境やアレルギーなどにも配慮された再生紙や植物油インキが使用されている。</li> </ul>						

種 目	理 科	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 7	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	理 科	書 名	自然の探究 中学理科 1 自然の探究 中学理科 2 自然の探究 中学理科 3
			教出				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 探究の過程を通して、観察、実験に関する基本的な技能や、科学的に探究する力及び態度が身に付けられるよう配慮されている。</li> <li>○ 観察、実験に加え、課題を見つける活動を紹介した「やってみよう」や発展的な活動を紹介した「チャレンジ」が随所に設定されており、直接体験と探究の過程が重視されている。</li> <li>○ 豊富な資料の中で、科学技術が生活や社会でどのように役立てられているのかが紹介されており、科学の有用性が感じられ、学習意欲が高まるよう工夫されている。</li> <li>○ 練習問題等が段階的にバランスよく配置され、学力の定着と向上を図ることができるように工夫されているなど、内容が精選されている。</li> <li>○ 資料に偏りがなく、防災・減災やSDG s等の今日的な話題も取り上げられており、出所、出典も明示されている。</li> </ul>						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校から高校まで系統制を意識した配列になっている。課題の把握、追究、解決の流れに沿って探究の過程が意識されており、課題解決の方法が理解できるよう配慮されている。</li> <li>○ 単元のはじめに「学んでいくこと」、章のはじめに「これまでの学習」が示されており、各章の学習内容やねらいが明確に設定されている。</li> <li>○ 課題と結論が明示され、基礎的・基本的な内容の確実な定着が図られている。また、応用、発展的内容も取り上げるなどの配慮がなされている。</li> <li>○ 各分野の記述量は適量で、生徒や地域の実態に応じて調整が可能となっており、年間指導計画に広く適合できるよう配慮されている。</li> <li>○ 巻末の「校外の施設を活用しよう」で、各地域の様々な施設が紹介されており、学校での学習を広げたり、深めたりできるよう工夫されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「要点をチェック」「要点と重要用語の整理」「基本問題」「活用問題」「学年末総合問題」という5段階のステップで、基礎的・基本的な知識・技能を繰り返し確認することで、確実な定着を図っている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びの実践に向け、探究の過程の中で意見交換したり、科学的な根拠に基づいて議論したりする場面が随所に設定されている。</li> <li>○ デジタル教材「Webずかん」、「フラッシュカード」等の利用を通して、生徒の興味・関心に合わせて発展的な学習や補充的な学習に取り組むことができるように配慮されている。</li> <li>○ コラム「ハローサイエンス」等を通して、日常生活や他教科、高校の学習内容等との関連が随所に図られている。</li> <li>○ 「まなびリンク」として、教科書の内容と関連のあるデジタル教材を集めたウェブサイトが活用できるよう配慮されている。</li> </ul>						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開きの初出箇所の用語や重要用語にふりがなをつけているなど、学年に応じた配慮がなされている。</li> <li>○ 文章と対応する図を近くに配置する側中のないレイアウトで、内容に集中しやすく、デジタル教材「まなびリンク」によってより深く調べることができる。</li> <li>○ 全体的に大きな文字で表記されている。また、より多くの人が識別しやすい色遣いやユニバーサルデザインフォントを採用している。</li> <li>○ 本文と、イラストや写真をバランスよく配置し、大判の紙面を効果的に使い、全体にすっきりとした印象のレイアウトになっている。</li> <li>○ 表紙には防水や抗菌に効果のある表面加工を施工し、環境にやさしい再生紙と植物油インキを使用するなど、環境への配慮がなされている。</li> </ul>						

種 目	理 科	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	6 1  啓 林 館	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	理 科  0 6 1 - 7 2 0 6 1 - 8 2 0 6 1 - 9 2	書  名	未 来 へ ひ ろ が る サイ エ ン ス 1 未 来 へ ひ ろ が る サイ エ ン ス 2 未 来 へ ひ ろ が る サイ エ ン ス 3
1 内 容 に 関 する 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 観察、実験を中心とした探究の過程を意識した学習ができるように構成されており、理科への興味を引き出すとともに、確かな学力が身に付くよう配慮されている。</li> <li>○ 生徒の興味・関心を高める写真など、日常生活と関連付けて科学的に考える直接体験を重視した学習内容になっている。</li> <li>○ 導入部分で大きな写真や図を用いることで、身近な自然現象と学習内容を結び付けられるように設定されており、学習意欲を高められるよう工夫されている。</li> <li>○ 理科を学ぶことの意義や有用性が実感でき、学習の充実と発展を図ることができるように、社会や生活との関連を図る内容が精選されている。</li> <li>○ 幅広い分野の資料を掲載しており、取り上げた写真や図の出所、出典が巻末や資料に明示されている。</li> </ul>						
2 組 織 と 配 列 に 関 する 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校から高等学校までの系統性を意識して配列されている。また、探究の過程が明示されており、学習に主体的に取り組むことができるよう配慮されている。</li> <li>○ 単元の最初と最後に学習に関する写真を大きく掲載することで、学習意欲を高めるとともに、ねらいを明確にし、学習した内容が広がり、深まるよう工夫されている。</li> <li>○ 基礎的・基本的な内容の習得を図るために「例題」や「コラム」が設定されている。また、「Action 活用してみよう」では、習得した知識・技能を活用できる工夫がされており、発展的な内容にも対応している。</li> <li>○ 内容の分量は適量である。「地域関連資料集」で地域の自然や動植物が紹介されており、各学校の特色ある年間指導計画に柔軟に対応できるよう配慮されている。</li> <li>○ 「広がる世界」、「お仕事ラボ」等、地域の特性や各学校の履修形態に合わせて、広く適合できるよう工夫されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 指 導 に 関 する 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 話し合いやグループ活動などの協働的な学びの場が随所に設定され、思考力・判断力・表現力等の育成が図られるよう配慮されている。</li> <li>○ 「探Q実験」において、他者の意見を参考にしながら自分の考えを検討する場面を設定することにより、考えの変容や深まりを実感し、深い学びが実現できるよう配慮されている。</li> <li>○ 章末・単元末に配置される問題は、段階的にレベルアップする構成となっており、習熟度別授業、補充的な学習などに対応できるよう配慮されている。</li> <li>○ 「深めるラボ」で生徒が主体的に探究できるテーマが紹介され、他教科や総合的な学習の時間でも発展的に活用できるよう配慮されている。</li> <li>○ 挿絵、図表、写真等は、大きくて見やすく、二次元コードにより映像、画像、音声で詳しく学習することができるよう工夫されている。</li> </ul>						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する 事 項	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 漢字は常用漢字表に記載されたものを使用し、節単位の初出箇所では振り仮名をつけている。文章表現や図版・写真は、分かりやすく発達の段階にも配慮されている。</li> <li>○ 中学生や実験器具を模した挿絵に、吹き出しを付けて疑問点や考え方のヒントを示すなど、生徒が親しみを持って学習に取り組めるよう配慮されている。</li> <li>○ 1学年の文字サイズが他学年に比べて大きな字で書かれている。また、発色性に優れた用紙を使用し、目にやさしく、読みやすい紙面になるように、光沢を抑える工夫がなされている。</li> <li>○ 左右に広いA B版を採用し、図や写真を紙面上部に集めることによって、視覚的に対象物を認知しやすいよう工夫されている。</li> <li>○ 広げやすく、書き込みがしやすい製本方法が採用され、紙面をより大きく有効活用でき、省資源化や紙のリサイクルにも配慮されている。</li> </ul>						

種 目	音 楽 (一般)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 7  教 出	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	音 楽  0 1 7 - 7 2 0 1 7 - 8 3 0 1 7 - 8 4	書  名	中学音楽1 音楽のおくりもの 中学音楽2・3上音楽のおくりもの 中学音楽2・3下音楽のおくりもの
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に示された教科の目標を踏まえ、多種多様な音楽文化に触れ、様々な音楽活動に取り組めるように工夫されている。</li> <li>○ 興味・関心を高める教材の精選により学習活動の充実を図ることで、主体的に学び、心身ともに健やかな人間を育むことができるよう工夫されている。</li> <li>○ 歌唱・鑑賞・創作それぞれの領域において、生徒の心身の発達段階や能力に即した教材を取り上げている。変声期への対応など各学年への配慮がなされている。</li> <li>○ 現代の生徒の生活及び心情に即した内容や、多種多様な音楽に触れられる内容などよく精選されており、学習の充実と発展を図るよう工夫されている。</li> <li>○ 我が国の伝統音楽や諸外国の音楽をバランスよく扱うことを通して、そのよさを味わい、愛着が持てるよう工夫されている。教材の出所、出典も明示されている。</li> </ul>						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材は、全学年を通した系統性に基づいて配置され、関連・対照・対比させながら表現活動と鑑賞活動を組み合わせることで学習がより深まるよう配慮されている。</li> <li>○ 各教材におけるねらいがページの初めに明確に表示されることで、授業における目的と学ぶ事項の確認、振り返りができるよう配慮されている。</li> <li>○ 冒頭の「学習の進め方」において〔共通事項〕を示し、後段に内容を集約して整理するなど基礎的な内容を確認しながら学習を進めるよう配慮されている。</li> <li>○ 教材は各学年の授業時数とカリキュラムマネジメントの実態に応じて過不足なく扱われ、活動の手順やポイントが簡潔に表記されるなど分量は適切である。</li> <li>○ 各学校や生徒の実態に応じ、基礎的・基本的な力を身に付ける主要部分と、選択できるオプション部分の教材を組み合わせることができるよう配慮されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎的・基本的な学習内容を随時振り返ることができ、思いや意図を持って表現するために必要な技能を無理なく身に付けることができるよう配慮がなされている。</li> <li>○ 進んで学び合うための活動例や楽曲の魅力をもとめる場面設定、作品発表による交流の場面設定等、主体的・対話的で深い学びを導き出す工夫がなされている。</li> <li>○ アイコンやマーク等で学習の見通しや活動例が示されており、生徒への助言、解説が適切であるため、自己の学びを調整しながら学習できるよう配慮されている。</li> <li>○ 英語の歌詞で歌唱する教材を扱ったり、SDGsに関する教材を扱ったりするなど他教科や総合的な学習の時間等との関連に配慮されている。</li> <li>○ 「まなびリンク」のピクトグラムが示され、学習に対応した動画等の資料がWEB上に過不足なく用意されており、写真・図版も適切に配置されている。</li> </ul>						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 楽譜や学習活動を表す文章は正確で、生徒に理解しやすい表記となっている。また、ルビの表記が適切で、中学生の発達段階に合わせて工夫されている。</li> <li>○ 大きく、奥行きのある写真や親しみやすいイラストを用いることで、楽曲の持つ魅力や美しさが感じられるよう配慮されている。</li> <li>○ 楽譜や文字は適切な大きさと鮮明である。また、カラーユニバーサルデザインやユニバーサルフォントの使用など多様な生徒への配慮がなされている。</li> <li>○ 文中の改行位置、写真・図版の大きさ及びレイアウト、イラスト形状等、細部にわたり生徒への配慮がなされている。</li> <li>○ 再生紙や植物油インキを利用するなど、環境保護に配慮されている。軽量で手に持って歌う時の負担軽減にも配慮されている。製本は堅ろうである。</li> </ul>						

種 目	音 楽 (一般)	発行者の 番号・略称	2 7  教 芸	教科書の 記号・番号	音 楽 0 2 7 - 7 2 0 2 7 - 8 3 0 2 7 - 8 4	書  名	中学生の音楽 1 中学生の音楽 2・3 上 中学生の音楽 2・3 下
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領の内容を踏まえ、知識では曲想と音楽の構造との関わりを理解でき、技能では思考力・判断力・表現力等の育成と関わらせ習得できるよう工夫されている。</li> <li>○ 生徒の興味・関心を引き出すことができる楽曲を精選しており、志を持ち、未来を創造する豊かな人間性の育成に繋げることのできるよう工夫されている。</li> <li>○ 分かりやすくじっくりと取り組める教材が多く掲載されており、生徒が興味・関心を持った楽曲に向き合い、学習意欲を更に高められるよう工夫されている。</li> <li>○ 我が国の伝統音楽や諸外国の音楽が、幅広く発展的に取り上げられており、生徒たちの興味・関心を高められるよう、工夫されている。</li> <li>○ 内容や資料において、十分な掲載量であり、どの題材を扱っても分かりやすいものとなっている。写真の出所や出典もしっかりと明記されている。</li> </ul>						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各教材において組織的、系統的に配列され、知識・技能が無理なく習得できるよう工夫されている。</li> <li>○ 目標を明確にした教材が適切に配列されており、表現教材と鑑賞教材を関連させながら学習できるように工夫されている。</li> <li>○ 各教材に〔共通事項〕が明記され、基礎的・基本的事項を理解し、音楽活動を通して定着できるよう工夫されている。</li> <li>○ 教材が充実しており、各学校の年間指導計画や生徒の実態に合わせて幅広く対応できるように配慮されている。</li> <li>○ 生活や社会と音楽とのつながりを実感できる教材を数多く取り上げ、生徒や地域の実態に応じた音楽活動ができるように工夫されている。</li> </ul>						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学習目標」「活動文」「音楽を形づくっている要素」を教材ごとに設定し、「思考力・判断力・表現力等」の育成と主体的な学びを深めていくための工夫がなされている。</li> <li>○ 「学びのコンパス」では、表現や鑑賞の学習で楽曲に対する自分の考えを持ち、生徒同士の交流を通して主体的・対話的で深い学びが実践できるように工夫されている。</li> <li>○ 様々な音楽のジャンルから、生徒個々の興味・関心に応じた資料を選択して学び、生徒の多様な個性や能力に広く対応できるよう工夫されている。</li> <li>○ 歌唱・鑑賞において、諸外国の音楽文化に対する理解を深め、心の触れ合いの大切さを味わえる教材を取り上げ、道徳教育や人権教育との関連に配慮されている。</li> <li>○ 動画やコラム等で、楽曲に関する知識を更に学ぶことができるよう工夫されている。</li> </ul>						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 表記や表現は簡潔で丁寧にまとめられており、生徒たちが理解しやすいように配慮されている。</li> <li>○ 各界で活躍する著名人のメッセージ等が掲載されており、生徒が親しみや魅力を感じられるよう配慮されている。</li> <li>○ 文字の大きさ、楽譜の線の太さ及び音符の大きさや形等、細部にわたって行き届いた配慮がなされている。</li> <li>○ イラストや写真などについても粗雑なところはなく、大きさやレイアウト、バランスも適切で、デザインも配慮されている。</li> <li>○ 再生紙や再生可能な植物油インキを使用するなど、環境にも十分配慮されている。また、製本はページどうしを接着した丈夫で長持ちするスタイルとなっている。</li> </ul>						

種 目	音 楽 (器楽合奏)	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 7  教 出	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	器 楽 0 1 7 - 7 2	書  名	中学器楽 音楽のおくりもの
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に示されている内容を踏まえ、表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、資質・能力の育成ができるよう工夫されている。</li> <li>○ 基礎的・基本的な学力を身に付けることができるよう焦点化された学習のねらいが各題材に明記され、無理なく音楽表現の学習に取り組めるよう工夫がなされている。</li> <li>○ 生徒個々の習熟度や実態に応じ、表現の技能を段階的に身に付けることができる構成で、興味・関心を持って主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>○ 器楽表現と鑑賞の関連を図ったり、奏法の近い楽器を聴き比べたりするなどの構成で、表現と鑑賞の領域を横断した学習の充実と発展が図れるよう工夫されている。</li> <li>○ 歌唱教材や創作教材、鑑賞教材として扱われた楽曲を多く配置し、内容と資料が適正に構成されている。また、教材の出所、出典も明示されている。</li> </ul>						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 管楽器、弦楽器、打楽器のまとまりで音楽文化の理解を意図した教材を提示し、学習の見通しを踏まえた学びの順序が整理されている。</li> <li>○ 学習内容が楽器ごとにまとめられ、「各部の名称」「姿勢とかまえ方」「奏法の仕方」「合わせて演奏」とねらいを明確にして学習が進められるよう工夫されている。</li> <li>○ 全体が「演奏の仕方を身に付けよう」「合わせて演奏しよう」の構成で、基礎的知識や技能を身に付け、更に習得した知識や技能を活用できるように配慮されている。</li> <li>○ 主要部分の教材と選択可能なオプション部分の教材とを組み合わせることにより、各学校の実態や年間指導計画に柔軟に対応できるように配慮されている。</li> <li>○ 現代の生徒の生活や心情に即した教材や、各地域における社会生活と音楽の関わり、我が国や郷土の伝統文化に触れる点まで、広く対応できるように配慮されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ [共通事項]に基づく題材が明記され、教材ごとに「学習のめあて」と「まとめの曲」で構成されており、見通しを持って確実に学習を進められるよう配慮されている。</li> <li>○ 〈聴いてみよう〉〈話し合おう〉を活用し、他者と協働して表現する活動から、主体的・対話的で深い学びを实践できるよう工夫されている。</li> <li>○ 生徒が確かめながら学習できるよう、インデックス、合奏の難易度表示、活動例の他、運指表やコード表、用語や記号等の掲載に配慮がなされている。</li> <li>○ 英語の歌詞、文化や伝統、流通や貿易、生活様式、音楽と職業との関連を意識できるメッセージ等、他教科や道徳、総合的な学習の時間等との関連に配慮している。</li> <li>○ 「まなびリンク」等が示され、学習に対応した動画等の資料がWEB上に用意されており、学習に役立つ情報を教材に合わせて利用できるよう工夫されている。</li> </ul>						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 使用する言葉が中学生の発達段階に配慮されており、難しい漢字のルビの表記も適切である。</li> <li>○ 各楽器の名手からのメッセージや学習活動への助言、解説が記載されるほか、写真や図版等も効果的に配置され、生徒の関心や意欲を高めるよう工夫されている。</li> <li>○ ユニバーサルデザインフォントやカラーユニバーサルデザインの使用等、細部にわたり配慮が行き届いており、全体的に見やすく、色彩や印刷も鮮明で適切である。</li> <li>○ 楽譜の大きさや筆の縦譜、写真や図版の大きさ及びレイアウトやバランス等、多様な生徒に使用されるための配慮と工夫が見られる。</li> <li>○ A4変形判で左右に余裕があり、表紙は堅ろうである。また、再生紙と植物インキの使用、軽量で丈夫な紙質の使用により、身体的負担や環境保護に配慮されている。</li> </ul>						

種 目	音 楽 (器楽合奏)	発行者の 番号・略称	2 7	教科書の 記号・番号	器 楽 0 2 7 - 7 2	書 名	中学生の器楽
			教 芸				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領の内容を踏まえ、音楽と豊かに関わりながら学校での学びと自らの生活とをつなぎ、資質・能力を育成できるよう学習内容や教材を工夫して配置している。</li> <li>○ 音楽的な見方・考え方を働かせて学習するためのポイントがコラム等で適切に配置され、生徒自らよりよい奏法を求め、主体的に学習できるよう工夫されている。</li> <li>○ 生徒の心情に合った楽曲の内容や習熟度に応じた編曲、生徒の実態に即し段階的に技能を習得することができる構成等、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 我が国及び諸外国の楽器の基礎的奏法から発展的奏法、独奏や合奏等、様々な形態による学習が可能で、学習の充実と発展を図ることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 多様なジャンルの楽曲や楽器等がバランスよく配置され、充実した学習が可能な内容であり、写真や教材の出所、出典も明示されている。</li> </ul>						
2 組織と配 列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習を段階的に進められるように教材を選択、配列しており、生徒が幅広い知識や技能を習得し、豊かな表現活動ができるよう学びの順序が工夫されている。</li> <li>○ 楽器ごとに「演奏を聴こう」「楽器を知ろう」「楽器の名称」「姿勢と構え方」「楽器の奏法」等のまとまりがあり、学習のねらいを明確に把握できるよう配慮されている。</li> <li>○ 表現と鑑賞の領域を横断した学習内容で、生徒が興味・関心を持ち、各楽器について知識及び技能が確実に身に付くよう工夫されている。</li> <li>○ 教材が豊富で、器楽演奏の基本的な奏法とアンサンブル楽曲とを分けて配列しており、各学校の年間計画に広く対応できるように配慮されている。</li> <li>○ 生徒の興味・関心及び好奇心に働き掛ける幅広いジャンルの楽曲の掲載や、多彩な楽器の組み合わせ等、生徒の生活や各地域の実態に適合できるよう工夫されている。</li> </ul>						
3 学習と指 導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学習目標」「活動文」「音楽を形づくっている要素」が設定されており、音楽的な見方・考え方を働かせる視点の確認や主体的な学習ができるよう工夫されている。</li> <li>○ キャラクターやコラムによる考える観点の例示から、生徒が課題意識を持って協働的に学習することで、主体的・対話的で深い学びが実践できるよう工夫されている。</li> <li>○ 基礎的・基本的な学習から発展的な学習へ段階を踏んだ配列のほか、関連する鑑賞教材の記載等、多様な生徒の学びに広く対応できるよう工夫されている。</li> <li>○ 我が国及び諸外国の楽器や楽曲を通して歴史や文化を体験的に学習することで、他教科や総合的な学習の時間等と関連が図れるようになっている。</li> <li>○ 学習に役立つ教材を自由に見ることができるよう二次元コードが記載されており、関連した学習が進められるよう工夫されている。</li> </ul>						
4 表現と体 裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 表記や表現は簡潔で、難しい語句や漢字にはルビが付けられており、生徒が学習しやすいように配慮されている。</li> <li>○ 若手演奏家や著名人の写真が豊富で、専門家ならではの視点やメッセージにより生徒が憧れや親しみを持ち、音楽活動へ関心や意欲を高めるよう工夫されている。</li> <li>○ ユニバーサルデザインフォントを使用することで、可読性、可視性が高まるよう配慮されている。</li> <li>○ 楽譜の線の太さ及び音符の大きさや形、イラストや写真のシンプルなデザインとの確な配置等、細部にわたり使いやすさや見やすさに配慮されている。</li> <li>○ AB変型判の紙面は左右にゆとりがあり、製本は堅ろうである。SDGsに配慮した印刷方法や再生可能な植物油インキの使用など、環境に配慮されている。</li> </ul>						

種 目	美 術	発行者の 番号・ 略称	9	教科書 の記号・ 番号	美術 009-72 009-82	書 名	美術1 美術2・3
			開隆堂				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各題材は観点別に学習目標が明記されており、美術科で培いたい資質・能力の育成が整理され、生活の中の美術や多様な美術文化に触れられるよう内容構成されている。</li> <li>○ 対話をしながら鑑賞できる紙面作りや身近な作品の掲載、原寸大の図版、デジタル教材など生徒の主体的な学習活動を促せるような工夫がされている。</li> <li>○ 小学校の図画工作から中学校美術への接続について、巻頭に特設ページを設けることで学習意欲を向上させ、既習事項を発展的な学習につなげるよう配慮されている。</li> <li>○ 美術1、美術2・3と分冊にすることで、系統的・発展的な学習を意識した題材構成により、学習内容の精選と学習の充実を図るような工夫がされている。</li> <li>○ ユニバーサルデザインやSDGs等の今日的な教育課題に柔軟に対応できるような題材が組み込まれている。掲載作品一覧に出所、出典も明記されている。</li> </ul>						
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材内容は発達段階に応じて組織的、系統的に配列され、題材ごとに「表現」と「鑑賞」が関連付けて配置され、相互に学びが深まるよう配慮されている。</li> <li>○ 題材ごとに設定された学習目標によって育成したい資質・能力を示し、各学習活動に見出しを設けて、目標と活動の関連を具体的に考えられるように示されている。</li> <li>○ [共通事項]に示された「知識・技能」の具体的な事項について、社会や地域、各教科等とのつながりなど内容が発展的に学べるよう巻末に学びの資料を設定している。</li> <li>○ 2・3年の学習内容が一冊にまとめられていることで、各学校の生徒の実態に応じた題材配置による柔軟な年間指導計画が作成できるよう配慮されている。</li> <li>○ 各地の郷土の造形や美術館の作品を関連作品として掲載し、生活や地域の実態に幅広く適応できる題材配列をしている。</li> </ul>						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習の関連や作者の言葉、美術の用語などをマークで示すことで基礎的・基本的な知識・技能を定着させ、生徒の主体的な態度を形成するための工夫がされている。</li> <li>○ 各題材に主体的・対話的な深い学びができるような視点が設けられ、話し合い活動を促す場面を設定することによって個々の考えが深められるよう工夫されている。</li> <li>○ 幅広い表現方法や多種多様な素材や用具を使った題材構成で、生徒の個性や思いに沿った多様なニーズによる表現が選択できるよう配慮されている。</li> <li>○ 地域の文化財や人材、美術館などの活用、キャリア教育について取り上げるとともに各教科等との関連や美術と社会のつながり等を意識した構成になっている。</li> <li>○ 写真や絵、図は適切に配置されており、各ページの解説や大型図版、解説資料や動画による二次元コードによって生徒の主体的な学びが保障されている。</li> </ul>						
4 表現と 体裁等 に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 解説文は平易な文体で簡潔にまとめられ、中学で学ぶ漢字に総ルビ、ユニバーサルデザインフォントを使用し、多様な生徒の発達段階に対応できるよう配慮されている。</li> <li>○ 原寸大の図版や部分の拡大、見開きの大判資料などのページを設け、実物を実感させるよう配慮して、細部まで鮮明に鑑賞できるように工夫がなされている。</li> <li>○ タイトルが大きく示され、印刷はマットな紙を使用し反射を抑えることで発色を鮮明に見せている。表紙の特殊加工によって美術への興味を持たせるよう工夫している。</li> <li>○ 図版のレイアウトや大きさなどをバランスよく配置し、掲載資料の関連性を視覚的に示すことで学習効果が上がるように考慮されている。</li> <li>○ 製本は堅ろうで、開きやすさが考慮されている。印刷インキは植物性インキを使用し、再生紙を使用するなど環境への配慮がなされている。</li> </ul>						

種 目	美術	発行者の 番号・略称	38  光村	教科書の 記号・番号	美術 038-72 038-73 038-82	書  名	美術 1 美術 1資料 美術 2・3
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全ての題材に、造形的な見方・考え方に関わる目標が3観点で明記され、美術科での学習を通して資質・能力が育まれるよう配慮されている。</li> <li>○ 生徒自らが強く表したいことを心の中に思い描くことや自分の価値意識を持って作品をみることなど、生徒の主体的な活動を促すための構成が工夫されている。</li> <li>○ 美術1では図画工作科とのつながりを考え、美術2・3では身に付けた資質や能力を深め、歴史や社会との関係に視野を広げ、発達段階に配慮した構成になっている。</li> <li>○ 「表現」と「鑑賞」の各題材で発想や構想の手立てや制作過程の紹介、作品の見方などが示され、学習の充実と発展を図っている。</li> <li>○ 表現の題材では描く活動とつくる活動を精選し、鑑賞の題材では多様な日本美術の他、様々な国の作品が幅広く取り上げられ、資料の出所、出典も明記されている。</li> </ul>						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 題材の初めに鑑賞の問い掛けが示され、「表現」と「鑑賞」を相互に関連付けて指導できるように組織的に配列し、学習の効果があがるように配慮されている。</li> <li>○ 美術科の目標を踏まえて、全ての題材で、目標が3観点で示され、身に付ける力や学習のねらいが生徒に分かりやすく明確に伝わるよう工夫されている。</li> <li>○ 基礎的・基本的な内容の定着を図るための学習資料が豊富に掲載され、造形的な見方や考え方を広げるための吹き出しの工夫など、発展的な内容構成に配慮されている。</li> <li>○ 絵や彫刻など、デザインや工芸など分野ごとに構成し、題材数、領域のバランスが工夫され、年間指導計画に広く適合するように配慮されている。</li> <li>○ 全体を通して、絵や彫刻、デザインや工芸のほか、ICT機器を使った幅広い作品を取り上げ、多様な切り口から生徒や地域の実態に対応できるよう工夫されている。</li> </ul>						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 形・色彩・材料・光等に関する資料が別冊で設けられ、生徒が資料を適宜参照し、実感的に理解しながら学習を進められる配慮がなされている。</li> <li>○ 全ての題材において、対話を促す問い掛けが示され、「表現」と「鑑賞」の相互の関連を図りながら、生徒に主体的・対話的な深い学びを促す工夫がなされている。</li> <li>○ 「みんなの工夫」には生徒作品の制作過程が紹介されており、多様な価値観に触れながら、生徒自身の発想や構想を促す内容となっている。</li> <li>○ 各教科等との関連がコラムで設けられ、各教科等での学びを意識しながら、横断的に「表現」や「鑑賞」の活動を行えるように配慮されている。</li> <li>○ 様々な国や地域の美術文化の紹介とともに、「表現」や「鑑賞」の学びを深めるための二次元コードを掲載されており、学習効果が高まるよう工夫されている。</li> </ul>						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 図版や写真には、名称、材料や技法、大きさ、制作年、作者名と生没年・出身地、簡潔な解説文が示され、学習を進める上での有効な情報となるよう配慮されている。</li> <li>○ 鑑賞図版をダイナミックに掲載し、日本絵画を鑑賞する題材では風合いのある用紙を使用し、多角的な視点での鑑賞など、鑑賞活動が深まるよう工夫されている。</li> <li>○ ユニバーサルデザインフォントを使用し、カラーユニバーサルデザインを施すことで、見やすさに配慮されている。堅ろうで薄い紙が採用され、軽量化されている。</li> <li>○ 見開きのページが充実しており、視覚的に生き生きとした紙面構成である。質感の違う印刷や風合いの違う用紙を使用し、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 製本は堅ろうで、生徒がページを開きやすいように綴じ方が工夫されている。また、環境への負担が少ない用紙と植物性インキが用いられ、環境に配慮されている。</li> </ul>						

種 目	美術	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1 6  日 文	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	美術  1 1 6 - 7 2 1 1 6 - 8 3 1 1 6 - 8 4	書  名	美術1 美術との出会い 美術2・3上 学びの実感と深まり 美術2・3下 学びの探求と未来
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 造形的な視点をもとに、3年間を見通したカリキュラムが系統立てられており、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力の育成に配慮がなされている。</li> <li>○ 三つの柱から養う力を学びの目標とし、〔共通事項〕を意識した「表現」と「鑑賞」の一体化を図った内容で、生徒が自ら目標を立てて取り組めるよう工夫されている。</li> <li>○ 発達の特性を考慮した題材設定となっており、各学年に対応した題材が設定され、学習意欲が高められるよう工夫されている。</li> <li>○ 1学年で出会い、2学年に実感し深め、3学年に探求することを目指し、3年間で幅広い表現及び鑑賞活動ができ、学習の充実と発展を図れるよう構成されている。</li> <li>○ いろいろな角度から捉えられる題材が配列されており、内容や資料ともに各学年の領域や各教科等との関連が図られ、各資料に出所、出典が明記されている。</li> </ul>						
2 組織と配 列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 分野や領域、学びの目標が色別やマークで簡明に配置され、造形的な視点、発想・構想、表現の手立てが明記されており、学習効果があがるよう配慮されている。</li> <li>○ 学びの目標が明示され、何をできるようになるか、何を学ぶのが明確で、生徒が自ら学び、学習を深められるよう、扱う題材やまともに工夫が見られる。</li> <li>○ 領域間に題材に関する鑑賞資料、巻末に〔共通事項〕等の参考となる学びを支える資料が掲載され、相互に関連させながら発展的な学習が進められるようになっている。</li> <li>○ 学習指導要領に基づいた「表現」と「鑑賞」がバランスよく学習できる系統性のある題材配列となっており、各学校の年間指導計画に適合できるよう組織されている。</li> <li>○ 様々な国や地域の造形活動や美術作品が掲載され、地域や文化に関心を持ち、造形活動の参考にできるよう配慮されている。</li> </ul>						
3 学習と指 導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 造形的な視点を問い掛けによる明記とし、〔共通事項〕を促す気付きや見方や感じ方の参考とすることで、主体的な学習態度の形成につながるよう配慮されている。</li> <li>○ 題材ごとに鑑賞の入り口を明記し、学びの目標で学習内容を整理し、発想・構想・言語能力等の育成と、主体的・対話的で深い学びを實踐できるよう工夫されている。</li> <li>○ 問い掛けによる動機付けを行い、図版や生徒作品に作者の考えやアイディアスケッチを言語化させ、生徒の個性や能力に広く対応させるような工夫がなされている。</li> <li>○ 生徒の学びの広がりや知識のつながりに配慮し、各教科等との横断的な学びを深め、歴史や文化を知る題材が豊富であり、社会参画の意識を高める工夫がなされている。</li> <li>○ 学習の組立が指導者にもわかりやすく配置され、学習の手引きや図版等のバランスもよく、学習支援として、二次元コードによる動画資料等の充実が図られている。</li> </ul>						
4 表現と体 裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学びの目標や美術との出会い、学びの実感、自分らしい価値観の形成、SDGsに関わる事項、技法の参考資料等、発達段階に応じた表現等で構成されている。</li> <li>○ 題材のねらいが丁寧に示され、魅力的な図版や生徒の活動場面の写真やアイディアスケッチ等を掲載することにより、自ら学びに向かいたくなる配慮がされている。</li> <li>○ ユニバーサルデザインの観点に基づくカラーやフォントが使用され、活字の大きさや字体は適切であり、写真・図版等も高精密印刷が用いられ鮮明である。</li> <li>○ 表紙・裏表紙からつながる巻頭をはじめ鑑賞図版を多く掲載し、作品の特徴をつかみながら魅力を得られるしかけが施され、図版と写真の配置バランスも適切である。</li> <li>○ 印刷には植物油インキを使用し、耐水性のあるコーティングが施され、体裁がよく堅ろうで、環境に配慮している。重さへの配慮として軽量化も図られている。</li> </ul>						

種 目	保健体育	発行者の 番号・略称	2  東 書	教科書の 記号・番号	保体 002-72	書  名	新編 新しい保健体育
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフの実現を目指した内容構成となっており、保健編と体育編両面から教科の目標を明確に反映している。</li> <li>○ 心身の健康の大切さを理解し、健康な体づくりと体力・運動能力の向上を目指すという観点に立った内容で、現代的な諸課題にも対応している。</li> <li>○ 生徒の学習意欲の向上を図るため、資料やデジタル教材が豊富に用意されている。また、協働的な学習が行えるように、話し合いの場面が多く設定されている。</li> <li>○ 学習内容が、自己の生活と関連させながら考えることができるようになっている。学びを生活や社会に生かす態度を養うことができるよう、資料等が工夫されている。</li> <li>○ 保健の技能をはじめ、命や健康を守る技能等がまとめられているなど、学習内容に対する資料が適切に配置されている。また、資料の出所、出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校、高校で学習することを明示し、中学校では学年別に内容が配列されている。学習指導要領に合わせて、組織的・系統的に学習に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>○ 保健体育科の目標を踏まえて、章ごとに「学習すること」が示されており、生徒がねらいを把握し、見通しを持って、主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。</li> <li>○ 章末の「学習のまとめ」には、基礎的・基本的な内容の定着を図る確認の問題と「日常生活に生かそう」等の発展的な学習につながる、活用の問題が掲載されている。</li> <li>○ 学年別に内容が配列され、学習指導要領に示された標準時数で指導できる内容構成となっており、また、各校の指導計画に柔軟に適合できるよう配慮されている。</li> <li>○ 学習や地域の活動に協力して取り組む挿絵や写真、資料が掲載されており、自身の生活や地域の実態と結び付けて、学習を進めることができるよう配慮されている。</li> </ul>						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文内容で身に付けた基礎的・基本的な知識を生かし、それに基づいたディスカッション等が設けられ、思考力・判断力・表現力等の育成が図れるようになっている。</li> <li>○ 各章とも「見つける」で学習課題を自分のものとし「課題の解決」で、資料などを主体的に読み解き理解し、「活用する」では話し合い、説明する活動等が設けられている。</li> <li>○ 生徒の興味・関心に応じて、学びを深め広げることができる図表、読み物、章末資料が豊富に掲載されており、個性や能力に対応できるよう工夫されている。</li> <li>○ 保健分野では、心身相関への科学的な理解や人との関わり大切さを考えられるよう配慮されているとともに、各章扉で、道徳科の各内容項目との関連が示されている。</li> <li>○ 学習の手引きが簡潔に示され、挿絵や図表、写真等も内容に応じて適切に配置されている。また、デジタル教材も豊富で、ウェブページのアドレスが記載されている。</li> </ul>						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発達の段階に応じた適切な用語で、簡潔で分かりやすい表現が用いられている。専門用語にルビを付けるなど、生徒が理解しやすい文章になるよう配慮されている。</li> <li>○ 挿絵や章末資料は、今日的な課題や事例を用いており、また、同年代の活動の様子等、身近に感じる物を使用しているので、親しみを感じられるものとなっている。</li> <li>○ ユニバーサルデザインフォントを使用して読み取りやすさを高めるとともに、配色やデザインに関しても、全ての生徒が見やすいように配慮されたものとなっている。</li> <li>○ 図表等の配置大きさや、バランスに関しては、ユニバーサルデザインの観点から検証され、色覚の多様性などにも配慮されている。</li> <li>○ 3年間の使用に耐えられるように、堅ろうで開きやすい、あじろ綴じで製本されており、また、再生紙・植物油インキを用いて環境・健康への配慮もされている。</li> </ul>						

種 目	保健体育	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	4  大日本	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	保体 702	書  名	中学校保健体育
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフの実現を図る内容構成となっており、主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。</li> <li>○ 実践力につながる効果的な学習が行われるように、単元のまとまりを重視した構成となっており、章末資料も生活との関連が図れるよう工夫されている。</li> <li>○ 1時間の学習内容が見開き構成となっており、内容に応じたトピックスを必ず掲載することで生徒の興味・関心を高めるような工夫がなされている。</li> <li>○ 「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」などいろいろな学習活動に取り組むことで、学習の充実と発展を図ることができるよう配慮されている。</li> <li>○ 学習内容に合った適切な資料が配置されており、学習効果を上げられるようになっている。また、資料については、出所、出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組織と配 列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 体育編・保健編ともに、指導内容を体系化しており、身近な生活における健康・安全に関する基礎的な内容を分かりやすく、実践的に学習できるよう工夫されている。</li> <li>○ 生徒が主体的に学習に取り組めるように、学習内容を通して解決したい学習課題が「学習のねらい」として明確に示されている。</li> <li>○ 各章末に「重要な言葉」を掲載し、基礎的・基本的な内容の定着を図るとともに、「学びを活かそう」では発展的で実践的な学習が進められるように配列されている。</li> <li>○ 学年ごとに学習指導要領に示された標準時数内での内容となっており、各校の年間指導計画に広く適合することができるよう配慮されている。</li> <li>○ 単元の学習内容が1単位時間ごとにまとめられており、時期を問わず指導を行うことができるよう工夫されている。</li> </ul>						
3 学習と指 導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 見開き構成を生かし、身に付けたい学習内容が左ページにまとめられ、各ページの「活用して深めよう」により、学びを更に深める活動となるよう配慮されている。</li> <li>○ 全ての小単元で本文と資料が分けて示され、章ごとの「学びを活かそう」を活用した課題解決学習により、主体的・対話的で深い学びを実現する紙面構成となっている。</li> <li>○ 本文と資料が分けて掲載され、生徒が自学自習を行いやすくなっている。参照すべき資料がまとまっているため、文章に集中しやすくなるような工夫がなされている。</li> <li>○ カリキュラム・マネジメントを実現できるよう、教科内や他教科、家庭・地域とのつながりが分かりやすく示され、系統的な学びが実現できるよう工夫されている。</li> <li>○ 挿絵や図表、写真等が内容に応じて適切に配置されている。「中学校保健体育WEB」が掲載され、動画や資料を使って学習できるようになっている。</li> </ul>						
4 表現と体 裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒が読みやすいよう、振り仮名を付けるなどの配慮がされている。また、教材の難易度や文章の分かりやすさが発達の段階に応じて工夫されている。</li> <li>○ アスリートからのメッセージやオリンピック・パラリンピックの歴史等を掲載し、生徒が関心を持てるような工夫がなされている。</li> <li>○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、カラーユニバーサルデザインを踏まえた色遣いにしたりするなど、読みやすさへの配慮が見られる。</li> <li>○ グラフや表、図や写真等の資料は、生徒が視覚的に捉えやすいように工夫されている。また、実習で活用しやすいように折り込みによる資料が配置されている。</li> <li>○ 環境負荷の少ない植物油インキを使用し印刷されている。また、製本は特殊加工もされ、長期の使用にも耐えられるようになっている。</li> </ul>						

種 目	保健体育	発行者の 番号・略称	50	教科書の 記号・番号	保体 050-72	書 名	最新 中学校保健体育
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生涯にわたって健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質や能力を育成する内容構成となっており、実践力を養う内容が豊富である。</li> <li>○ 体と心の成長を促し、健康的な生活習慣やスポーツに親しむ習慣を身に付けるための知識がまとめられている。また、社会の急速な変化にも対応している。</li> <li>○ オリンピックやパラリンピック、スポーツ活動の魅力を伝える様々な写真やイラストが用いられ、豊かなスポーツライフを思い描けるように配慮がなされている。</li> <li>○ 学習内容が精選され、「つかむ」「身につける・考える」「まとめる・振り返る」の3ステップで構成され、学習の充実を図ることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 学習内容に合った資料が豊富に掲載されており、巻末に「資料の出典一覧」が教科書のページごとに明示されている。</li> </ul>						
2 組織と配 列に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に示された学年配当に従って構成されている。また、各項目見開き2ページで1単位時間の構成とし、見通しを持って学習できるよう配慮されている。</li> <li>○ 「きょうの学習」として、本時の学ぶべき内容が明確に示されている。また、各章のとびらでは、学習内容や小・中・高の系統性を明記する配慮がなされている。</li> <li>○ 学習の流れや学び方を「この教科書の使い方」として明確化することで、基礎的・基本的な内容から発展的な学習まで主体的に取り組めるように配慮がなされている。</li> <li>○ 学習指導要領で示された所定配当時間内での指導ができる内容構成であり、各学年の学習項目の数が均等になるように配列する工夫がなされている。</li> <li>○ 社会の一員としての自覚を促す事例やコラムが用意されており、生徒の生活や各地域の実態に広く適合できるよう工夫されている。</li> </ul>						
3 学習と指 導に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活経験や学んだ知識を基にして思考・判断する学習課題、学んだ知識や考えをまとめて発表する活動や話し合い活動を配置するなどの工夫がなされている。</li> <li>○ 主体的・対話的で深い学びを実践するために、「Webワークシート」による意見共有やグループ活動、実習活動の設定によって学びを深める工夫がなされている。</li> <li>○ 現代社会に関わる健康課題も積極的に取り上げられており、学習内容を確認するための「保体クイズにトライ」の二次元コードを掲載するなど工夫がなされている。</li> <li>○ 各教科等に関連する内容には関連マークが示され、教科名と履修学年が明記されていることで、教科横断的な学習ができるよう配慮されている。</li> <li>○ 教科書資料のイラスト等を「動画コンテンツ」として、資料の映像化がなされている。また、関連する情報を調べられるよう「Web保体情報館」が設けられている。</li> </ul>						
4 表現と体 裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習のポイントとなる重要語句がキーワードとしてまとめられている。また、生徒が読みやすいようにルビを付けるなどの配慮がなされている。</li> <li>○ スポーツの歴史や有名人のコラムなどを取り上げることで、スポーツや健康への魅力を感じ、共生社会への意識が高まるよう配慮されている。</li> <li>○ 見出しや本文、資料、重要語句ごとに文字の大きさや字体を変えてあり、ユニバーサルデザインフォントが使用され、色彩や印刷も鮮明である。</li> <li>○ 図表や写真は、本文の内容に関連するものと補助資料を組み合わせ掲載されており、レイアウトやバランスともに見やすいように工夫がなされている。</li> <li>○ 植物油インキや環境に配慮した紙が使用されている。また、製本は体裁がよく堅ろうである。</li> </ul>						

種 目	保健体育	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 2 4  学 研	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	保 体  2 2 4 - 7 2	書  名	新・中学保健体育
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生涯を通じて心身の健康の保持増進や、心と体を一体として捉える観点を重視し、保健編と体育編の両面から、教科の目標を的確に反映した内容構成となっている。</li> <li>○ 心身の健康の大切さを理解し健康な体づくりを目指し「よりよく生きる」為に、中学校生活の学習及び経験が、深く関連していることを分かりやすく示されている。</li> <li>○ 生徒の発達の段階を考慮し、各章末に「探求しようよ」を設け、興味・関心や習熟度に応じて学習できるような工夫が見られる。また、個別最適な学びにも配慮している。</li> <li>○ 学習内容が、自己の生活と関連させながら考えることができるようになっている。学んだことが、自身の生活や社会に生かすことができるよう工夫されている。</li> <li>○ 内容は、学習指導要領と適切に関連し、資料は、最新で信頼性の高いものが、取り上げられている。また、資料の出所、出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学年別に配列し、各学年の学習内容が明確である。また、各章で、小学校、高校の学習内容が見通せるようになっており、系統的な学習ができるよう配慮されている。</li> <li>○ 各章ごとに「学習の課題」がはじめに示されており、生徒が、ねらいを把握するとともに、見通しを持って主体的に学習に取り組めるよう配慮されている。</li> <li>○ 基礎的・基本的な事項が本文にまとめられ「章のまとめ」によって習得した知識を確認でき、「生かそう」で発展的な学習につなげられるように配列されている。</li> <li>○ 学年別に内容が配列され、学習指導要領に示された標準時数で指導できる内容構成となっている。各校の指導計画に広く適合できるよう配慮されている。</li> <li>○ 章末に「振り返ろう」「確かめよう」「生かそう」を設け、関連する資料を豊富に掲載しており、生徒の生活や地域の実態に応じて、広く適合できるよう工夫されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元で、基礎的・基本的事項をまとめたり、深めたりする場面が設けられている。また、二次元コードから参照動画を見て、実習で活用できる場面等が設けられている。</li> <li>○ 各単元とも「ウォームアップ」「学習の課題」「課題の解決」「学びを生かす」の学習の流れを示し、主体的・対話的で深い学びの学習展開が図れるよう工夫されている。</li> <li>○ 生徒の多様な個性や能力に対応するために、性の在り方にも配慮した表現等を用いている。また、学びを深め、広げるために豊富な写真や章末資料が掲載されている。</li> <li>○ 学習内容と各教科の関連について、分かりやすく一覧表で示されている。また、自分自身や人との関わりに関すること等、道徳科との関連についても配慮されている。</li> <li>○ 挿絵や図表、写真等が内容に応じて適切に配置されている。また、教科書紙面に二次元コードを配置し、豊富な関連資料や動画を閲覧できるよう配慮されている。</li> </ul>						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 専門用語には、ルビを付けるなどの工夫がされている。また、本文は発達の段階に応じた見やすい文字の大きさ、理解しやすい文章の内容となるよう配慮されている。</li> <li>○ 口絵や章末資料、読み物で今日的な課題に関わる資料を多く掲載し、生徒の興味・関心を引き出し、学びに向かう力、人間性の育成がなされるよう工夫されている。</li> <li>○ 字体は、本文や見出しにおいてユニバーサルデザインフォントを使用し、配色、表現についても、誰もが見やすくわかりやすい内容となるよう配慮されている。</li> <li>○ 資料や図表等は、最新で信頼性のある適切なものを取り上げ、配置及びレイアウトのバランスについても見やすく、活用しやすいよう工夫されている。</li> <li>○ 製本はあじろ綴じで、特殊加工を施して3年間の使用に耐えられる堅牢さである。また、環境に配慮した紙、植物油インキ及び印刷方式を使用している。</li> </ul>						

種 目	技術・家庭 (技術分野)	発行者の 番号・略称	2  東書	教科書の 記号・番号	技術 002-72	書 名	新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 技術の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な活動を通してよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することができるよう構成されている。</li> <li>○ 多様な問題解決例が取り上げられており、学校の実態や生徒の個性に応じた実践的・体験的な学習活動が行えるよう工夫されている。</li> <li>○ 小学校での学習を踏まえ、中学生の発達の段階の特徴を考慮した内容を扱い、生活を工夫し創造しようとする態度を養うよう配慮されている。</li> <li>○ 発達の段階に合わせて、身の回りから社会の問題解決まで幅広く収載されており、自らの問題解決に主体的に取り組むことができるよう工夫されている。</li> <li>○ 本文、図表、写真とも正確かつ公正に記述されている。また、資料、統計等の出典、出所が明記されている。</li> </ul>						
2 組織と配 列に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「生活や社会を支える技術」「技術による問題の解決」「社会の発展と技術」の三つの要素に沿った章構成とし、学習が系統的に進められる配列となっている。</li> <li>○ 編の導入には「この編で学ぶこと」、各節の冒頭には「目標」という学習の到達目標を示し、見通しを持って学習を進めることができるよう配慮されている。</li> <li>○ 問題解決をするための技能は、副題材の実践例や「TECH Lab」にまとめ、取り組む課題に応じて習得した技能を適切に選択できるよう工夫されている。</li> <li>○ 各内容の分量は、時数、学期、学年配分から見て偏りがなく適切である。また、幅広い難易度の問題解決例をもとに習熟度や技能に応じて選べるよう工夫されている。</li> <li>○ 豊富な問題解決例を提示し、地域や学校の実態に応じて、選択して指導できるよう配慮されている。</li> </ul>						
3 学習と指 導に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 主体的に思考・判断・表現しながら技術による問題解決に取り組むことを重視することにより、技術の学習方法を身に付けることができるような配慮がなされている。</li> <li>○ 様々な思考ツールを取り上げ、また、主体的に調べたり、友達と協働して比較・検討したりするための発問を設けるなど、深い学びの実現のための工夫が見られる。</li> <li>○ 随所に具体的な学習活動や問い、思考の助けとなるような資料を示し、主体的に問題解決的な学習を進められるよう配慮されている。</li> <li>○ リンクマークにより他教科等との関連が図られている。また、随所に「技術の匠」として開発者や技術者を紹介しており、勤労観や職業観の育成にもつながっている。</li> <li>○ 写真やイラストなどの資料を効果的かつ豊富に用いているほか、デジタル教材も充実しており、学習への興味・関心を高めるよう工夫されている。</li> </ul>						
4 表現と体 裁等 に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小中学校の国語指導との関連を図り、発達の段階に応じた適切な用語等を用いるとともに、中学校以降で学習する常用漢字には全て振り仮名を付している。</li> <li>○ 生徒キャラクターやナビゲーションキャラクター、漫画によって、教科書に親近感を持たせるようにしている。</li> <li>○ 色覚特性に配慮し、ユニバーサルデザインフォントを使用している。また、文章は本文、図表中とも読みやすい大きさと行間になっている。</li> <li>○ 見開き構成となっており、大きく鮮明な写真や図版を多数掲載し、生徒の学習への意欲を喚起するよう工夫されている。</li> <li>○ 表紙は汚れにくく、強度を高める加工が施されており、長期の使用に耐える製本である。再生紙やベジタブルオイルインクを使用し、環境への配慮がなされている。</li> </ul>						

種 目	技術・家庭 (技術分野)	発行者の 番号・略称	6	教科書の 記号・番号	技術 006-73  006-74	書 名	新技術・家庭 技術分野 明日を創造する 新技術・家庭 技術分野 明日を創造する スキルアシスト
			教図				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、技術の見方・考え方を養い、技術による問題解決に主体的に取り組むことができる内容となっている。</li> <li>○ 身近な生活や社会を支えている技術の利用方法が幅広く紹介されており、見通しを持って学習に取り組める内容となっている。</li> <li>○ 中学校で技術を学ぶ意義や社会の中での問題解決の大切さに気付かせ、進路選択や職業観・勤労観の育成に寄与できる内容となっている。</li> <li>○ 生徒自らが実習で用いる技能等が別冊のスキルアシストにまとめられており、個々の興味・関心に応じた学習が展開できるとともに、安全面の配慮もなされている。</li> <li>○ 学習内容の精選と重点化が図られ、関連する図版や写真の出所、出典も明示されている。</li> </ul>						
2 組織と配 列に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に沿った配列となっており、学習が系統的に進められるよう、基礎・基本から応用・発展へと段階を踏んで記述されている。</li> <li>○ 技術分野の目標を踏まえ、題材ごとに「めあて」と「ふり返る」が設定されているなど、習得度合を自ら確認できるよう工夫されている。</li> <li>○ 「見つける」→「学ぶ」→「ふり返る」の流れで学習の確認ができる内容となっている。また、別冊のスキルアシストに実習等の実践的な資料が豊富に掲載されている。</li> <li>○ 系統的な内容の配列で、評価しやすい構成となっている。また、各内容の分量は、時数、学期、学年配分に配慮し、偏りなく扱える構成となっている。</li> <li>○ 地域の職業人へのインタビューや先輩からのメッセージ、日本の伝統技術が紹介されており、生活や地域の実態に応じた学習活動ができるよう配慮がなされている。</li> </ul>						
3 学習と指 導に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎的・基本的な知識・技能の習得後、これらの既習事項を活用して問題解決学習に主体的に取り組めるような配慮がなされている。</li> <li>○ 技術について調べたり、考えたりする活動やグループでの発表等を通して、主体的で対話的な学びができるよう配慮されている。</li> <li>○ 生徒の理解度や興味・関心に応じて積極的に学習を進めることができるよう、コラムやイラスト、写真等を掲載し、生徒の学習意欲を喚起させる構成となっている。</li> <li>○ 小学校や他教科等との学習の関連がマークとともに示されている。また、生命尊重や環境保全についても配慮がなされている。</li> <li>○ イラストや図表、二次元コードなどが適切に配置されている。また、別冊のスキルアシストには工具の使い方やプログラミングの実習題材が詳細に記載されている。</li> </ul>						
4 表現と体 裁等 に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒目線を重視した表記・表現となっている。中学校の配当漢字には振り仮名が付けられており、重要な語句は一目で分かるように青色で太字になっている。</li> <li>○ 問題解決の場面では4コマ漫画を用いたり、対話形式で発問や補足をしたりすることで、生徒が親しみを持って学習に取り組めるよう配慮がなされている。</li> <li>○ 書体や色彩にはユニバーサルデザインが用いられている。印刷は明るく目に優しい色遣いで、読みやすいよう配慮されている。</li> <li>○ 学習理解を促すために必要な写真・イラスト・図表等が適切な箇所に掲載されている。巻末にワークシートをとじ込み、学習を進めやすいよう配慮されている。</li> <li>○ 軽く、裏移りのない紙が採用されている。表紙は防水加工が施され、作りも堅ろうである。再生紙、ベジタブルオイルインクを使用し、環境にも配慮が見られる。</li> </ul>						

種 目	技術・家庭 (技術分野)	発行者の 番号・略称	9	教科書の 記号・番号	技術 009-72	書 名	技術・家庭 技術分野 テクノロジーに希望をのせて
			開隆堂				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各内容共通して、「基礎・基本」「問題解決」「技術と私たちの未来」という構成に設定されており、各段階で見方・考え方を働かせながら学べるようになっている。</li> <li>○ 技術分野の基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得できるようにするとともに、科学的な根拠をもとに技術を理解・習得できるよう内容が工夫されている。</li> <li>○ 生徒の発達の段階や生活経験を踏まえ、各内容で具体的な製品からしくみなどを考えられるように構成されており、興味を持って学習できるよう工夫されている。</li> <li>○ 社会における技術に気付き、基礎的・基本的な知識・技術の習得を通して、社会や環境と技術との関わりについて理解を深められるよう配慮がなされている。</li> <li>○ 特定の事項・事象・分野等に偏ることなく、全体の調和が取れている。また、伝統技術や最先端技術等の図版や写真は出所、出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎・基本の習得から応用・発展的な学習へと系統的に展開されており、カリキュラム・マネジメントの観点からも適切な使い方ができるよう工夫されている。</li> <li>○ 技術分野の目標を踏まえ、日常生活や社会との関わり、持続可能な社会の構築に向けた視点を示し、将来をイメージしながら学習に取り組めるよう構成されている。</li> <li>○ 科学的な根拠をもとに技術を理解できるよう、「実験」や「調べ学習」が示されている。また、マークを付けることで発展的な学習を進めるための配慮がなされている。</li> <li>○ 系統的・発展的に組織されており、分量も時数や多様な指導計画に対応できるよう配慮されている。</li> <li>○ 生徒の生活経験や発達の段階を考慮して内容を配列しており、地域の実態に応じた学習活動ができるよう配慮されている。</li> </ul>						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 実践的・体験的な学習活動を通して、生活をよりよくすようとする意欲を引き出し、課題を設定して解決を図る力を身に付けることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 学習課題を通して生徒が積極的に取り組むよう配慮がなされている。また、実験等で協力し、結果を検証するような協働的な活動ができるよう配慮がなされている。</li> <li>○ 各内容の適切な箇所に二次元コードを記載されており、個々の生徒が自ら確認することで、個別最適な学びを実現できるよう工夫されている。</li> <li>○ 文中で小学校や他教科等との関連がある箇所にはマークが示されており、学年・教科等横断的なカリキュラムが立てやすいよう配慮がなされている。</li> <li>○ 全ての学習課題にデジタル教材が収録されており、学習内容を理解できるよう工夫されている。</li> </ul>						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文章は単語が途中で改行されないようになっており、単語として認識しやすくなっている。</li> <li>○ 生徒が理解しやすいよう、自ら作業しているように見える角度からの写真を使用している。また、使用しているキャラクターは多様性への配慮が見られる。</li> <li>○ 発達の段階に配慮して可読性の高いユニバーサルデザインフォントを使用し、読みやすく適切な大きさとなっている。また、色覚特性にも配慮がなされている。</li> <li>○ 各ページ右上部のつめ見出しに、学習内容に関連した工具や部品を紹介している。レイアウトは見開きを有効に活用しており、本文及び参考資料との区別も明確である。</li> <li>○ 環境・資源に配慮し軽量化された用紙、ベジタブルオイルインクが使用されている。また、製本は強固に接着されており、堅ろうで長期の使用に耐えるものとなっている。</li> </ul>						

種 目	技術・家庭 (家庭分野)	発行者の 番号・略称	2  東 書	教科書 の記号・番号	家庭 002-72	書  名	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に示された目標や内容を踏まえ、自立と共生を目指し、主体的に思考・判断・表現をしながら課題解決ができるよう工夫されている。</li> <li>○ 生徒の興味・関心の高い題材を掲載し、実践的・体験的な学習を通して知識・技能を身に付け、生活に生かしていこうとする実践的な態度を育てるよう工夫されている。</li> <li>○ ガイダンスのチェック項目においては学習前後の自己変容を見取ることができ、各編においても自分の課題を設定し、自己解決を促すよう工夫されている。</li> <li>○ 基礎的・基本的な学習内容を踏まえて生徒の興味・関心に応じて学習が深められるように発展的な内容が記載されている。</li> <li>○ 学習内容に応じた食品成分表や取り扱い表示資料・図表等が適切に掲載されている。どの資料にも出所、出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容Aの幼児や高齢者の学習が後半に配置されており、高等学校への円滑な接続を促すなど、系統的に学習が進められるように配慮がなされている。</li> <li>○ 各編は、「編の導入→基本ページ→学習のまとめ」の構成で統一され、実習例や資料はその構成の中で適切に取り上げられている。</li> <li>○ 知識・技能の確実な定着を図るために写真や図入りの資料が配置されている。また、学習が系統的に進められるように基礎・基本から応用・発展へと段階を踏んで記述されている。</li> <li>○ 各内容と分量は適切であり、各学校の実情に合わせて年間指導計画が作成できるよう配慮がなされている。</li> <li>○ 多様な実習例を数多く取り上げ、学校の実態や生徒の個性に応じた、実践的・体験的な学習活動が行えるよう工夫されている。</li> </ul>						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生活の課題と実践には実践例が多く記載されており、生徒自身が生活の中から課題を見つけ主体的に解決していく力が身に付くよう工夫されている。</li> <li>○ 伝統的な文化について理解を深めながら、今日的課題への取組や持続可能な社会に対応できるような例が示されており、主体的・対話的で深い学びを促すよう配慮されている。</li> <li>○ 基礎的・基本的な知識・技能をいつでも確認できるよう既習事項をマークで示したり、幅広い難易度の実習課題を掲載したりするなど、生徒の多様な個性や能力に配慮がなされている。</li> <li>○ 生徒が学習を深め、教科等横断的な学力の定着が図れるよう、他教科等と関連する内容を他教科マークで示すなどの配慮がなされている。</li> <li>○ 基礎技能についての写真や、授業で習得した技能を家庭で実践・活用できるようなデジタル教材を多く取り入れるなどの工夫がなされている。</li> </ul>						
4 表現と 体裁等 に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発達の段階に応じた適切な用語等を用い、中学校以降で学習する漢字には全て振り仮名を付けるなど、読みやすさに配慮がなされている。</li> <li>○ イラストやレイアウトなどを工夫し、生徒等のキャラクターを用いることにより教科書に親近感を持たせるようにしている。</li> <li>○ カラーユニバーサルデザインの観点から、配色とデザインについて検討され、色覚特性への配慮が見られる。</li> <li>○ 大きな判型を生かし、ダイナミックな写真を用いることで実感を伴わせ、生徒が実生活に生かすことができるよう配慮がなされている。</li> <li>○ 三年間の使用に耐えうるよう表紙は汚れにくく、強度を高めるための加工が施されている。再生紙やベジタブルオイルインクを使用しており、環境面に配慮している。</li> </ul>						

種 目	技術・家庭 (家庭分野)	発行者 の番号 ・略称	6  教 図	教科書 の記号 ・番号	家庭 006-72	書 名	新技術・家庭 家庭分野 暮らしを創造する
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に示されている目標や内容を踏まえ、学習した知識・技能を使った実践的・体験的な課題解決学習ができるよう工夫されている。</li> <li>○ 他教科や小学校の学びと経験を押さえ、幅広い知識と教養が身に付けられるよう配慮がなされた内容になっている。</li> <li>○ 各編の導入に客観的に自己を振り返り、評価する内容が掲載されている。また、ガイダンスで人や社会とつながることの重要性について取り上げており、学びに対する興味・関心が高まるよう工夫されている。</li> <li>○ 基礎的・基本的な知識・技能について学習した後、実践的な課題に取り組むことができるように配列が工夫されている。</li> <li>○ 食材の写真や各国の現状を比較することができる資料が偏りなく、バランスよく配置されている。また、出所、出典も明示されている。</li> </ul>						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各内容は導入→自己分析→基礎的・基本的な学び→自己評価→発展的な学習で構成されており、問題解決的な学習を通して資質・能力が身に付くよう工夫されている。</li> <li>○ 節の始めにめあてが明示されており、ねらいが明確である。また、内容は見開きで展開されており、まとまりがある。</li> <li>○ 基礎的・基本的な知識・技能が身に付くような学習内容を示した後、学びを生かす実践的・体験的な活動が設定されている。取組例も掲載されており、生徒たちが活用する姿を具体的にイメージしやすいよう工夫されている。</li> <li>○ 三つの分野の構成は、内容と分量が適切であり、生徒や地域の実態に合わせて幅広く指導できる内容になっている。</li> <li>○ 地域の人々との協働、高齢者の介助の活動例、幼児との触れ合い実習の様子等を掲載し、地域に合わせた取組ができるよう配慮がなされている。</li> </ul>						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎的・基本的な知識・技能の習得を支えるための視覚的資料が豊富である。実践や活用を意識した課題が示され、主体的な学習につながるよう工夫されている。</li> <li>○ ロールプレイングや調べ学習等実践的・体験的な活動を多く取り入れており、生徒が興味・関心を持って主体的に学ぶことができるよう工夫されている。</li> <li>○ 実習を中心に理解度や個に応じた事例が多く示されおり、生徒が自己の学びを調整しながら学習できるよう工夫されている。</li> <li>○ 他教科等の学習との関連がマークで示され、幅広い知識と教養が身に付けられるよう配慮がなされている。</li> <li>○ 章末に学習の振り返りがあり、生徒の学びを支えている。また、図表や写真は事故防止や衛生面の配慮と関連付けながら適切に配置されている。</li> </ul>						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 音読のしやすさを考慮した簡潔な文章になっており、漢字は基本的に常用漢字を使用している。</li> <li>○ キャラクターを用いたり、イラスト、写真を多く使用したりするなど生徒の興味をひきつけ、親しみを持って学習できるよう工夫されている。</li> <li>○ カラーユニバーサルデザインの観点から重要語句を青色の太字にしたり、グラフの隣り合う色を配慮したりするなど、生徒が見やすい紙面となるよう工夫されている。</li> <li>○ 写真や図などの資料が大きくバランスよく配置されている。文字組なども適切であり、学習展開に配慮した見やすく分かりやすいレイアウトになっている。</li> <li>○ 製本は堅ろうで、ベジタブルオイルインクを使用するなど、環境面にも配慮がなされている。</li> </ul>						

種 目	技術・家庭 (家庭分野)	発行者の 番号・ 略称	9  開隆堂	教科書 の記号 ・番号	家庭  009-72	書  名	技術・家庭 家庭分野 自立しともに支え合う生活へ
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領の趣旨を踏まえ、生きる力を育むために生活的自立の意味を理解し、各自が目標を持って実践できる内容と他者との共生を目指す内容で構成されている。</li> <li>○ 小学校の学習と関連する項目にマークが付けられ、既習事項を振り返り、学習に生かせるよう工夫されている。</li> <li>○ 自立をテーマに生活を問い直し、よりよい生活ができるよう、考え、体験する学習が充実している。学習したことを生活に生かし、課題を持って主体的な取組ができるよう多様な課題例を掲載している。</li> <li>○ 学習で習得した知識・技能などを実生活で活用するために多種多様な課題が豊富に設定され、実践的な力を身に付ける内容になっている。</li> <li>○ 内容や資料に偏りがなく、出所、出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習のまとまりごとに見通しをもち、生活から課題が見つけれられるよう本文等が配置されており、生徒が主体的に課題に取り組むことができる流れが作られている。</li> <li>○ 各項目に学習目標が明確に示してある。また、学習のまとまりごとに学習のまとめがあり、自己評価ができるとともに、身に付いた知識・技能を生活につなげることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 各内容、項目とも基礎的・基本的な知識・技能の習得から、発展的な学習へと段階を踏んで系統的に学習を進められるよう工夫されている。</li> <li>○ どの項目に関しても問題発見→課題設定→計画→実践→評価・改善の順で学習を進める構成になっており、各学校の実態に合わせて実践できるよう配慮されている。</li> <li>○ 基礎的・基本的な知識・技能を適切に習得できるように配列が工夫されている。地域や生徒の実態等によって順序の組み換えがしやすくなるよう工夫されている。</li> </ul>						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ガイダンスの中での問い掛け、振り返りと生活の中から自分の問題を発見することをねらいとしており、主体的な学習態度の形成に配慮がなされている。</li> <li>○ 生徒同士で対話をし、意見を交換できるような学習活動を多数取り入れており、身近な人との会話を通して考えを広げて深めることができる構成になっている。</li> <li>○ 多種多様な実習例や海外で活躍する選手、LGBTQなど現代社会で取り上げられている事例も掲載し、生徒の個々の興味・関心に対応している。</li> <li>○ 幅広い知識と教養が身に付けられるよう、他教科等と関連するページには右上にマークを記載している。</li> <li>○ 実物大の写真や挿絵、図表が適切に配置されている。実習・製作のページには二次元コードが記載されており、生徒が主体的に学習に取り組めるよう工夫されている。</li> </ul>						
4 表現と 体裁等 に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本文では文節が途中で途切れないように配慮がされていたり、中学校で学習する漢字については、初出箇所には振り仮名が付いていたりするなどの配慮がなされている。</li> <li>○ 生徒が関心を持って学習を進められるよう、マークの記載、写真やキャラクター等が活用されている。</li> <li>○ 印刷は鮮明でカラー効果がいかにされている。また、ユニバーサルデザインフォントが使用されており、生徒個々への配慮がなされている。</li> <li>○ 図表や写真等は、効果的な表現や分量で示されており、実習や製作の説明は横流れで記載されているため、生徒が主体的に学習に取り組めるレイアウトになっている。</li> <li>○ ベジタブルオイルインク、再生紙を使用しており、環境面にも配慮がなされている。また、製本は堅ろうで、長期の使用に耐えるものになっている。</li> </ul>						

種 目	英 語	発行者の 番号・ 略称	2	教科書の 記号・ 番号	英語 002-72 002-82 002-92	書 名	NEW HORIZON English Course 1 NEW HORIZON English Course 2 NEW HORIZON English Course 3
			東 書				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 対話的な活動や協働して問題解決にあたる活動を繰り返し行い、知識・技能を身に付け、コミュニケーションを図る資質・能力を育成するよう工夫されている。</li> <li>○ 単元の冒頭に CAN-DO リストに基づいたゴールを単元の目標とともに提示し、明確なゴールに向かって学習を進め、振り返りや自己評価ができる工夫がされている。</li> <li>○ 1学年の身近な話題から3学年で扱う社会的な話題まで、発達段階を考慮した題材や活動を取り上げ、知的好奇心や学習意欲を高める工夫が図られている。</li> <li>○ 多文化共生やSDGsなどを取り上げ、学ぶことの意味や自分の生活、社会、世界の在り方と結び付け、主体的に考えさせる工夫がなされている。</li> <li>○ 多様な世界の国々・地域を扱い、異文化に対する理解を深めさせ、ダイバーシティについて深く考える場を設けている。グラフには出所、出典が明記されている。</li> </ul>						
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 語彙や表現の使用場面、言語の働き等が難易度の低いものから高いものへと段階的に配列され、スモールステップでゴールの活動につながる単元構成となっている。</li> <li>○ 小中高の系統的な学びを促すため、CAN-DO リストで各学年・各学期の到達目標が明確に示され、生徒が巻頭で目標を把握し、巻末で振り返りができる工夫がなされている。</li> <li>○ 800語の発信語彙を繰り返し提示し、既習事項をスパイラルに学習できる構成になっている。単元の終わりには、相手意識を重視した統合的な活動が設定されている。</li> <li>○ 1ページあたり1単位時間程度の扱いである。年間指導計画の時数に対して余裕があり、生徒の実態に合わせて指導の工夫が図れるよう配慮されている。</li> <li>○ 1学年では自分や身近な人やものについて紹介し、2、3学年では日本の伝統や文化、自然に関する題材を扱って世界に日本を発信する活動が設定されている。</li> </ul>						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「Unit」「Real Life English」「Stage Activity」と段階的に学び、知識・技能の習得と活用を繰り返しながら、思考力・判断力・表現力等の育成を図る工夫がされている。</li> <li>○ ペアやグループで協働して課題解決に取り組む活動が多く取り入れられ、対話的な活動において自分の考えを深め、表現する言語活動につながるよう工夫されている。</li> <li>○ 学習の流れを見通すことができるパート構成となっている。個別最適な学びに適したデジタル教材が充実している。</li> <li>○ 国語の学びと関連させながら言語力を育成するための題材や、平和や国際理解などの現代的な諸課題に対応する題材など、他教科等との関連が図られている。</li> <li>○ 英語学習のポイントなどについて、3学年を通して系統的に取り上げている。また、二次元コードから3学年分のデジタル教材にアクセスできる工夫がなされている。</li> </ul>						
4 表現と 体裁等 に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1学年では、小学校用の教科書と同じく、視認性や書きやすさに配慮された字体を使用している。小中高のつながりを持った段階的な表現の工夫がなされている。</li> <li>○ 登場人物が繰り広げる学校生活内外の学習や様々な体験が、親しみを感じさせる。さらに、生徒の興味・関心を喚起させる多くのイラストや写真が掲載されている。</li> <li>○ 字体はユニバーサルデザインを使用し、ユニバーサルデザインの観点から配色やデザインの効果的な工夫がなされている。</li> <li>○ 本文に関連した写真やイラストが大きく掲載されており見やすい。本文や新出語句、Key Sentence など、デザインや配置を統一する配慮もなされている。</li> <li>○ A4版の大きさで、手書きで書き込む十分なスペースが確保されている。また、軽量化された薄くて裏写りにくい用紙を使用し、製本は堅ろうで体裁が整っている。</li> </ul>						

種 目	英 語	発行者の 番号・ 略称	9	教科書 の記号・ 番号	英語 009-72 009-82 009-92	書 名	Sunshine English Course 1 Sunshine English Course 2 Sunshine English Course 3
			開隆堂				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全学年を通して單元ごとに4技能5領域の言語活動がバランスよく配置されており、コミュニケーションを図る資質・能力を総合的に育成するよう工夫されている。</li> <li>○ 生徒が目的や場面、状況等を意識し、外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせながら言語活動に取り組めるよう、到達目標が明示されている。</li> <li>○ 「Scenes」では、小学校と同様に漫画やアニメ動画等で新出表現を導入し、小学校から中学校への滑らかな接続を図っている。また、学年が上がるにつれ、社会的な課題に広げるなど発達の段階に応じた内容になっている。</li> <li>○ 4技能を総合的に育成するために、新出表現の習得を経て、複数の技能・領域を組み合わせながら、思考力・判断力・表現力等を育成する構成になっている。</li> <li>○ 自国や他国の文化、多様性や人権、防災教育、環境・自然エネルギー、キャリア教育等、様々な観点に基づく配慮がなされ、出所、出典が明らかになっている。</li> </ul>						
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元を通じて4技能5領域を総合的に扱う言語活動が設定されており、生徒が導入から自己表現までの流れを意識して学習できるよう配慮されている。</li> <li>○ 各単元に「Goals (目標)」、本文を読む前の問い掛け、「Review &amp; Retell」「Action」が明示されており、学習目標の達成状況を振り返ることができる構成になっている。</li> <li>○ 基礎的・基本的な事項に精選されており、「Our Project」では、学年が上がるにつれて難易度が上がり、生徒の発達の段階に応じた活動ができるよう配慮されている。</li> <li>○ 本文ページ及び言語材料の分量は、週4時間の指導時数に対して適切であり、年間140時間での指導・学習が余裕を持ってできるように設定されている。</li> <li>○ SDGsの項目が、全学年を通してバランスよく取り上げられている。また、日本の各地域に関する題材を扱い、郷土への理解を深められるよう配慮されている。</li> </ul>						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元の前半では新出表現に関する知識・技能を習得させる活動、後半では課題解決的な活動が設けられ、思考力・判断力・表現力等を育成する構成になっている。</li> <li>○ 「Step」では、マッピングや文章の構成、ディスカッションの進め方など、英語学習における有用な手立てを系統的に扱い、主体的・対話的に学ぶ工夫がなされている。</li> <li>○ 二次元コードから音声、アニメーション、発表モデル動画、学習アプリ等にアクセスし、生徒が自己調整を図りながら主体的に学ぶための工夫がなされている。</li> <li>○ 他教科等との横断的な指導がしやすい題材を多く取り上げている。日本食等の身近なテーマから、社会問題、平和や国際問題等まで、テーマは多岐にわたっている。</li> <li>○ 全学年の pp. 4-5 に「教科書の構成」が配置され、各目標が見えることで、生徒がスモールステップを積み重ねて学習に主体的に取り組めるよう配慮されている。</li> </ul>						
4 表現と 体裁等 に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全学年において、運用度の高い基本的な表現や語彙・連語が精選されており、適切な箇所に解説が付され、易から難へとなだらかに配置されている。</li> <li>○ 各単元の「Tuning in」では、大きな写真を活用して題材についての興味・関心を喚起し、生徒の持っている知識を生かしながら学習させる工夫がなされている。</li> <li>○ 活字は太めで大きく、行間が十分に取られ、視認性に優れている。また、ユニバーサルデザインフォントが使用されており印刷は鮮明かつやさしい色遣いで見やすい。</li> <li>○ 生徒の深い理解を補助するイラストや写真、図などを豊富に掲載し、つめ込み過ぎず、ゆとりある紙面になっている。</li> <li>○ 製本は、あじろ綴じによる堅ろうな作りになっており、長期間の使用に耐えられるものとなっている。摩擦による傷や汚れがつきにくく、破れにも強い作りである。</li> </ul>						

種 目	英 語	発行者の 番号・ 略称	1 5	教科書の 記号・ 番号	英 語 0 1 5 - 7 2 0 1 5 - 8 2 0 1 5 - 9 2	書 名	NEW CROWN English Series 1 NEW CROWN English Series 2 NEW CROWN English Series 3
			三省堂				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 知識・技能を習得させるために、各単元で4技能5領域を扱う言語活動が段階的に展開され、コミュニケーション能力を図る資質・能力を養う工夫がなされている。</li> <li>○ 言語活動のページ下部に「ふり返り」があり、生徒がコミュニケーション活動の取組を自己評価し、次の学びに生かせるよう工夫されている。</li> <li>○ 身近な場面や状況で使われる自然な英語を通し、トピックやテーマに親しんだり人や文化等への理解を深めたりしながら学習を進められるよう配慮されている。</li> <li>○ 4技能5領域にわたる言語活動がバランスよく配置されている。特に、やり取りや発表、ディスカッション等はスモールステップで学習できるよう配慮されている。</li> <li>○ 環境や人権、社会的な話題について、実際に自分たちの身の回りにあることと関連させながら考えられるように工夫されている。巻末に出所、出典が明記されている。</li> </ul>						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元は、「Part」と「Goal Activity」で構成され、知識・技能や思考力・判断力・表現力等を積み重ねられるように言語材料や言語活動が配置されている。</li> <li>○ 単元の目標が明確に示されるとともに、最終の言語活動の内容も明記されており、単元全体にまとまりがある。生徒が見通しを持って取り組めるよう工夫している。</li> <li>○ 学期に1回設定されている「Project」では、4技能5領域を統合した言語活動に取り組み、総合的な力を身に付けられるような構成になっている。</li> <li>○ 本文ページ及び言語材料の分量は、年間140時間で指導・学習・評価が十分に行えるよう、余裕を持たせて構成されている。</li> <li>○ 日本や地域を紹介する単元が設定されていたり、生徒の作品の展示を基に発表したりする発展的な学習は、生徒や地域の実態に適合できるよう配慮されている。</li> </ul>						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各単元の言語活動を通して、学習した内容を活用し、目的や場面、状況等に応じて思考力・判断力・表現力等を働かせるように工夫されている。</li> <li>○ 題材は、生徒の考えや気持ちを引き出したり、感情に訴えたりするものが配置され、生徒が主体的に言語活動に取り組めるように構成されている。</li> <li>○ 目標の設定、活動への取組、振り返りという学びのサイクルの中で、生徒がそれらを活用することで主体的に学習に取り組み、自己調整を図れるよう工夫されている。</li> <li>○ 社会科、理科、技術・家庭科などの他教科等との関連性を持たせた題材を扱っており、CLILやESDの考え方に基づいた学習へと発展できるようになっている。</li> <li>○ 各単元の「Part」ごとに二次元コードがあり、生徒が音声や動画、発音、辞書機能などにアクセスでき、主体的な学びを促すことができるよう配慮されている。</li> </ul>						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 表記や表現は全学年で統一が図られている。特に1学年では、小学校で学んだ表現を授業の導入場面で扱うよう配慮されている。</li> <li>○ 単元はストーリー仕立てになっており、登場人物に共感したり話の続きを想像したりしながら学習を進めることで、親しみや楽しさを感じられるよう工夫されている。</li> <li>○ 全学年において、ユニバーサルデザインに配慮した可読性と視認性の高い字体を使用するなど、読みやすさの工夫がなされている。</li> <li>○ イラストや写真は大きくて見やすく配置されており、題材の内容を把握する際に役立つようレイアウトを工夫している。</li> <li>○ 環境にやさしい用紙や植物油インキを使用し、環境保護や資源節約に配慮している。また、表紙は丈夫で破れにくいものとなっている。</li> </ul>						

種 目	英 語	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 7  教 出	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	英 語 0 1 7 - 7 2 0 1 7 - 8 2 0 1 7 - 9 2	書  名	ONE WORLD English Course 1 ONE WORLD English Course 2 ONE WORLD English Course 3
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ グローバル社会を踏まえた様々な題材を通して、コミュニケーションツールとしての英語が実際に使えるようになるための場面設定の工夫が十分にされている。</li> <li>○ 生徒が単元の目標を意識しながら主体的に学習ができるように「Goal」を掲載し、巻末のCAN-DO リストを活用して、生徒自身が振り返りをしやすいようにしている。</li> <li>○ 生徒の主体的な学びを促進し、対話的な学びへ導くため、生徒の興味・関心に合った題材が各単元及び活動に設定されている。</li> <li>○ 題材内容については、自己紹介から始まり、学校や地域、国内、海外へと様々な分野に広がるよう構成されている。</li> <li>○ 生徒の興味・関心を喚起し、思考を深めるための多くの資料があり、出典、出所は巻末に明記されている。</li> </ul>						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校の外国語活動で行ったコミュニケーション活動を中学校の学習につなげるための工夫がされており、学年ごとの発達の段階に応じた内容の配列となっている。</li> <li>○ 単元の冒頭に目標を示し「外国語を使って何ができるようになるか」を明確にし、知識・技能、思考力・判断力・表現力等を総合的に学習できるよう工夫されている。</li> <li>○ 基礎的・基本的な内容の定着につなげるため、各パートの置き換え練習、リスニング活動、対話練習等が豊富に設定されている。</li> <li>○ 全体の分量は、週4時間の指導時数に対して適切であり、年間指導時数内で余裕をもって指導できるものとなっている。</li> <li>○ 「Useful Expressions」等では、日常生活の場面を想定した活動を通して、目的や場面・状況等に応じた実用的な表現を学習する場面が設定されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「Lesson」「Task」「Grammar」「Activities Plus」「Tips」の活動を通して、段階的に知識・技能を定着させ、「Project」で総合的に学習できるよう工夫されている。</li> <li>○ 「Think and Try」と活動例を組み合わせ、「話すこと」「書くこと」の言語活動を通し、英語で考え、表現する学習を積み重ねられるようになっている。</li> <li>○ 「How to Study」、効果的な学習方法、辞書の使い方などのページを設けるなど、生徒が自主的な学習を行うための配慮がなされている。</li> <li>○ 海外の文化、SGDs、環境問題、キャリア教育、防災教育など、社会や理科、道徳などの他教科等と関連付けて学習できるよう工夫されている。</li> <li>○ 二次元コードのアクセスを通じて、音声やワークシートなどの良質なデジタル教材を家庭学習や自主学習で活用できるようになっている。</li> </ul>						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 円滑な小中の接続を目指し、本文を漫画のレイアウトにするなど、「読むこと」の負担感を減らすよう工夫されている。</li> <li>○ 挿絵・写真等は、生徒にとって学習意欲を高めるもの、文章の理解を助ける視認性の高いもの、想像力を高めるイメージ豊かなものなどを多く活用している。</li> <li>○ 1学年の前半は手書き文字に近いフォントを活用し、また、色覚の個人差を問わず多くの人に見やすいユニバーサルデザインを取り入れている。</li> <li>○ 紙面上の様々なアイコン、イラスト、図表などを判読・理解するにあたり、生徒にとって見やすく分かりやすい配色の工夫がなされている。</li> <li>○ 網代綴りで製本されており開本しやすく、再生紙と植物油インキを使用することで環境への配慮がなされている。</li> </ul>						

種 目	英 語	発行者 の番号・ 略称	3 8	教科書 の記号・ 番号	英語 0 3 8 - 7 2 0 3 8 - 8 2 0 3 8 - 9 2	書 名	Here We Go! ENGLISH COURSE 1 Here We Go! ENGLISH COURSE 2 Here We Go! ENGLISH COURSE 3
			光 村				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 1学年の導入教材「Let's Be Friends!」では、小学校での学びを振り返り、中学校への学びへ円滑に接続できるよう考えられている。</li> <li>○ 各学年でできるようになることを明確にするために学年の目標が設定されており、生徒が見通しを持って学習を進められるよう工夫されている。</li> <li>○ 文字量や扱う表現を増やし、身近な題材から社会的な問題へと生徒の発達の段階に応じた話題を取り上げることで、学習意欲を喚起し、視野を広げるよう工夫されている。</li> <li>○ 多様で豊富な題材を通して、伝え合う喜びを感じられる言語活動が設定され、グループで協力して課題に取り組み、知識や教養を身に付けられるよう工夫されている。</li> <li>○ 様々な国の文化や社会的な話題を取り上げ、多様な文化や考えに触れられるよう工夫されている。写真や資料の出所、出典先が巻末に明記されている。</li> </ul>						
2 組織と配 列に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 5領域のうち特に重点的に学習する領域が「Part」ごとに設定されており、「Goal」では単元の目標に応じて複数の技能を統合した言語活動が設定されるなど、学習効果が上がるよう工夫されている。</li> <li>○ 各学年の巻末に CAN-DO リストが配置されており、成長のイメージが系統的に可視化され、目標を意識して学習を進められるよう配慮されている。</li> <li>○ 「Daily Life」や「World Tour」などの小教材を用意しており、各単元で学習したことを活用し、発展的に学習ができる工夫がなされている。</li> <li>○ 8つの「Unit」で構成され、学習者や指導者に配慮した適切な分量であり、3学期制、2学期制のどちらにも対応できるよう教材数や領域のバランスが考慮されている。</li> <li>○ 3年間の生徒の生活を想定し、学校や地域の魅力を伝え合う言語活動を設定するなど、生徒が共感しながら学習に取り組めるよう配慮されている。</li> </ul>						
3 学習と指 導に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 登場人物になってせりふの続きを考える「You're the Writer!」を新設し、目的や場面、状況等に応じた思考力・判断力・表現力等を働かせる工夫がされている。</li> <li>○ 帯教材の「Let's Talk!」や「Story Retelling」に継続的に取り組むことにより、即興でやり取りする力や自分の言葉で表す力を身に付けられる構成になっている。</li> <li>○ 巻末付録に「英語の学び方ガイド」や「思考の地図」を設けることにより、生徒が自ら学びの自己調整をしたり考えを広げたりできるよう工夫されている。</li> <li>○ 伝統と文化、環境、A I 技術、防災等をSDGs と関連付け、他教科等で身に付けた知識や技能を活用して、生徒が主体的に課題を解決する力を育む工夫がされている。</li> <li>○ 英語の学習に効果的な I C T 機器の活用方法が記載されている。また、紙面の二次元コードから文法の解説動画等を視聴し、学習を広げ深める工夫がなされている。</li> </ul>						
4 表現と体 裁等に関 すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 表記や表現の基準は全学年にわたって統一されており、学年を通して適切な表現が身に付くよう工夫されている。</li> <li>○ 中学生の登場人物が様々な経験をしながら成長していくストーリーを設定するなど、生徒が興味を持って学べるように表現が工夫されている。</li> <li>○ 日本語の表記は、ユニバーサルデザインの字体が用いられている。また、小中の接続を考え、実際に生徒が書く文字との差異が大きく生じないような字体を用いている。</li> <li>○ 生徒がコミュニケーションの目的や場面、状況等を具体的にイメージしながら学習できるよう、写真やイラストの大きさや配置が工夫されている。</li> <li>○ 表紙は耐久性のある加工をしており、環境に負荷の少ない用紙、植物油インキが使用されている。</li> </ul>						

種 目	英 語	発行者の 番号・ 略称	6 1	教科書 の記号・ 番号	英 語 0 6 1 - 7 2 0 6 1 - 8 2 0 6 1 - 9 2	書 名	BLUE SKY English Course 1 BLUE SKY English Course 2 BLUE SKY English Course 3
			啓林館				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 単元や「Let's シリーズ」の言語活動が充実しており、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じて、思考力・判断力・表現力等を伸ばす工夫がなされている。</li> <li>○ 単元の最初に「Unit Goal」を明示することで、生徒自らが見通しを持ち、自分の学びを振り返りながら学習できるよう構成されている。</li> <li>○ 小学校での既習事項や各学年の目標に基づいて言語材料の配列を工夫し、「読むこと」の活動では、3つのステップを設定して生徒の理解が深まるよう工夫されている。</li> <li>○ 各学年に「Project」を設定し、これまでに身に付けた知識・技能や思考力・判断力・表現力等を統合的に育成する言語活動を充実させている。</li> <li>○ 英語圏だけでなく、様々な国々やその背景にある文化に対する理解を深められるような題材を扱っている。また、出所、出典については、巻末の一覧で明示されている。</li> </ul>						
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 3年間で4技能をバランスよく伸ばすために、1学年は「聞くこと」「話すこと」「書くこと」を中心に、2、3学年は「読むこと」を加えた構成となっている。</li> <li>○ 生徒が自己調整を図りながら学習を進められるように、各学年、各単元のCAN-DO リストには「学習に取り組むことで何ができるようになるか」が具体的に示されている。</li> <li>○ 身近な場面から導入を図り、生徒がコミュニケーションを図りたくなるような状況の中で繰り返し表現することで即興でやり取りする力を伸ばすよう配慮されている。</li> <li>○ 単元の各パートは見開きで単位2時間扱いとし、余裕を持たせた時間配当とするなど、生徒の実態に合わせて、学習が進められるよう配慮されている。</li> <li>○ 生徒が身近な話題に関して読んだり聞いたりしたことについて主体的に考え、意見をまとめ、表現するなど「書くこと」の力を伸ばす工夫がなされている。</li> </ul>						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 4技能5領域について、言語活動にマークを表示して身に付ける知識・技能を明確にし、「Check」で自分の目標達成度を自己評価できるよう工夫されている。</li> <li>○ 単元を通してインプットとアウトプットの活動を設定し、身に付けた知識・技能を活用させながら、更なる深い学びにつなげていくような言語活動を設定している。</li> <li>○ 英語の学び方コーナーが設けられ、二次元コードの活用も併せて、生徒が主体的に取り組めるような工夫がなされている。</li> <li>○ 美術、社会、社会福祉、地球温暖化等を扱った題材を取り上げ、他教科等との関連を図っている。</li> <li>○ 小学校での学びを振り返ることができる教材、題材に関する二次元コードからアクセスできるデジタル教材等、生徒の主体的な学びにつながるよう工夫されている。</li> </ul>						
4 表現と 体裁等 に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 小学校の学習の流れを汲みながら、学習段階に応じて「聞くこと」「読むこと」について分量を増やしていき、さらに、高校の学習にも対応できるよう工夫されている。</li> <li>○ 3年間を通して同じ登場人物を使用し、生徒の興味・関心を引く題材や、今日的課題についての題材等を扱い、親しみやすさを感じさせるよう工夫されている。</li> <li>○ 学年に応じてイラスト等の工夫が見られ、発達の段階に応じた配慮がなされている。全学年で文字をユニバーサルデザインフォントで表している。</li> <li>○ 色覚特性のある生徒等にも分かりやすいように、シンプルなイラストや視認性に優れたデザインを使用し、写真等は生徒の思考の流れに配慮したつくりとなっている。</li> <li>○ 書き込みやすく消しやすい軽量で丈夫な用紙を採用し、植物インキ・再生紙等を使用し、アレルギーや環境に配慮している。</li> </ul>						

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	道 徳  0 0 2 - 7 2 0 0 2 - 8 2 0 0 2 - 9 2	書  名	新編 新しい道徳1 新編 新しい道徳2 新編 新しい道徳3
			東 書				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 様々なジャンルや形態の教材が配置され、物事を広い視野から多面的・多角的に捉え、人間の生き方について深く考えることができる。また、補助教材も充実している。</li> <li>○ 各学年に、いじめ防止と生命の尊重に関する教材を3つずつユニット化して配置し、命の大切さや思いやり、共生の心を育めるようにしている。</li> <li>○ 同一の登場人物が友情を深めていく過程を描いた読み物教材を3学年に渡って掲載し、学年ごとに深まりのある内容になるよう工夫されている。</li> <li>○ 生徒の身近なテレビ番組の映像を教材化したり、各分野で活躍する人物を広く取り上げたりすることで生徒が興味・関心を持って学べるよう工夫されている。</li> <li>○ 長く親しまれている教材だけでなく、情報モラルや防災、SDGs等の現代的な課題がバランス良く掲載されている。出所、出典も明確である。</li> </ul>						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 内容項目ごとに教材を系統的に配置している。いじめ防止、生命尊重、情報モラル、自己肯定感を育む教材は、指導する時期を考慮し、各学年同じ時期に配列されている。</li> <li>○ 学習指導要領の内容を網羅している。また、各教材の冒頭に設置したテーマに基づき、ねらいを明確に捉えられるよう工夫されている。</li> <li>○ 内容項目別に四つの視点に分けた一覧表が、各学年の巻頭と巻末に配置され、関連させたり、発展させたりして学ぶことができる。</li> <li>○ 各学年、35教材と付録、コラムで構成されており、学校や学級の実態に応じて柔軟に指導できるよう配慮されている。</li> <li>○ 学校行事や地域社会を扱った教材が配置され、生徒の生活や各地域の実態に広く適合できるよう配列されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各教材に、中心的な発問と自己を見つめるための発問が例示され、物事を多面的・多角的に捉えることができるよう配慮されている。</li> <li>○ 全教材に設けられた「つぶやき」や巻末の「心情円」を活用することで、生徒の思考をサポートし、主体的・対話的で深い学びを実現できるよう工夫されている。</li> <li>○ 読み物教材だけでなく、漫画を活用した教材やグラフから考える教材等、多様な教材が掲載されており、生徒の学習意欲を喚起することができるよう配慮されている。</li> <li>○ 教材冒頭の二次元コードから関連する教科等の教科書紙面を見ることができる。コラムにはソーシャルスキル等が取り上げられ、特別活動との接続を図ることができる。</li> <li>○ 巻頭に「道徳の時間はこんな時間に」が配置され、見通しを持って授業に臨むことができる。デジタル教材が充実しており、生徒の学びを深める一助となっている。</li> </ul>						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教材末の発問やキャラクターのせりふなど、生徒への問い掛けは文節で改行してあり、読み取りやすく工夫されている。</li> <li>○ 読み物教材の冒頭に有名漫画の一コマを配置したり、各学年で漫画教材を取り上げたりすることで、中学生が親しみやすい構成となっている。</li> <li>○ 活字は視認性の高いユニバーサルデザインフォントを採用している。また、紙面の配色は目に優しい色を基調とし、色覚特性に配慮している。</li> <li>○ 写真や挿絵が効果的に配置されている。また、その中に登場する人物の性別、人種、服装には偏りがなく、ダイバーシティへの配慮もなされている。</li> <li>○ 堅ろうなあじろ綴じで製本され、広く開くことができる。再生紙や化学物質を抑えた植物油インキを使用するなど、環境やアレルギーに配慮されている。</li> </ul>						

種 目	道 徳	発行者の 番号・略称	1 7	教科書 の記号・ 番号	道 徳 0 1 7-7 2 0 1 7-8 2 0 1 7-9 2	書 名	中学道徳1 とびだそう未来へ 中学道徳2 とびだそう未来へ 中学道徳3 とびだそう未来へ
			教 出				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多種多様な教材を取り上げることで、物事を広い視野から多面的・多角的に考えたり、道徳的価値を自分との関わりで深めたりすることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 「いじめ等の人権問題」「持続可能な社会」「生命の尊さ」の三つが重点テーマとして、各学年を通して系統的に学習できるよう構成されている。</li> <li>○ 生徒の発達の段階に応じて、内容を把握しやすい教材を扱い、読み取りに偏ることなく、議論する時間を十分に確保できるよう配慮されている。</li> <li>○ 読み継がれてきた定番教材と新教材が偏りなく適切に掲載されている。また、漫画や絵本、写真など多様な形式の教材が精選して取り上げられている。</li> <li>○ 現代的な課題として、多様性、SDG s、防災、情報モラルなど幅広い教材が採用されている。また、出所、出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組織と 配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に示された四つの視点について組織的、系統的に配列されており、視点が分かるよう教材ごとに色と絵柄で区別したマークを掲載する工夫がされている。</li> <li>○ 教材を内容のまとまりによって「生命の尊さ」「いじめ・人権」「情報モラル」等、7つのテーマに分類し、一覧にすることでねらいが明確になるよう工夫されている。</li> <li>○ 重点的な取扱いの工夫として「いじめ等の人権問題」「持続可能な社会」「生命の尊さ」の3つのテーマについて、複数の教材とコラムでユニットが構成されている。</li> <li>○ 他教科や総合的な学習の時間、特別活動、学校行事等との関連を図った柔軟なカリキュラム編成ができる教材構成になっている。</li> <li>○ 生徒の生活や学校行事の時期を考慮した配列になっている。また、全国各地の題材が教材として掲載されており、各地域の実態に広く適合できるよう配慮されている。</li> </ul>						
3 学習と 指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各教材の末尾「学びの道しるべ」では、構造化された三つの発問が示され、多面的・多角的に考えを深め、自己を見つめることができるよう配慮されている。</li> <li>○ 導入の問いで、道徳的価値への意識付けをし、主体的な学びを促し、問題解決的な学習や体験的な学習等を取り入れ、対話的な学びができるよう工夫されている。</li> <li>○ 性の多様性や人権に関する教材が扱われており、自己決定権の尊重や多様な個性に配慮されている。</li> <li>○ 各教科、総合的な学習の時間との関連、関連するSDG sの目標が一覧表に示されており、関連性に配慮されている。</li> <li>○ 内容理解の一助となる挿絵、図表及び写真が配置されている。また、教材の冒頭や末尾にデジタル教材へアクセスできる二次元コードが掲載されている。</li> </ul>						
4 表現と 体裁等 に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒の発達の段階や学校生活の実態に沿った教材配列で効果的な学びの流れになっている。</li> <li>○ 教材の内容に応じて、挿絵や写真、漫画等が適切に配置されており、資料に対する親しみや魅力を感じさせるような工夫がなされている。</li> <li>○ 本文は視認性、可読性の高いユニバーサルデザインフォントを使用している。また、カラーユニバーサルデザインについても考慮され、読みやすさに配慮がなされている。</li> <li>○ 教材は原則的に右ページから始まるようにし、区切りを分かりやすくしている。また、言葉のまとまりを捉えやすくするため、文章の改行位置に配慮がなされている。</li> <li>○ 表紙には堅ろうで環境に配慮した特殊コーティングが採用されている。また、再生紙と植物を原料とした食物油インキが使用されている。</li> </ul>						

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	3 8	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	道 徳 0 3 8 - 7 2	書 名	中 学 道 徳 1 きみがいちばんひかるとき 中 学 道 徳 2 きみがいちばんひかるとき 中 学 道 徳 3 きみがいちばんひかるとき
			光 村		0 3 8 - 8 2 0 3 8 - 9 2		
1 内 容 に 関 する こと	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自分に引き寄せて考えたり、見方を変えて話し合ったりする学習を通して、人間としての生き方についての考えを深め、多面的・多角的に考えられる内容となっている。</li> <li>○ 全学年を通して、いじめ問題、情報モラル、環境、人権、安全・防災等の現代的な課題が取り上げられている。</li> <li>○ 専門家が知識に基づいて書いた読み物、等身大の生徒や現在活躍する人物が登場する読み物等、生徒の興味・関心を喚起することができる多様な教材が配置されている。</li> <li>○ 3学年を通じて同じ内容項目を扱う教材は、生徒の発達の段階に応じて、話題や文量、世界の広がり等に配慮した内容となっている。</li> <li>○ 読み物教材、表やグラフ、写真から成る教材、ケーススタディで考える教材等、多様な教材が偏りなく配置されており、出所、出典も明示されている。</li> </ul>						
2 組 織 と 配 列 に 関 する こと	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に示された22の内容項目に沿って偏りなく教材が取り上げられており、教材を通じて学ぶ内容項目の関わりやつながりを意識した配列となっている。</li> <li>○ 教材ごとに学習のてびきが示されており、「学びのテーマ」として、教材を通して生徒が何を考え、学ぶことができるのかが明示されている。</li> <li>○ 全学年を通して「生命の尊さ」「自主、自立、自由と責任」「相互理解、寛容」等の内容項目を複数の教材で重点的に扱い、確かな学習経験となるよう配慮されている。</li> <li>○ テーマごとに複数の教材をまとめたユニットで構成されている。ユニットの切れ目が3学期制、2学期制にも対応でき、年間指導計画が立てやすいよう配慮されている。</li> <li>○ 職場体験や合唱コンクールなど、学校行事が想定される時期に関連した道徳科の学習を行うことができるように教材の配列が工夫されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 指 導 に 関 する こと	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各教材に学習のてびき「考えよう」が設けられ、道徳的な価値についての理解や自覚を深める問い、多面的・多角的な見方ができるような問いが示されている。</li> <li>○ 生徒自らが問いを立てて考える学習「チャレンジ」が設けられており、主体的に学ぶ意欲が高まる工夫、話合いの喜びを実感できる工夫がなされている。</li> <li>○ 一人一人異なる興味・関心を持つ生徒が、意欲を持って教材に向かえるように生徒の発達段階に沿った多様な題材を取り上げている。</li> <li>○ 教材末に、学習したことを他教科や日常生活に生かし、道徳的価値について考え続ける態度を養うための問い「つなげよう」が設けられている。</li> <li>○ 二次元コードから、教材で取り上げている人物へのインタビューや教材の理解を補足する資料等にアクセスすることができ、学びを深められるようになっている。</li> </ul>						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こと	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中学校以上配当の常用漢字全てにルビが振られてあり、全学年を通して読みの負担を軽減するための配慮がなされている。</li> <li>○ 読み物教材の他に、漫画教材、絵本から転載した教材等が配置されており、視覚的に生徒の興味・関心を喚起する工夫がなされている。</li> <li>○ 文字の書体、絵や写真の色遣いや配置等、ユニバーサルデザインの観点から十分な配慮がなされている。</li> <li>○ 絵や写真、説明内容を解説するための図表等が適所に配置されており、教材内容の理解を助け、イメージを豊かに広げるための工夫がなされている。</li> <li>○ 表紙のP. P. ラミネート加工や強度が強くなり開きやすいあじろ綴じの採用など、製本が堅ろうである。また、紙やインクも環境に配慮したものを採用している。</li> </ul>						

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1 6	道 徳	書 名	
			日 文			
						中学道徳 あすを生きる 1 中学道徳 あすを生きる 1 道徳ノート 中学道徳 あすを生きる 2 中学道徳 あすを生きる 2 道徳ノート 中学道徳 あすを生きる 3 中学道徳 あすを生きる 3 道徳ノート
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全学年の巻頭にオリエンテーションのページが設けられており、「ミニ教材」を通して、生徒が道徳科の学習意義、内容、方法を理解できるよう配慮されている。</li> <li>○ いじめの防止、情報モラル、社会の持続可能な発展、等の現代的な課題を通して、生徒が物事を多面的・多角的に考えられるよう工夫されている。</li> <li>○ 生徒が興味・関心を持って学習できるように「身近な生活場面」「文学作品」「漫画教材」等、多岐にわたる教材が掲載されている。</li> <li>○ 現代的な課題に関わる多様なコラムが掲載されており、他教科等と関連させながら学習内容を補充・発展させることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 「家庭」「学校」「社会」等の幅広い分野の教材が、生徒の発達段階を踏まえてバランス良く掲載されている。また、各教材の最後に出所、出典が明示されている。</li> </ul>					
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 発達の段階を考慮して、各学年のテーマが「であう」「みつめる」「ひらく」と設定されており、3年間を通して生徒が自己肯定感を育めるよう配慮されている。</li> <li>○ 「学びのキーワード」が記載され、生徒が見通しを持って学習できるよう配慮されている。また、「いじめ」等に関わる内容がユニット化され、複数配置されている。</li> <li>○ 「生命の尊さ」が重点内容項目として設定され、全学年に3教材ずつ配置されており、より多面的・多角的に自他の生命について考えられるよう配慮されている。</li> <li>○ 各学年とも35の教材がバランス良く掲載され、内容項目も過不足なく押さえられており、各学校の年間指導計画に広く適合できるよう配慮されている。</li> <li>○ 全国各地の題材が、教材やコラムとして扱われており、生徒の生活や各地域の実態に応じて学習できるよう工夫されている。</li> </ul>					
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「気づく」「考える・議論する・深める」「見つめる・生かす」の3ステップで、人間としての生き方について考えを深める学習が進められるよう配慮されている。</li> <li>○ 「問題解決的な学習」「体験的な学習」等に適した教材には「学びを深めるヒント」が例示されており、主体的・対話的で深い学びを実現するための工夫がされている。</li> <li>○ 別冊ノートに生徒が自ら考え、議論し、新しく発見した道徳的価値や、他者から学んだ内容を書き留めることで、協働的な学びが実現できるよう工夫されている。</li> <li>○ 「視野を広げて」のページでは、教材で示される内容を他教科等と関連づけながら、より多面的、多角的に考えることができるよう配慮されている。</li> <li>○ 教材の冒頭では、写真や挿絵で登場人物が紹介されており、内容把握の一助となっている。また、全教材・全コラムにデジタル教材の二次元コードが掲載されている。</li> </ul>					
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 文字量が抑えられているとともに平易な文章表現であることで、生徒の読みの抵抗が少なく、内容を捉えやすくなっている。</li> <li>○ 読み物教材の一部が「漫画教材」として掲載されたりするなど、生徒が親しみや魅力を感じることができるよう配慮されている。</li> <li>○ 文字の大きさは適切である。また、ユニバーサルデザインフォントを利用するとともに、色遣いの観点についても配慮されている。</li> <li>○ 図版が多く、全体を通してレイアウトに工夫が凝らされており、生徒が教材の内容について理解しやすく興味・関心を持てるよう工夫されている。</li> <li>○ 丈夫なあじろ綴じが採用され、堅ろうに製本されている。また、植物油インキや再生紙を使用することで環境への配慮がなされている。</li> </ul>					

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 2 4	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	道 徳 2 2 4 - 7 2	書 名	新 版 中学生の道徳 明日への扉 1
			学 研		2 2 4 - 8 2		新 版 中学生の道徳 明日への扉 2
					2 2 4 - 9 2		新 版 中学生の道徳 明日への扉 3
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 現代的な諸課題をはじめ、いじめについての内容が扱われており、生徒が教材を通して問題意識を持ち、多面的・多角的に考えることができるよう工夫されている。</li> <li>○ 「いのち」を最重要テーマに掲げ、発達の段階に応じて、命の偶然性、有限性、連続性について考えを深めることができるよう配慮されている。</li> <li>○ 特設ページ「クローズアップ」では、生徒の多様な意見を引き出し、生き方の選択肢を増やすことができるように関連情報が多数取り上げられている。</li> <li>○ 他国を尊重する態度を養うため、「国際理解、国際貢献」を扱った教材が第1学年と第3学年で複数取り上げられている。</li> <li>○ いじめ防止やキャリアに関するものに加え、多様性や伝統文化、レジリエンスに関連する内容等、バランス良く取り上げられており、出所、出典も明示されている。</li> </ul>						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「よりよく生きるための22の鍵」として、内容項目が四つの視点に整理されている。関連のある内容が連続で配置されており、学習効果があがるよう配慮されている。</li> <li>○ 生徒の道徳性を偏り無く育てられるように、バランス良く教材が配置されている。また、ねらいが明確になるように中学生にとって分かりやすい表現で示されている。</li> <li>○ 「SDGs」「キャリア」「多様性」の三つのユニット教材により、複数の内容項目を関連付け、発展的に捉えられるよう工夫がされている。</li> <li>○ 「生命の尊さ」や「友情、信頼」等の内容項目が各学年複数配置されており、各学校の年間指導計画や重点内容項目に適合しやすいよう配慮されている。</li> <li>○ 日本の各地域に関連した内容が扱われており、生徒が学校行事や地域とのつながりを意識し、他の教科・領域とも関連させられるように教材の配置が工夫されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「考えを深める4つのステップ」により、生徒が道徳的価値を自分との関わりで考え、多面的・多角的に捉え、自己の生き方につなげられるよう配慮されている。</li> <li>○ 日常生活や部活動、SNSに関する教材等、生徒にとって身近な内容が取り上げられており、問題意識を持って主体的・対話的に考えられるよう配慮されている。</li> <li>○ LGBTQやジェンダーギャップ、国籍の違い等、多様性に関連する教材が各学年複数扱われており、生徒の多様な個性や能力に対応できるよう配慮されている。</li> <li>○ 環境や安全、家庭連携、伝統文化についての教材が各学年で複数扱われており、総合的な学習の時間や学校行事、他教科等との関連を図れるよう工夫されている。</li> <li>○ 巻頭に、考える手段やタブレット等の活用方法が提示されているほか、教材タイトル下部の二次元コードより、様々なデジタル教材にアクセスすることができる。</li> </ul>						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中学校に配当されている漢字及び常用漢字外の漢字にルビが振られており、発達の段階に応じて、文字の大きさや行間に配慮がなされている。</li> <li>○ 漫画教材や現代の著名人からのメッセージ等に加え、教材に関する分かりやすい解説や補助データもあり、生徒の心を引き付ける工夫がなされている。</li> <li>○ 読みやすい字の大きさや字体が発達段階に応じて配慮されている。見やすい書体とカラーユニバーサルデザインの採用により、目に優しい仕上がりとなっている。</li> <li>○ 教材の内容を視覚的に捉えられるよう挿絵やレイアウトが工夫されている。また、ピクトグラムにより、四つの視点や現代的課題との関連が分かるようになっている。</li> <li>○ 製本は無線綴で開きやすく、特殊加工により堅ろうである。植物油インキを使用し、環境負荷の小さいCTP方式で印刷されている。</li> </ul>						

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 3 2  あか図	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	道 徳  2 3 2 - 7 3 2 3 2 - 8 3 2 3 2 - 9 3	書  名	中学生の道徳1 中学生の道徳2 中学生の道徳3
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 活発な対話や多面的・多角的に考えを深めることで、生徒の道徳性を養えるように、「人間のよさ、気高さ、素晴らしさ」を大切にした10のテーマで構成されている。</li> <li>○ 現代的課題であるいじめ防止、人権尊重、情報モラル等について重点的に学習を深められるようにユニット化し、学年ごとに連続して複数の教材を設けている。</li> <li>○ 発達の段階に合わせて、授業で考えるポイントや学習活動が見通せる発問が提示されており、生徒が主体的に教材と向き合って考えを深められるよう工夫されている。</li> <li>○ 家庭や地域をテーマとした教材が吟味され、様々な人々との対話や継続した学びを促し、家庭や地域と共に行う道徳教育を円滑に進めることができる内容となっている。</li> <li>○ 読み継がれてきた名作教材、挑戦し続ける人物を扱った感動教材、多様な現代的課題を扱う教材がバランス良く配置されており、出所、出典が明示されている。</li> </ul>						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習指導要領に示された四つの視点、22の内容項目における多様な教材が偏りなく取り上げられており、生徒の成長や年中行事に合わせて、構成や配列が工夫されている。</li> <li>○ どの教材にも考えの道筋が掲載されているので、生徒がねらいに向かって見通しを持ち、思考を深めながら、ねらいに沿った学習をすることができるよう配慮されている。</li> <li>○ 他の教育活動との関連を図りながら、重要課題である「生命尊重」「いじめ防止」に関わりの深い内容項目の配当時間を考慮している。</li> <li>○ 内容項目に関する主教材と重点的に考えたいテーマ「いじめ」「情報モラル」「共生社会」「キャリア」について、各学校の年間指導計画に適合させて継続的に学べる構成となっている。</li> <li>○ 日常生活や現代的課題に関する教材、日本の各地域にゆかりのある人物や文化に関する教材を通して、生徒の実態や地域の良さに応じた指導ができるよう工夫されている。</li> </ul>						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各教材の末尾の「考えを深める」では、教材での学びを踏まえて、生徒が自分自身や道徳的価値について問い直すことができるよう配慮されている。</li> <li>○ 生徒の経験や興味・関心を大切にした「Thinking」というコラムページを掲載することで、生徒の視野を更に広げ、主体的・対話的で深い学びの実現につながっている。</li> <li>○ 役割演技、問題解決的な学習、体験的な学習等を実現する「マイ・プラス」を設置することで、生徒がいろいろな立場で想像したり、考えたりできるようにしている。</li> <li>○ 巻末に他教科・領域との関わり、現代的な課題等との関わりについての内容項目別教材一覧を掲載しており、生徒の多様な学びに対応できるようになっている。</li> <li>○ 教科書に掲載している二次元コードから、教材に関する写真や動画等の補助資料を見ることができ、授業の導入や終末、授業後に活用できるよう工夫されている。</li> </ul>						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒一人一人が教材を読みやすいように、中学校配当漢字及び未習の漢字には、初出のみならず、全てルビが振られている。</li> <li>○ 色の識別のみならず、マークの形状やデザインの違い等で必要な情報が読み取れるようになっており、全ての生徒が学びやすいよう配慮されている。</li> <li>○ 読み手に優しいユニバーサルデザインフォントを使用し、読みやすさに配慮した書体や文字の大きさになっている。色彩、印刷も鮮明で見やすい。</li> <li>○ 教材の内容に沿ってイラストや図表及び写真が効果的に配置されており、生徒が内容を理解しやすいよう配慮されている。</li> <li>○ 環境に優しい再生紙を用い、印刷には植物油インキを使用している。軽量で持ち運びやすいB5判で製本されている。</li> </ul>						

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 3 3	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	道 徳	書 名
			日 科		2 3 3 - 7 2	
						道徳 中学校1 生き方から学ぶ 道徳 中学校2 生き方を見つめる 道徳 中学校3 生き方を創造する
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各教材末の「考えよう」「深めよう」によって、自分の考えを深めさせたり、互いに議論させたりすることができるよう工夫されている。</li> <li>○ いじめ防止について、直接的にいじめと向き合う教材と、間接的にいじめにつながりそうな問題を含む教材とを取り上げ、生徒が物事を多角的・多面的に考えられるようにしている。</li> <li>○ 発達の段階を考慮し、学年を追って深く考えさせたり発展させたりできるよう、内容が吟味されている。</li> <li>○ 情報モラル、環境資源、人権問題等の現代的な課題や、先人の生き方から学ぶ教材等、内容が精選されている。</li> <li>○ 22の内容項目に沿って、文部科学省の読み物資料、新聞記事、漫画教材等からバランス良く教材が採用されており、出所や出典が明示されている。</li> </ul>					
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「よりよく生きようとする事」について生徒自らが課題意識を持ち、見方・考え方を深めることができるように、系統立てて配列されている。</li> <li>○ 四つの視点ごとに「自分自身と向き合う」等のねらいが明確に示してあるとともに、4コマ漫画でねらいへの興味・関心を高めるよう工夫されている。</li> <li>○ 四つの視点ごとに「よりよい在り方」について考えられるよう、発達の階別に合わせたテーマが設定され、関連的・発展的に指導できるよう工夫されている。</li> <li>○ 学習指導要領の22の内容項目が順に配列されており、各学校の年間指導計画に合わせて並べ変えることができるようになっている。</li> <li>○ 国内外の各種啓発デーや学校の行事に合わせた配列ができるようになっているため、生徒の生活や各地域の実態に広く適合できるようになっている。</li> </ul>					
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ ウェルビーイング向上を重視し、全学年を通して、付属の「ウェルビーイングカード」を使って考えを表現したり話し合ったりすることができるように工夫されている。</li> <li>○ 自分自身への問いから多面的・多角的に考えを深めることができる教材を多く取り扱い、考えることを重視した授業展開がなされるよう工夫されている。</li> <li>○ LGBTの問題やキャリア形成をテーマにするなど、多様な個性や考えに対応できるような教材を扱っている。</li> <li>○ 現代的な課題を取り上げて他教科との関連を図ったり、総合的な学習や学校行事での体験を想起させて指導したりすることができる内容を扱っている。</li> <li>○ 関連したコラムや挿絵、図表及び写真は適切に配置されている。また、二次元コードも配置されており、教材に関連する写真や動画を見ることができる。</li> </ul>					
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 多くの漢字にルビが振られており、難解な語彙、歴史上の人物については下段に説明を加えているなど、配慮がなされている。</li> <li>○ 挿絵は教材の場面が想起できるようになっている。さらに、漫画や動画で内容を視覚的に捉えさせる教材もあり、親しみやすく魅力を感じるものとなっている。</li> <li>○ 字体はユニバーサルデザインフォントで統一され、大きさも適切である。また、コラムの背景が本文と別の色になっているなどの配慮が見られる。</li> <li>○ 図表等は比較的大きく見やすくなっている。また、本文の流れを損ねないように適切に配置されている。</li> <li>○ AB版で作られ、丈夫な表面加工が施されている。体裁がよく、堅ろうである。</li> </ul>					